

・景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北海道)		*	*	*
		その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・きちんとした健康情報を教えてもらえる媒体として、街の医薬品店が認められつつある。正しい健康情報に耳を傾けてくれる真摯な客も増えている。有り難いと同時に責任を感じている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・この3か月間、来客数はほとんど変わっていない。ただ、今後については心配がある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・緊急事態宣言により、政府から行動を自粛するような方針が発表されたため、客の行動にブレーキが掛かっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、食品などの必需品以外の需要が極端に低下している。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・食品スーパーでは巣籠り消費の影響で客単価が大きく上昇しているが、3密の回避を含めて、客の買物の風景もどこか緊張感が漂っており、ただならぬ様子がみられる。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響での自粛などにより、今まで経験したことのない環境になっている。家庭での内食に移行していることで、スーパーマーケット業界においては買上点数が増加するなど、現状の数値は良くなっているが、決して景気が良いといえない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・食料品を取り扱っているため、客単価自体は伸びているが、新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。緊急事態宣言があったことで、日を追うごとにその影響が大きくなっており、景気は悪くなっている。
		自動車備品販売店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により自粛の動きが強まり、来客数は前年比83%と大幅にダウンした。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛要請により、商店街は今まで体験したことがないほど、人出のない状況となっている。各店の売上もが落ち、売上が半分以下になっているところもみられる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・区域内の飲食店、物販店のほとんどがゴールデンウィーク明けまで休業している状況であり、日中、夜間を通して来客数が激減している。日常生活に必要な商材を買い求める客もほとんどみられない。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・北海道では他地域より1か月以上も早く、北海道知事による緊急事態宣言が出されたことで、商業への影響が長期化している。こうしたなか、全国一斉の緊急事態宣言により、具体的な業種に休業要請が出されたことで、休業する店舗も多くみられるが、収入の見込みがない上、補償額も小さいことから、今後の存続が危ぶまれる。特に4月末の支払日に支払をできない店舗が多く出てくることになり、ゴールデンウィーク明けには間違いなく大量倒産が生じることになる。また、商店街では会員の負担を減らすため、既に会費の減額を行っているが、集金の見通しが立たない店舗もみられ、商店街の存続も危うくなっている。秋には、商店街も店舗もなくなるところが多発することになる。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により壊滅的な状況となっている。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・当社では観光地に立地している店が多いが、コンブ小売専門店であることから、固定客が来店することを考慮して、5店舗のうち1店舗だけを開けている。売上は前年比11.8%、一昨年比11.6%となっている。	
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・立地している空港では乗降客が前年から約8割の減少となっている。日によっては9割減ではないかと体感する日もある。緊急事態宣言が発令されて以降、特に減少が顕著になっている。人の移動がなかなかできない、してはいけないということなので、この状況はしばらく続く。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店 〔酒〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による営業自粛要請のため、顧客のほぼ80%が休業しており、売上を全く見込めない状況となっている。売上は前年比40%まで落ち込んでいる。また、利益の大きな柱である不動産賃貸部門では、この状況を踏まえて全テナントに対して30%の値引きを行っているが、値引額は2か月分で250万円にも及んでおり、新型コロナウイルスの影響はしばらく続くことになる。
	×	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店が非常に少なくなっている。また、4月18日以降は、緊急事態宣言に伴う営業自粛で休業状態が続いている。
	×	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言以降、一部フロアを除き店舗を休業しているため、売上が激減している。
	×	百貨店（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業を自粛している。
	×	百貨店（営業販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大幅に減少している。特に婦人服、紳士服などの衣料品の動きが悪く、それに付随する雑貨も苦戦している。動きがみられるのは、食品、家庭用品などのアイテムに限定される。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言により、モールが営業中止となり、来客数が半減している。外出自粛による集客減はもちろんのこと、購買行動も止まっている。
	×	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・当社はスーパーであり、肉食需要の高まりにより、売上は前年比110%程度となっているが、景気としては悪い状況にある。
	×	スーパー（役員）	単価の動き	・新型コロナウイルスの巣籠り需要により、食品の売上が伸びているが、単価の低い商材の売上が増える傾向がみられることから、客の金がなくなってきていることがうかがえる。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価が上がってきているものの、客の来店回数が減ってきている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、観光目的の客が減少している。また、漁業や酪農にも影響が及んでおり、地元客の消費もやや落ち込んでいる。
	×	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、外販が大きく減少している。店内分の売上は確保できているが、トータルでは減少している。外販分については、ゴールデンウィーク期間中のみならず、夏場になっても回復が見込めない。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。緊急事態宣言以降、20時から翌朝にかけての来客数が激減している。
	×	衣料品専門店（店長）	それ以外	・来客数、売上など、全ての面で良い材料がない。人件費は削られ、日々の雑務の負担が多くなり、家賃、水道光熱費のみが大きいのかかっている。店舗前の幹線道路をみても、日を追うごとに車が少なくなっており、トラック以外見掛けられないようになっている。
	×	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・除菌関連の空気清浄機や加湿器などの動きはあるが、新型コロナウイルスの影響で営業活動や集客イベントを自粛せざるを得ない状況にあり、売上が大幅に減少している。
	×	家電量販店（店員）	来客数の動き	・午前中は用事のある人の来店や問合せで忙しいが、午後になると客足が途絶える。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの流行による緊急事態宣言により来客数が激減している。積極的な営業活動もできず、社員の出勤を半数に減らしていることもあり、最悪の状態が続いている。
	×	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・景気は悪い。新型コロナウイルスが早く収束してほしい。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客足が鈍っている。自粛ムードが漂っていることもあり、景気はかなり悪い方向にある。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、フリーの来店客が減少している。顧客からは先行きが不安との声も聞かれ、買い控えの傾向がみられる。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両整備に関しては1～2割程度の落ち込み、車両販売に関しては5～6割の落ち込みとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド] (経営者)	販売量の動き	・販売量が激減している。
	×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・4月初めは営業時間を短縮し、ランチのみの営業としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、下旬から臨時休業している。売上は前年比で90%の減少となっている。
	×	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・緊急事態宣言の影響もあり、4月の売上は現時点の状況から前年比30%ほどとなりそうだ。北海道知事による緊急事態宣言が解除になった後は、一時的にランチの回復傾向もみられたが、全国一斉の緊急事態宣言で再び減少することになった。歓送迎会などの団体予約はほぼゼロである。また、SNSで外食の情報発信をしていた客が、このところ自宅料理を投稿しており、意気消沈している。北海道の景気回復は当分見込めないが、店の存続は必須だと考えており、給付金や助成金の活用、営業時間の短縮や休業などで、どうか店を存続させたい。一方、周囲の個人経営の店舗では、4月の売上が悪いものの、前年比で何%の減少が不明確な店舗もみられる。また、営業していたとしても、利益の少ないランチやテイクアウトに依存せざるを得ず、一時閉店するか悩む店もみられる。
	×	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・全国に緊急事態宣言が出されたことで、戻りつつあった客足が遠のいてしまった。
	×	スナック (経営者)	来客数の動き	・4月11日から休業している。休業が6月頃まで続くことになれば、廃業しなければならないのではと考えている。
	×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・休業しており、ほとんど売上がない。景気の良さというよりも、今、生きることができるか否かの瀬戸際にある。
	×	観光型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・宿泊、レストラン、宴会、全ての部門で前年から9割の減少となっている。政府による緊急事態宣言以降、先の予約もキャンセルが相次いでいる。
	×	旅行代理店 (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための北海道知事による緊急事態宣言以降、航空機の減便が増加している。3月の地元空港利用者は前年の33%となっており、約4万5000人の減少となっている。空港テナントはもとより、観光地の飲食店や土産品店、宿泊業にも大きな影響が生じている。さらに、終息がみえないなかで、事業者が資金繰りに苦労している状況も継続している。
	×	旅行代理店 (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、景気は悪い。
	×	旅行代理店 (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は4月も収まらず、むしろ一層悪化している。4～6月の団体ツアーの取扱は一切ない状態であり、10月の案件も既に取消しが始まっている。仕事がないため、休業日を追加設定している状況にある。
	×	旅行代理店 (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言が発令されたなか、旅行を申し込む人はいない。既に予約が入っていた旅行、出張もほぼ取消しとなっている。
	×	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で人の動きが制限されているため、実際の業務、契約数が大幅に減少している。3か月前にはこのような状況を予測できなかったため、準備も追いついていない。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・4月のタクシーの売上は、前年比で60%のマイナスとなった。3月も50%のマイナスであったが、緊急事態宣言が出されてからは、日に日に人の動きがなくなっている。特に週末はデパートなど、ほとんどの店が閉店しているため、街なかの人出は全くない。夜間も繁華街ではほとんど人が出歩いておらず、タクシーの利用は激減している。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・売上は下降の一途をたどっている。致命的な数値まで落ち込んでいる。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、貸切ハイヤーのオーダーはほぼゼロとなっている。宿泊施設やホテル関係では臨時休業が相次ぎ、そこからのオーダーも予約も途絶えている。普通タクシーの売上也壊滅的な大幅ダウンとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の利用が極端に減っており、経営維持に向けて危機的な状況となっている。だからとした対策を早めてもらいたい。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・とにかく利用客、観光客などが皆無で厳しい状態にある。今のところは、この先のめども立たない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・緊急事態宣言が発令され、3密状態の防止を徹底していることにより、人の往来が全くなり、需要が急減している。この状況がいつまで続くのか不安でない。
	×	通信会社（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、営業時間の短縮、受付内容の制限を行わざるを得ない状況にある。客への提案や集客活動が全くできず、収益を上げられる状況にない。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・4月17日まで、どうにか通常営業を続けていたが、新型コロナウイルスの影響で、利用乗降客は例年と比べて約95%の減少という前代未聞の状況となっていた。4月18日以降は、緊急事態宣言が全国に拡大されたことを受けて、臨時休業しているため、営業活動はほぼないに等しく、嵐が通り過ぎるのをひたすら待っている状態である。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響を受けて、営業時間を短縮しているほか、客同士の間隔を空けるため、鏡面を飛石で使用しており、予約数を制限している。このため、約30%の売上減が生じている。家賃や人件費などの固定費を払うのが精一杯であり、役員報酬は厳しい状況になっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの休業要請業種ではないが、密集状態にならないように、店舗内には一定以上の人数を入れないようにしている。客も密集状態にならないか確認する人が増えている。このため、来客数が減っている状況にある。
	×	美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で自粛が相次いでいることから景気は悪い。補償をもらうことができない事業所は倒産することになる。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、輸送量が激減している。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・一部のホームセンターなどの販売は順調なようだが、新型コロナウイルスの影響で、スポーツセンター、デパートなどが休業しているほか、モデルハウスなどの来場も激減している。
	×	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・消費税増税に続き、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う営業自粛から、経済活動が全体的に大きく停滞している。その影響で、分譲マンション市場の動きもかなり悪くなってきている。
企業動向関連		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月の販売量は前年比プラス11%だったが、3か月前の1月の販売量は前年比マイナス8%だったため、景気は良くなっている。
(北海道)		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・前年度からの繰越し工事と4月着工の新規受注工事、新年度前半の工事量が確保できている状況に変わりはない。一方、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の現場作業所では工事休止の動きが出てきている。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・建設現場では施工が一時休工になっているところもみられる。ゴールデンウィーク明けから施工が再スタート、又は新規スタートする現場が増加してくるかも不透明である。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北海道～本州間のトレーラー輸送は、前年から5%程度の減少で収まっている。しかし、生乳の輸送量が1割以上減っているほか、スポット需要を含めた一般雑貨もオフターが少ない。新型コロナウイルスの影響は、今のところは限定的だが、物量が減ることになる5月以降の状況をしっかりと見極め、分析することが求められている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・営業活動を停止しているため、新規案件の獲得が全く進んでいない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての政府や自治体の要請により、取引先の不動産業や建設業では、休業や交代勤務、テレワークなどを行っている。取引の延期や中止も増えており、今後の景気は明らかに悪化することになる。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が少なからず出ている。特に旅行業は非常に厳しい状況にあり、今後、修学旅行がなくなると本当にまずいとの声が上がっている。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	それ以外	・現在、当社の受注は順調であり、公共工事は順調に消化しているものの、新型コロナウイルスの影響により、今後の民間工事の落ち込みが大きくなる懸念される。経済的な影響は長引くことになる。
	×	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・元々、前年から1割ほど落ちている受注量が、更に1割ほど落ち込んできている。
	×	家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店や旅行業とは異なり、家具産業における緊急事態宣言の影響は比較的穏やかであったが、ここに来て30%以上の受注減が続いている。生活を維持する活動以外、自粛モードが継続していることで、影響が甚大になってきており、経済規模が世界的に縮小していることを実感している。
	×	出版・印刷・同関連産業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛要請による影響が出てきている。
	×	建設業（従業員）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスによる影響が建設業界まで波及している。クラスターが発生した施設周辺の工事現場では、感染防止対策を徹底しても、近隣住民の抵抗により工事を中断せざるを得ない状況に陥っている。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、マスクや保存食品などでは特需がみられるが、これを除くとこれまで堅調であった雇用を含めて総崩れの様相である。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、道内景気は3か月前に比べ急速に悪くなっている。
	×	司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛の影響が大きく、営業活動が停滞している。不要ではないが不急の経済活動が全体的に止まっていることから、景気が良くなることは考えられない。
	×	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、元請での営業的な動きができておらず、新規の案件がほとんど受注できていない。
	×	その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、設備投資意欲の減退がみられる。特に観光関連の業種、飲食業の内容が悪化している。
	×	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・事前に受注していた物件があったことなどで、どうにか売上を確保できているが、需要と供給のバランスが取れていない。また、必要な商材が納入されない状況もみられることから、先行きに対する不安も残る。
雇用 関連 (北海道)		-	-	-
		-	-	-
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の有効求人倍率は1.13倍であり、前年を0.01ポイント上回り、引き続き高い水準で推移している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・飲食店、特に中心市街地の店舗の客入りが悪い。ビルごと休業するケースも多く、飲食店関連の求人数は前年から4割の減少となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月の有効求人倍率は1.06倍となり前年を0.07ポイント下回り、3か月連続で前年を下回った。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・周りの企業から休業や解雇といった情報が入っていることから、景気は良くない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により企業の営業活動が低迷しており、各企業の業績が悪化している。こうしたなか、イベントの中止、食品以外の販売業の業績悪化、売上減少に伴う事務量の減少などにより、人材派遣事業では派遣稼働日の削減や多くのキャンセルが発生している。また、中途採用市場においては、新型コロナウイルスの流行前に業績拡大を目指した増員の求人が取り下げられるなど、全体で約3割の求人が減少している。ただ、欠員募集の求人は取り下げられておらず、人材派遣ほどの落ち込みとはなっていない。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、多くの業界が大打撃を受けている。飲食業や観光地の求人はほぼ止まっている。また、宿泊施設や大型商業施設では、休業がしばらく続いている。ただ、スーパー、コンビニは外出自粛の影響で中食が堅調なことから、求人募集を変わらずに行っている。また、外出自粛による物流や通販の増加により運送業の求人も堅調な動きとなっている。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けての緊急事態宣言に伴う、休業要請、自粛ムードによって、特に市内中心部の飲食店、小売店、サービス業、それに付随する卸売業などが休業を余儀なくされており、求人ニーズそのものがなくなっている。
	×	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、ほとんどの事業所において、来客数、売上に多大なマイナスの影響が出ている。営業時間短縮や臨時休業に伴う人員削減、シフトカットの動きが前月よりも強まっており、ダブルワーク、掛け持ち希望者が大幅に増えている。また、遠方への移動を自粛するムードのためか、来春採用予定の新卒市場では、地元就職希望者が増えているようだ。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・道内の私立大学では授業を含めて教育活動が停止しており、就職活動も先の見えない状況となっている。このような状況下では、社会活動も、経済活動も一層の悪化は避けられない。

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で特需が発生している。来客数増加以上に客単価の増加が続いている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス問題で自宅に自備していることを求められて、仕事のためにルーターやWebカメラといったインターネット環境を整えるための設備が大変よく売れている。そのほか、白物家電は前年並みとなっている。新型コロナウイルス特需がきている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で新規客が増えており、売上も伸びている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言後、販売量が増加傾向にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で食品の需要が高まっている。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・外出自粛、買物回数の減少要請などで来客数が減少している。まとめ買いの需要が上がっているため客単価が上がり、売上は伸びているが、肉食需要が増えているため、経済環境が停滞している状況を見ると楽観視はできない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・1月頃来店した客が今頃来るサイクルになっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・例年と比べ来客数は少なくなっているが、客単価が上がっているため、月間売上額としてはやや良い状態。しかし、外出自粛に備えての買いだめの要素が大きく、今後反動による悪化が予想される。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で1人当たりの買上金額が上昇しており、前年比110%になっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス関係で外出自粛のため、内食需要が拡大し来客数も週末に集中し買上点数が伸長している。しかし、状況が刻々変化するので今後の状況は見えない状況である。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大のなか、緊急事態宣言で人出がなく買物客も非常に少ないため、売上は前年の4割減である。
		家電量販店（従業員）	それ以外	・生活必需品を販売しているため、新型コロナウイルスによる売上の大幅減はない。レジャー、行楽、趣味に金を使う方向性が新型コロナウイルスの関係で途絶えてしまったために向いている需要と考えられる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で自宅にいる人が増えているため、暖房用灯油の動きは前年並みとなっている。原油下落の影響で収益が改善されている。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・5月までの条件付不動産販売が決まっている。
		スーパー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は不透明である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で自粛している人も多く、客の動きがない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染の影響を受け来客数が減少している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・不要不急の外出自粛が各自に浸透しているように見受けられる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・個人客の販売量がかなり落ちている。さらに、年金受給者と公務員以外の方はかなり受注の量が落ちている。
		乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がかなりあり、新規客、既存客共に来客数が激減している。
		乗用車販売店（本部）	お客様の様子	・前年と比べるまでもなく、新規来客数は非常に少ない。幸いサービス在庫客は数%減にとどまっているため、ある程度の売上は確保できている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染防止による多くの客の自粛により、市内に出掛ける市民が大幅に減っている。売上は前年の3分の1となっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる影響で特に中小企業の売上が激減している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている飲食店等の加入者の解約が増え始めている。新規加入者が増加する年内で最も忙しい時期に営業活動を自粛しているため、徐々に加入者が減少し、解約者が増加している。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・リフォーム工事は増改築と塗装工事の受注が減少している。住宅設備機器は給湯器の交換工事が減少している。エアコンの前倒し注文は増加している。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で前月から人出が全くない。来客数がこんなに悪く、人の流れがないという経験は初めてである。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、商店街を訪れる客の数が減少し店舗の売上に影響が出ている。また、新型コロナウイルス感染予防のため休業や時短営業の店舗が増えている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で客の動きは非常に鈍い。書籍販売店部門や楽器販売店部門は学校が休みになっていることや人々が時間を持て余していることもあり、開業している店舗では2けた成長になったり、物によっては動いたりしているが、全体的には厳しい状況である。
	×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店の休業で販売量が半分以下になっている。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・当地の夜の繁華街は90%以上がシャッターを閉めている。20時半過ぎは全く人気がなくなっており、ゴーストタウンになりつつある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月中旬頃から自主休業を実施する取引先飲食店が出始め、今現在では通常営業している店は1軒もない。飲食店、観光施設、旅館など全ての取引先が休業となり、当社の売上も7割減となっている。社員も自宅待機の状態が続いている。
	×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスに関係なく売上が伸び悩んでいる上に、新型コロナウイルスの影響でますます落ち込んでいる。売上は通常の半分以下になっている。
	×	一般小売店〔カメラ〕（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少し売上も落ち込んでいる。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの全国的な感染拡大による外出自粛と、それに対応しての営業時間短縮の実施により来客数が大きく減少し、衣料品を始め食品以外の品目は軒並み大幅に売上が落ち込んでいる。
	×	百貨店（買付担当）	それ以外	・新型コロナウイルス渦に尽きる。県内に感染者は出ていないものの、月初から外出を控える客が多かった。売場の集客対策や催事の中止による売上低下や、購買意欲の低下は想像以上である。営業時間の短縮や期間休業もありマイナスは計り知れない。
	×	百貨店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言を受けて営業自粛となり、食品売場のみ営業時間短縮、ほかは週末休業を実施していたが、ゴールデンウィーク前から臨時休業へ移行となり、ほぼ商売はできていない。
	×	スーパー（経営者）	単価の動き	・4月の平均単価は前年比で3%強上がっている。買上点数も3%強上がっているため売上は伸びている。来客数は横ばいとなっている。売上は伸びているが、実質的には家庭の備蓄のための購買行動で、現象としては衛生商品を除き食品等の消費は一時的なものであり、家庭内備蓄が一通り済めば、将来不安心理と実質所得、収入の減少から、消費推移は以前よりも悪化しているものとみられる。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・4月16日の緊急事態宣言を受けてマインドが更に低下している。マインド及び地元のムードが落ち込んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく、売上は3月で25%、4月に入ってから40%以上と更に厳しくなっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で大幅に売上が下がっている。ホテル下の店舗、パチンコ店の隣の店舗が壊滅的である。さらに、全店週末の売上もかなり落ちている。経営を継続できるのか不安しかない。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少傾向にある。客単価は高くなっているが、来客数の減少をカバーするには至っていない。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数が前年比85%と大幅に低下している。ゴールデンウィークも外出自粛で売上減が予測されている。さらに、手渡しのカウンターフーズ、コーヒーなどの商品低下により値入高の低下も収益悪化の原因となっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛により来客数が激減している。売上も減少しており、特に週末の外出が制限されていることから週末の売上減少が著しい。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で都市部のコンビニの売上が厳しい。郊外も10%以上下がっている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・店舗周辺の会社も休みのところが多く、来客数が減っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・自粛のため、来客数が減っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・4月前半から中旬に掛けては、前月に比べて来客数は激減し、ほぼない状態。16日に全国に発令された緊急事態宣言を踏まえ、20日から臨時休業としている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、出張などの用途でのシャツやネクタイを購入するビジネス客も減っている。また、結婚式もほぼなくなっており、礼服はお悔やみの需要しかないという状況のなかで、購入の機会が大きく減って大きな打撃を受けている。最も購入の頻度が低い業種なので、今回の影響は非常に大きい。
	×	衣料品専門店 (店長)	それ以外	・全国への緊急事態宣言による外出自粛が来客数の減少につながっている。
	×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により来客数が激減している。
	×	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業時間を短縮している。また、休業の対応を行うことにより前年比60%減となっている。
	×	乗用車販売店 (従業員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で新規来場者数は減少し、点検車検予約もキャンセルや先延ばしになっているケースがある。
	×	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・3か月前より来客数がかなり減っている。来店しても受付後すぐに帰られる。客の多くは点検待ちやタイヤ交換である。
	×	住関連専門店 (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で新聞の折込チラシも少なく、皆が消費に費やすのは食料品と日常生活に最低限必要なものだけになっているので、当店では思うようには景気は上昇していない。
	×	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、売上が激減している。
	×	その他専門店 [酒](経営者)	それ以外	・覚悟はしていたが、新型コロナウイルスの影響で4月は壊滅的な状況である。売上は半分以下で、しかも動いているのは薄利の商品のみである。飲食店もほぼ全滅している。世界的に同じ状況で打つ手がほとんどない。しかも先々の見込みが立たず非常に危機的な状況である。
	×	その他専門店 [食品](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス不況である。緊急事態宣言から市民の動きが止まっている。観光施設も休業で、それを目的に来訪していた人が全く来店できなくなっている。一部ネット販売の注文はあるがそれも極々少なく、先が見えない状況である。
	×	その他専門店 [靴](従業員)	販売量の動き	・5店舗のうち3店舗が休業となり、売上が激減している。
	×	その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・観光業に関わる企業全般、飲食業に関連する企業全般からの注文がないに等しい状態である。観光業関連で言えば観光ホテル、観光地の店を始め地域全般が今は全く営業していないような状態である。また飲食店にしてもほとんどが休業、若しくは時間短縮をしており、各店舗の経営もかなり厳しい。制服の交換時期であったが見送りとなったものが数件ある。
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言発令後、著しく来客数が減少している。感染拡大防止のため客への接触を避けるような対応をしており、燃料油以外の販売も著しく減少している。
	×	その他小売 [ショッピングセンター](統括)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で外出自粛宣言も出ているため、客足も非常に遠のいている。購買自体もなかなか客の意欲が上がらず、食品以外は非常に厳しい状況が続いている。
	×	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスにより営業を中止しているため、収入がなくなっている。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でレストランという業種にはほとんど客が来ていない。1か月間営業して、来客数は10名ほどでほぼなくなっているといってもいい状態である。大変厳しくなっている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの件で営業を自粛している。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で今月は営業を自粛しており、売上が全くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる脅威が加速しているため仕事以外では外を歩けない人がほとんどである。かといって今までテイクアウトや仕出しをしてなかった店が来店できないからと言って始めても、コンビニやスーパーで一般的には間に合うので、固定費が掛かるばかりで赤字になりがちである。これでは景気は下がる一方である。
	×	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・4月は新型コロナウイルスの影響で休業を余儀なくされた。5月もほぼ休業を余儀なくされる。今までに経験したことのない不況である。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で営業を自粛しており休館中である。
	×	観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、4～5月と休業している。販売したくても、できない状況である。
	×	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・4月は個人旅行の店舗は全て臨時休業としている。5月も同様の対応をする予定だが、それにより売上が全くない状況である。先が見えない非常に厳しい状況である。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、全国の全店舗を休業させている。Webでの受注においても前年度に比べ95%以上減少している。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症拡大により、4～6月の第1四半期は受注済案件全てキャンセル又は延期となり、売上高もゼロ状態。終息が見えない限り先行き不透明の状況は変わらない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客が少ない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・場所、時間を問わず人の動きがないので、仕事のやりようがない。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で小売業が衰退し、卸売業にも影響が出ている。廃業、破産が深刻化している。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、テレワーク関連以外の客の購買意欲は余りない。
	×	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上が低迷している。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い休業している。
	×	観光名所（職員）	それ以外	・今月に入りほとんど客が少ない。舟下り内の店舗も、舟下りが5月16日まで運休することが決定したため店はほぼ開いていない。土日に様子を見に店を訪れるが、客が来ている様子も車が入ってくる様子もない。時節柄、観光は後に回されているようである。
	×	観光名所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は大きい。休業を余儀なくされており売上もない。ゴールデンウィーク期間中に事態が落ち着くとは思えず、雇用問題についても不安材料しか見つからない。
	×	遊園地（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染対策で、やむなく4月11日から臨時休園している。営業していた10日間も前年と比較にならないくらい低迷している。
	×	競艇場（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、2月28日より休館となっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減している。1週間おきに25%くらい下がってきており、現在は前年比30%ほどになっている。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる経済活動の停止の影響は計り知れない。
	×	設計事務所（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がじわじわと出てきている。当社においては業務の遅延や中止は発生していないが、在宅勤務の推奨、時差出勤及び休業要請への対応など、零細企業においては本業以外の部分に多くの時間が奪われ厳しい状況である。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、4月から具体的な外出、営業自粛要請が発表されたことにより、客の購買意欲が過去10年間で最も低い状況になっている。
企業動向		-	-	-
		-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (東北)		建設業（企画担当）	それ以外	・客の設備投資は減少傾向にあるが、3か月前と比較して大きく落ち込んでいてとまではいえない。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の前向きな反応が多くなってきている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は明らかに半導体製品の受注量に表れ始めていて、景気としては下向きであることは明らかである。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製造業においても新型コロナウイルスの影響が徐々に表面化してきている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年度初めのため、受注額は低下している。新型コロナウイルスの影響については、具体的な形ではまだ出てきていない。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・外出自粛、イベント中止で飲食業、ホテル業などは売上が激減している。今後を見通せない状況が続いている。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で以前から商談しているものが保留、延期、白紙になるケースが増えてきている。また、仕入先が休業日を設定したり、シフト制や在宅勤務体制を敷いたりしているため、円滑な業務ができなくなってきている。
	×	農林水産業（従業者）	それ以外	・例年春の農作業では農機の買換えなどが結構あるが、今年は新型コロナウイルスの関係で全く活気がなく、売行きが良くないと農機のセールスマンが言っている。
	×	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・天候不順で降雨が続いたことにより、作業に遅れが出ている。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・テナントで入っている店舗はほぼ休業中である。直営店も休業日を入れながら営業しているが観光客がいないので土産は壊滅状態。通販のみ送料半額セールを企画しているので好調となっている。
	×	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスにより、緊急事態宣言が全国に出されたため、店舗は臨時休業となり、現在の売上はインターネットによる通販のみである。そのため4月の売上は8割減になっている。
	×	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、販売量が1～2割減となっている。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でイベント中止に伴う印刷物の発注見合せや、情報誌における飲食店の広告掲載中止、求人広告の減少がみられる。3月で17%減少している。
	×	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べ売上が約50%減少している。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・地域間格差はあるものの、東北6県において出荷が前年より増える県がない。新型コロナウイルスの影響では、今後民間設備投資の延期や中止等が予想される。
	×	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で客先の休日が増えている。極端な客先では1か月休日というところもある。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により経済活動が低減し、倒産している企業が多くある。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月に入り新型コロナウイルス感染拡大により、主要製造業取引先においては減産を実施し、製品出荷も減っている。
	×	金融業（広報担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍に伴う外出自粛ムード、各種イベント中止等が影響し、飲食業・宿泊業は休業や時短を余儀なくされているケースが頻発している。2次産業でも資材の納入遅延によるスケジュールの混乱が見受けられる。
	×	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・前月同様、催事の中止や延期、販促活動の自粛等で広告業界は厳しい状況が続いている。さらに、緊急事態宣言により自粛に拍車がかかり、広告出稿の減少に歯止めが掛からない状況である。
×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は40～50%減少している。9月まではこの状況が続くとみている。	
×	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況と相談内容から判断している。ラーメン店、スナック、バーといった飲食店や学習塾経営の資金相談、助成金申請相談が急激に増えている。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売業] (経営者)	受注量や販売量の動き	・景気の状態は新型コロナウイルスが加わり、なお一層悪くなっている。注文はある程度あるが、メーカーに発注しても商品が潤沢に入らないというのが普通で、販売がなかなかできない。特にカップラーメンや袋ラーメン、レトルト食品、ホットケーキミックス粉など、巣籠りするような状況のなかで簡単に作れる商品が非常に不足していることが非常にマイナスになっている。
	×	その他非製造業 [飲食料品卸売業] (経営者)	受注量や販売量の動き	・料飲店を中心とした業務用の消費が著しく悪化している。飲食店に酒類を供給する業務用酒販店も、人員の稼働を3割以下にまで抑えている。
	×	その他企業 [企画業] (経営者)	受注量や販売量の動き	・広告宣伝に係る企画や印刷物の受注が前月から全く途絶えてしまっている。また、密対策でセミナー関連の受注も全滅している。
雇用 関連		-	-	-
(東北)		-	-	-
		-	-	-
		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人数が減り、採用を控える企業が出てきている。
	×	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・緊急事態宣言による行政主導の施策が東北6県に及ぶと同時に、派遣先企業から派遣社員の自宅待機やリモート勤務等の依頼や指示が怒涛のように押し寄せている。前例がなく現在も休業補償などの対応に追われている。
	×	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・中途採用や新卒採用を積極的に行っていた飲食業やホテル・旅館業が軒並み前年比約9割減になっていて、新卒採用はストップ、中途採用も大幅な縮小という状況になっている。また、靴や婦人服などの専門の商社は中途採用はストップ、新卒採用は大幅に減少している。
	×	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人終了になるケースや選考が保留になるケースが頻発しており、売上にも影響が出てきている。
	×	人材派遣会社 (社員)	それ以外	・オーダー数は前年比60%以上減、売上也前年大幅減の状況。また取引先からの契約終了が非常に増えてきている。
	×	アウトソーシング 企業 (社員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で会議がことごとく中止になっている。
	×	新聞社 [求人 広告] (担当者)	求人数の動き	・新型コロナウイルス被害は甚大で、流通、飲食、サービス等のあらゆる業種で雇止めが始まり、求人数も激減している。企業側も休業や雇用調整等、採用どころではないのが実情である。まずはこの危機的状況を乗り切るのに各企業必死の状態である。
	×	新聞社 [求人 広告] (担当者)	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ている。
	×	新聞社 [求人 広告] (担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス拡大防止のアナウンスによって、飲食業界は外出要請や営業自粛要請前から客足が大きく減り、収入が8~9割減という事業者が多くになっている。毎日のようにテナント料の減免や支払猶予のお願いに歩いているところもある。
	×	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・前年同月に比べて求人数が4割以上減少している。また、新型コロナウイルス関連では、当初は飲食、宿泊からの相談が多かったが、現在は製造業などの他業種で、資材不足や流通の不備による生産量の減少を訴える声が多くなっている。
	×	学校 [専門学 校]	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で休業する企業が増加傾向であり、景気は悪い。

3. 北関東 (地域別調査機関 : 株式会社日本経済研究所)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		-	-	-
		-	-	-
		スーパー (商品 部担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上は増えているが、一時的な売上増である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(北関東)		衣料品専門店 (統括)	来客数の動き	・今、大問題となっている新型コロナウイルスの感染防止のため、外出が控えられている。商店街でも客が少なくなってきている。当店は祭礼用品の専門店なので、祭りが中止になるところが多く、今後もかなりの影響が出てくる。
		家電量販店(店 長)	お客様の様子	・新型コロナウイルス対策の商材は売れているが、それ以外の商材は在庫不足である。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、販売数は増加傾向である。
		一般小売店[精 肉](経営者)	お客様の様子	・今月も前月と変わらない。新型コロナウイルス感染拡大防止で、「外出を控えるように」との全国の通達、緊急事態宣言どおり、地域の人は実行している。いろいろな商材が間に合うスーパーはにぎやかだが、個人店は休日同様である。また、追い打ちをかけるように、我々の扱う豚肉が高騰しているため、売行きは悪いのに値上げをしなければならず、弱り目にたたり目である。
		スーパー(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス関連で、売上は増えているが、商材がひっ迫してきている。仕事がない人が増えてきているので、この先の見通しは立たない。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの拡大防止のため、来客数が急激に減っている。特に、観光客については、かなり減っているため、売上、来客数共に減っている。
		コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、来客数は減っているが、客1人当たりの買上点数は増えている。
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあり、全体的に動きが鈍くなっている。
		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で外出制限もあり、客は全く動いていない。
	×	商店街(代表 者)	お客様の様子	・リーマンショック直後とは比較にならないほどの、最悪状態が続いている。緊急事態宣言に危機感が増し、客は来ない。営業時間を短縮しても効果がなく、とうとう休業に追い込まれている。毎月の家賃や経費を考えると苦しい毎日である。
	×	一般小売店[家 電](経営者)	お客様の様子	・客の動き自体が悪くなっている。活動自粛で皆買い控えや必需品以外は買わないという状況が続いている。
	×	百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・4月中旬以降、県の緊急事態宣言を受け、食料品フロア以外は臨時休業中のため、大幅な売上減となっている。
	×	百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が発令され、食品フロアのみ縮小営業を行っている。一定の客が連日来店しているが、事態の終わりがなかなか見えず、このままこの状態が続けば、経営として手詰まりとなる恐れがある。
	×	百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・当店は食料品売場を除き、4月20日より臨時休業が1時間の営業時間短縮体制となっている。そのような状況もあり、来客数は4月累計で前年比70%台の推移、20日以降は50%台となっている。
	×	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・4月の売上平均は前年比87%、6万8000円減となっている。来客数は同89%、82人減である。新型コロナウイルスの影響を受けて、主要な客の勤務先がテレワークを始めたため、1日あたり200人近く客数が減少し、売上減の大きな要因となっている。また、営業車、トラック等の交通量も少なくなっている。
	×	衣料品専門店 (店長)	単価の動き	・マスクの関連商材だけが動いているため、単価が低く、大変厳しい。
	×	衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの話が出てから、徐々に客足が遠のいている。当店は高齢者というより年金生活者がほとんどなので、余計に自己防衛に走る人が多い。現在は、急ぎで作ったマスクがやっと動いているくらいで、本当に客が来ない。
	×	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・当地域の自動車メーカーは、新型コロナウイルスの影響で3月末頃から生産がストップし、それが5月のゴールデンウィーク明けまで続くようである。そのため、地域全体の企業の多くが休業を余儀なくされており、購買意欲の低下が甚だしい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・販売はもちろん、修理の客も全く来ない。この新型コロナウイルス騒ぎで、客が怖がって来店しない。そのため、当店から客に連絡しているが、来客数は増えず、売上も全く増えない。
	×	乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・3月後半～4月前半にかけて1日の来場者数がゼロということもあるぐらい、客数が減っている。当社は観光地を控えているので、ホテル、物産店、ドライブインが多くある所に立地しているが、ほとんどの店が休業状態で、全く人が行き交わない。車の購入目的で来店する客は、3月末～4月に入ってから全くというほどいない。修理関係はこちらから客のところに取りに行く状態で営業している。多少、修理があるから救われているが、販売に関しては悲惨である。
	×	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛の影響が甚大である。
	×	住関連専門店 (仕入担当)	それ以外	・全事業の20%程度が休業を余儀なくされており、ゴールデンウィーク期間中は更に増える。緊急事態宣言の期限は一応5月6日だが、見通しは立たない。事業を継続している企業も、「密」を避けるための施策を打たざるを得ず、休業分をカバーできる状況にない。
	×	その他専門店 [靴小売業] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、どうしようもなく悪い。
	×	その他専門店 [燃料](従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自粛状況が続き、各方面に影響が出ている。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数は、激減している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数、売上共に激減している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・幹線道路にはほとんど往来がなく、当店に限らず来客はほぼゼロに近い。テイクアウトを始めても、焼け石に水という同業者が多い。まだ体力が残っているが、このままの状態が長く続くようなら、持たない店も出てくるだろう。
	×	一般レストラン [居酒屋](経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる休業要請や外出自粛等で、悪くなっている。
	×	スナック(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、営業を自粛しており、収入がゼロになっている。
	×	その他飲食[給食・レストラン](総務)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が各部門に大きく出ている。最も早くから影響が出たのはレストラン部門で、一気に来客数が落ち込んだ後、緊急事態宣言の全国拡大に伴い、大半が休業になっている。事業所給食部門も、ホテル、観光旅館、ビジネスホテルの休館に伴い、飲食提供を休止する取引先が出ている。社員食堂も生産調整により、喫食数が減少している。更に前倒しでゴールデンウィーク休暇に入る取引先も増えており、総じて提供する食数が減少している。
	×	観光型ホテル (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルス感染防止のため、休業自粛要請を受け、4月13日から休業している。休業以前にそれでも少しだけはあった予約も、全てこちらからお願いしてキャンセルしてもらっている。悪くなっているというより、会社の存続すら危うい状況にある。
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、予約が皆無である。
	×	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、宿泊の稼働に大きな影響が出ており、悪い。
	×	都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・宿泊、料飲共に大幅な売上減で、営業しているだけで赤字と言わざるを得ない現状である。固定費以外の経費を調整しているが、非常に厳しい。
	×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言により、旅行需要が全くなくなっている。
	×	旅行代理店(所長)	それ以外	・言うまでもなく、新型コロナウイルス感染拡大防止による、自粛に尽きる。
	×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスにより売上が立たない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・タクシー業界は、新型コロナウイルスで相当な打撃を受けている。外出自粛の影響から利用客の激減で、例年同時期の80～85%減の新記録である。この状態がいつまで続くか心配である。
	×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、前年同月比53%の減少である。
	×	タクシー（役員）	お客様の様子	・政府の対応が最悪で、公共交通は見放されている。
	×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・不景気な上に、さらに新型コロナウイルスが襲い掛かっている。
	×	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、悪くなっている。
	×	通信会社（社員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、営業活動を自粛しており、悪くなっている。
	×	通信会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、不動産関連、ハウスメーカーを含めて、軒並み契約数が減少している。当然、飲食店、サービス業にも多大な影響がある。
	×	通信会社（総務担当）	それ以外	・店内の混雑を避けるため受付制限をしており、1日の受付数は例年の3分の1である。
	×	通信会社（局長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、営業自粛や客への訪問キャンセルなどが顕著である。テレワーク、学校休校での在宅率上昇で、新たに契約を検討する客もいるが、新規獲得の大幅減少が見込まれている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・全国を対象とした緊急事態宣言が発令され、県の要請に伴って臨時休園し、入園者数がゼロとなっている。
	×	ゴルフ場（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大により全国に緊急事態宣言が発出され、キャンセルが相次いでいる。
	×	競輪場（職員）	それ以外	・無観客でレースを開催していたが、新型コロナウイルスの影響で、開催そのものが中止の状況で、この先どれくらいで開催できるのかが不明である。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・美容業は政府の指定業種ではないが、国民の不要不急の外出を控える点から、また、従業員の健康面からも営業時間を短縮してきたが、個人のできる努力は、ここまでがせいぜいである。売上は前年比4割減で、雇用維持も難しい。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・売上は前年同月比4割減と非常に厳しい。男女共に60～80歳台の来店が激減している。
	×	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・節約志向の傾向が大きくなっている。車両の買換えや交換パーツは後回しにするなど、車検を除いた法定点検の回避が高まっている。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛により、飲食、旅客業が大きく落ち込んでおり、関連業種も影響を受けている。かなりの景気悪化とみている。
	×	設計事務所（所長）	それ以外	・市内で同じチェーン店の撤退告知が出てきている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・東日本大震災やリーマンショック等、今までもいろいろあったが、50年この商売をしていてこんなに悪くなったことはなく、最悪の時代である。店舗、特に、飲食店では、家賃の値下げ問題と閉店による撤収話がかかり出てきている。アパート、マンション等も、賃料の遅れが目立ってきて、家賃が払えない実情の話が当社にも来ている。人通りは今までにない少なさで、日中は電話等も少ない。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・在宅時間が増えたため、自宅内の不具合や修繕等が増えたり、ゴミの量が増えたり、対応する仕事が増えている。
		窯業・土石製品 製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今のところ、新型コロナウイルスの影響は受けておらず、堅調に推移している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・現状、新型コロナウイルスの影響も特段なく、事業を行うことができおり、変わりない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、在宅業務によるテーブルや椅子、また、巣籠り生活により、たい焼き機、ホットプレート等の調理家電、園芸用品等の輸送量が前年の1.5倍になっている。また、中旬頃より中国からの輸入品も復活し、物量が増えている。しかし、自動車関係の仕事量が激減しているため、全体的には前年並みの輸送量となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送用機械器具製造業（経営者）	競争相手の様子	・受注量、販売量の動き、競争相手の様子等が若干落ちている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・こんな世相のなか、事務所を開けていられるだけ、良いかなと思っている。ただし、来所する客が減っているため、ちょっと落ち込んでいる。
	×	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が、主要取引先の稼働が止まり、当社の主力製品の出荷量が大きく落ち込み、影響を受けている。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス流行に起因して、現在トラック関係は、親会社が休業中で売上はゼロである。昇降機は中国向けの部品輸出が、ゼロになりつつある。全体的な売上は前年比の3分の2である。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車組立のラインストップに伴い、当社の量産ラインも止めている状況である。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在、前年同月より2割ほど落ちているが、5～7月についても前年の5割程度の仕事量になるという内示なので、当社も相当厳しい状況に陥る。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、中国製部品の遅延や取引先の生産ストップにより、悪くなっている。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車の3月国内販売は前年比81%と目標未達である。新型コロナウイルスによる外出自粛要請以降、ディーラー来場者が大きく減少していることが影響している。また、米国販売は外出禁止令によって行動を制限されている状況にあり、販売活動に大きな影響が出ている。自動車メーカーの生産が停止し、自動車部品の受注にも影響している。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・当社は公共工事主体で売上の95%を占める建設業である。現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。今期も前年比19%増と順調である。2月から問題視してきた新型コロナウイルスの問題は今後もしばらく続くので、先行きを大変心配している。今回の政府の対応は問題視している一方、各都道府県知事の対応は素晴らしいと思う。当社も、新型コロナウイルス対策を一番に考え、事業継承を考えている。今期決算は不安だけだが、有名芸能人の新型コロナウイルス感染での死去をみても、命が一番だと思っている。
	×	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・医療や介護施設で予定していた、清掃管理業務や設備改修工事が軒並み中止となり、管理受託先のリゾートホテルも一部休業したため、毎月行っている管理作業も中止で、売上高が大幅に下がっている。
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・クライアントのイベント、販促がほぼなくなり、広告出稿が止まっている。前年比8割減となっており、危機的状況である。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、顧客が減少し、受注数、受注額、売上の減少等の影響が出ている。飲食店、商店街、個人向けサービス業等はすぐに影響が出ており、中小製造業の下請等も確実に受注量が減っている。新規開業や創業者等は危機的なまでに厳しい。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・休業要請が出て以来、個人消費が一段と落ち込んでいる。
	×	その他サービス業[情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客のマインドに変化が出てきており、新規の投資を抑制している。さらにテレワーク等により活動が停滞気味で、受注量が急激に減ってきている。
雇用関連		-	-	-
		-	-	-
		-	-	-
(北関東)		人材派遣会社（経営者）	それ以外	・このところ新型コロナウイルスの影響で、仕事が安定せず、残業も少なくなり、非常に悪い。
	×	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大予防の自宅待機で、家庭向けの食料品、雑貨等は大幅に伸びている。ただし、現状ではシャッターを下ろし、閉店している販売店等もかなりある。住宅関連は若干工事を受注しているところがあるようだが、非常に厳しい状況である。工場の生産稼働もごく小規模である。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる採用抑制が影響している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、派遣先の業務が終了している取引先が多数あり、採用者数が激減している。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年比5か月連続でマイナスが続いている。新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛などの影響により、来客数や仕事量が減少したためとみている。
	×	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の終息が予測できず、今後の雇用及び経済の不安定さが心配である。

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (南関東)		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	販売量の動き	・今月はまず外商において新庁舎関連でじゅう器備品の仕事があり、大幅に売上が増えている。また、新型コロナウイルスの影響等で、前月まで遅れていた納品等が全部4月に回ったことで、一気に売上が伸びている。店舗については、2店舗のうち1店舗は複合ビルなので閉めているが、もう1店舗ではマスク等売っているということもあって、売上は好調である。また、文具類も、家の中でできるような大人の塗り絵などの商材が売れている。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価共に上がっている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・スーパーなので、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で、売上が増加している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・今の数字は新型コロナウイルスに伴う需要である。この影響がなければ当然売上は厳しい状況にあったと思われる。飽くまでも、新型コロナウイルス関連需要が一因となり、売上が伸びているため、景気が良くなっている。来客数は前年並みだが、客単価は前年比120%となっている（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、客単価、来客数増が止まらない。販促を自粛しながら、感染に気を付けて営業をしているが、いつまで営業していけるか不安である。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・自分たちの業種は非常に良いが、周りには悪い業種がたくさんあるので、全般的には良いとは言えない。スーパーは生活必需品を扱っていることに加え、巣籠り需要で来客数よりも客単価が上がり、売上が伸びている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言により自粛ムードが高まるなか、自宅での喫食率が増加したためか、消費者の不安があられたためなのか不明だが、明らかに以前とは違う物量が動いている（東京都）。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・食料品全般の売行きが良く、販売数が20%ほど上向いている（東京都）。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数は上昇していないが、単価だけは伸びている。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染対策として在宅勤務が広がり、リモートワーク関連のパソコン本体や周辺機器等の購入で、数字的には前年を上回っている。パソコン本体がけん引して158%と伸び、店舗全体では105%、来客数も114%と増加している。営業時間は2時間短縮している。
		通信会社（管理担当）	それ以外	・通信サービスの強みは、小売店と異なりストックビジネスであるということである。4月は営業が在宅で客をフォローしているが、通常に戻り次第、回復すると想定している。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・客の様子を見てみると、広告初日の目玉商品や、ポイント何倍の日、タイムサービスの時間帯など、お得な時間、店舗をうまく使い回って、安価な物を購入している傾向が引き続きみられる（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、買上点数が上がっている。来店客も、男性など新規の客が増えてきている。パスタ、飲料、酒類、ラーメン等の備蓄型商材や、在宅需要により菓子類の売上が伸びている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入動向については、新規、コース変更共に節約意識は変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・テレビ、インターネット接続サービスは、在宅勤務、外出自粛で需要が増えている。料金滞納で解約が特別増えているわけでもない。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響だが、今のところ、もらっているプロジェクトは変わらずに続いている。
		設計事務所（職員）	それ以外	・当社では例年3～4月に多くの受注があるが、今年はやや低迷気味である（東京都）。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でレストラン、居酒屋が悲鳴を上げている。来客数が極端に減り、各店舗でテイクアウトなど工夫しているが、芳しくないようである。今後の見通しが立たないのが辛いと話している。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染予防の観点から、困りごとで依頼のある客のみ対応している。商品はぼつぼつといったところである。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で内食や家飲み需要が拡大し、保存が効いて家族で食べられる商材、おつまみ商材の販売が異常に伸びており、メーカーの製造が追いつかず、欠品状態が続いている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数が7%落ちている。
		コンビニ（商品開発担当）	来客数の動き	・客単価は上がっても、客が大きく減っているため、対策を打ちにくい。とにかく厳しい（東京都）。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が30%減り、依然として厳しい状況が続いている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。
		乗用車販売店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がある。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス関連商材はよく売れているが、それ以外は前年より売れていない。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、こちらからのアクション営業を控えている。住所変更や在宅勤務によるインターネット環境整備のため、継続して一定数の問合せはあるが、春の繁忙期によるリアクション営業も断っている状況である（東京都）。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・モバイルについて、緊急事態宣言により家電量販店が休業したことで、SIM販売数が3割減となっている。大手小売系通信会社がMNOに参入した影響によるところもあるかもしれないが、減少が大きい。光回線は、在宅勤務に伴い自宅の通信環境を改善するため、例年より申込数が多い。移転シーズンやCPを加味しても多い（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言以降は営業活動を自粛しており、実績が大幅に落ち込んでいる。サービスの解約も増加しており、大変厳しい状態になっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言に伴い、直接の営業活動を停止している。客からの加入希望中心となり、全体的には悪くなっている。
		通信会社（経営企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響に伴う休業や自宅待機により、売上が減少している（東京都）。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、人と物が動かなくなってきたので、新規契約が減少している（東京都）。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は避けられず、営業自粛に加えて訪問営業の機会自体も大幅に減少している（東京都）。
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	販売量の動き	・現時点でやや販売量が減っているだけでなく、顧客数も合わせて減少している。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が発注を見合わせ、控える動きが出始めている。先行きはますます厳しくなる。
		住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・3か月前と比べて景気は悪くなっている。不動産の反響も減り、新型コロナウイルスの影響で客の購買意欲も減っているように感じられる。不動産業者の土地の買い控えにより、仕入案件の情報は増えているが、まだ高値で推移している。今後は落ち込むと予想している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	競争相手の様子	・1月以降、仕事の相談が減少しており、悪い方向に向かっていたところ、思いもよらない新型コロナウイルスの影響で、相談すらなくなり、更に悪くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が出てから人通りがほとんど壊滅状態になっているため、来客数も激減している。現在のところ、当商店街では大体7割が閉店しているような状況である。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・商業者で悪くなっていないのはスーパーくらいかもしれない。特に飲食店は壊滅寸前である。物販も時間の問題というくらい厳しくなっている。ただし、都心に比べて商店街には多くの人に来ており、難しいかじ取りを強いられている（東京都）。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でどうにもならない。品物も遅れて入ってくるので客に迷惑が掛かっている。今後の仕事の予定等も立っていない。政府の対応の遅さが何とも言えない（東京都）。
	×	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染対策で17日から店を休んでいるため、売上がない。
	×	一般小売店〔家電〕（経理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響があり、自粛で閉店しているため、売上が見込めない以上、体力勝負になっている感がある。
	×	一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・どこも同じだと思うが、新型コロナウイルスの関係で、来客数が非常に少ないというか、客が来ないというのが現状である。もちろん販売量も少ないので、景気は非常に悪い（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスで先が見えない。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・このような状況になってしまい、低迷している。客がほとんど歩いていない。非常に厳しい状況だが乗り切るしかない。
	×	一般小売店〔祭用品〕（経営者）	それ以外	・自粛により、当店も短縮営業等を余儀なくされている。行事の中止で受注もない。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業時間を短縮したが、それ以上に来店客が激減し、売上がダウンしている（東京都）。
	×	一般小売店〔文房具〕（経営者）	お客様の様子	・全てにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大による影響である。土日の来街者はそこそこいるが、平時とは違い、飲食店を始めとする近隣店舗の売上の落ち込みが激しいと聞いている。ただし、当店については、近隣のドラッグストアで品切れしているトイレトペーパーやアルコール除菌スプレーの在庫が確保できたこともあり、これらの商材が集客のきっかけになり、売上はほぼ前年どおりである（東京都）。
	×	一般小売店〔傘〕（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。
	×	一般小売店〔生花〕（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響である。政府や都からも自粛要請が出ているので、客が全く少ないし、本当に大変な時代である。少しでも早くこの病気が収束することを祈っている（東京都）。
	×	一般小売店〔茶〕（営業担当）	来客数の動き	・例年、新茶DMはハガキで行っていたが、今年は全て封書に変え、インターネットでの注文を受けやすくなったためか、1.5倍になっている。しかし、効果が出るかどうかは来月にならないと分からない。今は時短で営業しており、来客数は50%になっている。
	×	一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・品物が動かない。今まで毎日のように納品をしていたところから注文がなくなり、従業員もバイトは休ませて、社員が1週間に3日ほど交代で出ているような状況である。さらに、しばらく使わないので、納入している給茶機の始末をさせられたり、余分な仕事をしている状態である（東京都）。
	×	百貨店（売場主任）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、食料品フロアは営業しているが、その他のフロアを全て閉めている。当然、売上も6掛けとなっており、生鮮品は一定数売れているが、それ以外は休業も含めて体をなしていない状況である（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（売場主任）	それ以外	・政府の緊急事態宣言発令を受け、4月上旬より首都圏事業部の店舗は全館臨時休業となり、インターネット事業含めて営業を休止している（東京都）。
	×	百貨店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言後、食料品売場以外のフロアの休業を行っている。もともと食料品比率が高い店舗ではあるが、大きなダメージを受けている。
	×	百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス対応により通常の営業活動が行えていない。また、客自体の活動も制限されている緊急事態宣言のなかで、景気判断についてコメントすることは厳しい。かつてない状況であり、「悪い」のレベルを超えている（東京都）。
	×	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来客数が減少している。また、緊急事態宣言により4月第2週から休業している（東京都）。
	×	百貨店（広報担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、グループ全店で営業を休止している（東京都）。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・政府及び都の要請を受け、全館又は食料品を除くフロアの営業を自粛していることにより、かつてないほど売上が減少している。営業を継続している食品フロアも、短縮営業を実施している。菓子、総菜テナントでは、生産工場の自粛により休止している店舗も徐々に拡大している（東京都）。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言を受け、短刻、縮小営業を実施しているが、外出自粛の動きによって、見込みより低調である（東京都）。
	×	百貨店（販売促進担当）	それ以外	・4月4～5日、及びその後の緊急事態宣言を受けた4月8日以降は食品フロアのみ営業としたことで、大きく影響を受けている。
	×	百貨店（販売促進担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、今月に入ってから営業を停止しているため、大幅に収益が減る見込みである（東京都）。
	×	百貨店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がある（東京都）。
	×	百貨店（店長）	それ以外	・世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい（東京都）。
	×	百貨店（企画宣伝担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、緊急事態宣言を受けて4月8日より臨時休業し、食料品を中心とした生活必需品のみ販売している。そのため、売上高は前年同期比約35%にとどまり、営業収支は厳しい。
	×	スーパー（総務担当）	それ以外	・今年に入ってから新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言を受け、来客数が約9割、衣料、住まいに関しては半分になってしまっている。買物を楽しむというよりも、必要な物を買いためていくというような状況で、決して購買力が強まっているというわけではない。
	×	スーパー（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で仕事がなく、収入もない。
	×	スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言以降、来客数が2割減っている。食品は客単価が30%上がっているが、衣料品は売上が60%と大きく減っている。結果的に食品の増収のお陰で10%減で収まっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がかなり出ている（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、深夜の来客数はほぼゼロである。売上、来客数、客単価いずれも大幅にダウンしている。給料も払えるかどうかというところまで追い込まれている。
	×	コンビニ（経営者）	単価の動き	・時間帯によっては単価が高いが、1日トータルで来店客のない時間が増えている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、当店の場合、コンビニエンスストア5店舗中2店舗が現在休業している。基本的には、人が歩いていないため、来客数が減っている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言に伴い、在宅勤務による外出減があり、特に都心部の店舗で来客数減が目立つ。また、週末の外出自粛が影響し、全体的に客足が2～3割減少している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・衛生用品は売れているが、入荷が安定しない。婦人アウターは70%ダウン、肌着靴下の実用衣料品まで50%ダウンしている。長年、年中無休で経営していたが、4月から土日は休み、平日も5時閉店としている。従業員の半分が義務教育の子供がいるので休んでいる。また、当地区は県内で飛び抜けて感染者数、自宅待機者数が多いと聞いており、怖い。身を守らなければならない。
	×	衣料品専門店 (店長)	それ以外	・他社も同様だと思うが、新型コロナウイルスの影響が大き過ぎる。営業はしているものの、生活必需品ではないため、前年比6割程度の売上となっている。
	×	衣料品専門店 (店長)	それ以外	・緊急事態宣言以降、稼働店舗がほぼゼロに近い(東京都)。
	×	衣料品専門店 (統括)	来客数の動き	・外出自粛、テレワークの影響により、来客数が大幅に減少している。
	×	衣料品専門店 (営業担当)	それ以外	・4月は営業日がたったの4日間限りで、あとは自粛している。県に緊急事態宣言が出ていて、当ショッピングセンターも全店が閉店している。前年比では1けたと、廃業若しくは倒産を考えなければいけない状況になっている。
	×	衣料品専門店 (役員)	来客数の動き	・土日祝日は休み、平日は午後4時までの短縮営業で、来客数は1日2～3人、売上は8割減となっている。
	×	家電量販店(店長)	それ以外	・実店舗の実績は、緊急事態宣言により収入減であるが、インターネット通販は1.5倍以上の伸びを見せている。家電量販店は、新型コロナウイルス収束後における販売戦略の転換を余儀なくされるだろう。競争がますます激しくなり、経営効率の改善と生き残りをかけた新たな集客戦略を構築した企業に軍配が上がる(東京都)。
	×	家電量販店(店長)	お客様の様子	・緊急事態宣言や、不要不急の外出自粛等により客足が鈍化している。心理的ストレスによる購買意欲の低下もみられる。
	×	家電量販店(店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で白物家電の売上が落ちている。企業活動がテレワークになったり、大学生の自宅オンライン学習で、パソコン本体と周辺機器は想定を超える販売数量になっているが、落ち込んでいる分を穴埋めできるほどではない。また、先が読めない中高単価商材の売上が落ちている(東京都)。
	×	家電量販店(経営企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルス対策の一環で、緊急事態宣言後、店舗休業、営業時間短縮の対応を続けており、平常時ではない。経営側の対策も現状では防衛策のみである。インバウンド需要は消えている。唯一の光は、インターネット通販が大きく伸長していることだが、店舗の落ち込みを吸収できるほどのものではない(東京都)。
	×	乗用車販売店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響がある。
	×	乗用車販売店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が出た後から来客数が減少している。当社の営業時間を短縮した影響もあり、売上もかなり減少してきている。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・取引先の話によると、観光関係ではバスを発注したにもかかわらず一切動かないということで、一部運転手が一時帰休などをしているそうである。また、整備関係においても、やはり在庫台数が極端に減っている。新車も展示会に来てくれないので売れず、景気は悪い(東京都)。
	×	乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・不要不急の用事以外は外出禁止なので、状況は理解できる。企業として今後厳しくなるのは確実である。
	×	乗用車販売店 (総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、リーマンショック時以下の売上となっている。新車、サービスのキャンセル、中古市場の相場下落等々により、減収で推移している。
	×	乗用車販売店 (渉外担当)	それ以外	・新型コロナウイルスを起因とする事業活動の縮小が広範に及んでいる。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・例年より半分以下の販売量になっている(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	住関連専門店 (統括)	販売量の動き	・自粛が始まっている最中で、来店客もなく、当然ながら販売量、販売金額も落ちている。
	×	その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	お客様の様子	・当店は薬局だが、今、特に新型コロナウイルスで売れる商材がまるっきり入ってこないで、商材の品切れが多く、やはり景気が悪い。
	×	その他専門店 [貴金属] (統括)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、全ての店舗が閉店しているため、売上がゼロに近い状況である。オンラインショップも展開しているが、従業員の安全確保、外出自粛の要請もあることから、オンラインショップの運営も影響が大きい(東京都)。
	×	その他専門店 [雑貨] (営業担当)	それ以外	・緊急事態宣言に伴う政府からの自粛要請を受け、4月1日より休業している(東京都)。
	×	その他専門店 [ガソリンスタンド] (団体役員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、前年比で売上が大幅に落ち込んでいる(東京都)。
	×	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業している(東京都)。
	×	その他小売[生鮮魚介卸売] (営業)	来客数の動き	・ほとんどの客が休業してしまい、売上は7割減である。固定費の負担を考えれば存続は難しい(東京都)。
	×	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	高級レストラン (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出を受けて、4月8日から対象店舗を休業しており、21日からは全店休業となっている(東京都)。
	×	高級レストラン (仕入担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で全店舗が閉店している。いつ再開できるかの見通しも分からず、再開したとしても来客数は激減する(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言以降、客足が減っている。特に夜はゼロに近いと同業各店も口にしていない(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・客が全く来ない。店も休業しているので全然駄目である。
	×	一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3か月前の1月1～24日までの前年比は、売上92.9%、来客数82.8%である。4月1～27日までの前年比は、売上31.2%、来客数27.2%である(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・都の休業要請以降、深夜には客がほとんど出歩かなくなり、酒は7時までの提供となると、最初に7時までに入店する客がほとんどいない状況なので、現在はランチ営業だけで、夜はやっていない(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、4月は宴会や夜の食事が1件もない。ランチも来てても皆1人である。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月、宴会は1件も入っていない。昼は、ランチに来る勤め人は少し減っているものの、全く来ないことはない。夜は、ほとんど持ち帰りで、店内に入って食事をする客はいないに等しいので、業況は良くない(東京都)。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・当社は外食企業である。新型コロナウイルス感染予防措置として、政府や都の自粛要請が強くなればなるほど、外出はなくなり、集客できないので、単純に売上が落ちる。今後も続くと、ますます景気は下がって悪くなる(東京都)。
	×	一般レストラン (スタッフ)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で店を閉めている。
	×	その他飲食[居酒屋] (経営者)	それ以外	・営業しても自粛で客が来ないので、当店は4月8日から休業している(東京都)。
	×	その他飲食[給食・レストラン] (役員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、3月は1億円程度の利益下押し影響を受けた。給食事業は学校の休校により給食が完全停止し、予定受託費が6%程度引き下げられている。また、社員食堂の一時閉鎖により、約15か所の社員食堂の売上がゼロになっている。これらにより、人件費分が減益要因となり、4月以降も同様の状態が継続中である(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響がますます大きくなり、3月の売上からも更に大きくマイナスになり、全く開店休業状態で、更にひどくなっている。時間が経過すれば、もう休業せざるを得ないような事態に至っている。
	×	都市型ホテル (支配人)	それ以外	・緊急事態宣言の発出により、団体や研修宿泊、会議、宴会が全てキャンセルになった。4月の売上は、前年同月比50～60%の減少を予想している。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・休業要請に伴って宿泊とケーキ、パンのテイクアウトしか営業していない。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・3～6月合わせて約5億円くらいマイナスになっている。このままだと通常の会社では倒産ということになる。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	それ以外	・ホテル全体でキャンセルや延期が続いており、緊急事態宣言を受け、宿泊以外の施設を休業していたが、宿泊稼働率も1けた台が続き、回復の見込みが全くない。政府からの更なる要請で、感染拡大防止の観点から4月末より全館休業となっている。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。レストラン営業をクローズし、宿泊稼働も10%程度で推移している。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で稼働率が前年を50%下回っている。単価は6000円以上の大幅な下落である(東京都)。
	×	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3密回避厳守で誰も外に出られない。
	×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・前年同期比の売上が、曜日によっては1%、つまりマイナス99%の状況があり、新型コロナウイルスの影響の大きさは計り知れない(東京都)。
	×	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言下で外出自粛という状況では、景気が良くなる要素はない。売上が前年の0%であり、旅行業界はなすすべがない。
	×	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・旅行業界は壊滅状態で、秋以降の取消依頼は入っても、新規依頼は一切ない(東京都)。
	×	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でツアーを全てキャンセルしたため、売上がない(東京都)。
	×	旅行代理店(販売促進担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、会社がほぼ止まっているということに尽きる。多くの社員がテレワークや自宅で休業をしている関係で、客への訪問営業もできていない。4月はそのようななかでようやくもらった受注もほぼ全面取消しになっている(東京都)。
	×	旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染及び緊急事態宣言の影響で、来店客が皆無となり、4月7日～5月6日まで休業している。
	×	旅行代理店(総務担当)	お客様の様子	・予定されていたツアーのほとんどが新型コロナウイルスの影響で取消しとなっている(東京都)。
	×	タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けた緊急事態宣言が出されてから、外出する人が減り、タクシーはただ街中をさまよいつながり過ぎていくだけである。売上も以前の3分の1以下で、法人タクシーはほとんどの会社が休業状態のようである。個人タクシーは高齢ドライバーが多いので、感染を心配して数時間で帰庫しているようである。生活していけず、苦しい(東京都)。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・全ての都道府県に緊急事態宣言が発出されてから一気に利用が減り、1～2時間の待機時間は当たり前状態となっている。売上は激減、駅には人がまばら、夜に飲み歩く人もいない状態で、終電後の利用は全くない。
	×	タクシー運転手	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が出て、夜の人の動きが全くと言っていいほどなくなっている。昼間も、人の動きがあってもさほど出歩いていないので、今まで経験したことのない悪い状況である(東京都)。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる不景気の影響をまともに受けるようになっている。客もほとんど乗せていない(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	タクシー（経営者）	来客数の動き	・飲食店や観光業にばかり目が行っているようだが、それに関係する業種や業態も売上はがた落ちして、8～9割減は当たり前である。飲食業だけに補償はおかしい。売上を見て全業種を対象にしてほしい。そうでなければ、全業種補償しないこととしてほしい。
	×	タクシー（団体役員）	来客数の動き	・3月はどうにか持ちこたえていたものの、4月に入り、特に夜の街中の人出が減少したことで、極端に悪化している。さらに、緊急事態宣言発出後は、夜間の飲食店の休業増加により、電車の各駅からの利用客も少なく、タクシー待機時間が1時間以上、3～5時間待ちの駅もあり営業的に成り立っていない。街中流しを中心に稼働している事業者の中には、ふだんどおりの稼働を行っているにもかかわらず売上0円の日もあり、稼働するほど赤字となるケースも発生している。
	×	通信会社（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスにより緊急事態宣言が発令された影響がある（東京都）。
	×	通信会社（管理担当）	それ以外	・営業活動自粛により、売上が低下している。
	×	通信会社（局長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で対面営業を自粛している。営業部員による契約数はほぼゼロとなっている（東京都）。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で旅客がかなり落ちていいる。今後もどうなるか分からないので、期待しないように心掛けている（東京都）。
	×	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、自粛要請が掛かっている業種にも現れ始めている。
	×	ゴルフ場（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大の影響に尽きる。災害は、地震や台風に対する備えはするものの、ウイルス感染は想定外だった。特に医療なのかもしれないが、あらゆる分野の研究にいかにか国の予算を費やしてきたか、検証すべきである。とにかく、特效薬を作ることである。
	×	ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・屋外ゴルフ場は営業自粛要請対象外であり、ゴルフプレーだけでは新型コロナウイルス感染リスクは少ないため、営業を継続する事業者が多いものの、クラブハウス内に感染リスクが考えられることから、感染対策のためレストランや喫茶店を閉鎖する対応を強いられ、客単価の下落がみられる。4月中旬までは旺盛なゴルフプレー意欲が下支えとなって一定の来場客があったものの、後半には有名芸能人がゴルフ場で感染したとの報道があり、客足が鈍化している。
	×	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言による自治体からの休業要請を受け、売上が激減している。
	×	競輪場（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止策の休場処置により、3～4月の売上はゼロである。従業員の雇用を守るため、手作りマスクを作る、清掃、ペンキ塗り等を行うなどの対策を行ったが、やり尽くした感がある。5月頭までは踏ん張る気であるが、業界全体で対応しなければ、潰れる競輪場が確実に出てくる。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	来客数の動き	・4月8日から臨時休業となり、売上はゼロとなっている（東京都）。
	×	その他レジャー施設 [総合]（広報担当）	来客数の動き	・営業をほぼ全て休止している状況にある（東京都）。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、当社を含め休業せざるを得ない状況となっている。また、自粛要請により外出する人が減り、営業を続けていても来客数、売上が大幅に減っているという声が多数上がっている（東京都）。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響か、来客数が減っている。
	×	設計事務所（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの状況により、仕事が全く途絶えている。自宅勤務ということで、社員には自宅で事務所の仕事をしてもらっているが、仕事全体の動きは4月始めから全くない。これがいつまで続くのか。今は5月6日までとなっているが、また延期になった場合は大変な危機感がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる自粛の影響で仕事量が大きく減少している。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、全ての会合や打合せが中止となり、仕事の話は皆無と断っている（東京都）。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・当社は不動産デベロッパー業と総合建設業である。ここ4～5年、住宅の売行きがかなり落ち込んでいるところに新型コロナウイルスが発生し、気持ちが冷えてきて余計売れなくなっている。また、ホテルなどのテナント賃料も全く入らなくなってしまっている。建設業務についても、このような状況下では新規プロジェクトを始めるような気になれず、公共工事以外は全くない。公共工事の受注はあるが、工事原価が高止まりしており、赤字となるために誰も入札しないものもある。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約50%となり、景気は悪いと判断した。3か月前と比べても明らかに悪くなっている。3月中旬から新型コロナウイルスの影響で来場者数、商談件数も減り、当然ながら販売量も悪くなっている。新型コロナウイルス対策を行い、住宅販売活動は続けているが、電話やオンライン相談などでは具体的な商談が進みにくい。
	×	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、展示場をほぼ閉めている。新規の営業活動も行っていない。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響は甚大で、展示場や分譲住宅現場への来場者はほとんどいない。
	×	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる自粛の影響で、新規受注は見通せなくなっている。以前に決まっていた仕事をこなすだけの状況である（東京都）。
企業 動向 関連 (南関東)		-	-	-
		*	*	*
		出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷などを行っている。今月は新型コロナウイルスの影響で、来客数が少なくなっている。ただし、ふだんの月や前年4月と違って会社設立印が10本出ており、そのうち6本は薬局である。こういう時代だからこそ、薬局が少し伸びたのかなと感じている。一部の法人は良いが、個人は下がり目で、全体として変わらない（東京都）。
		輸送業（総務担 当）	取引先の様子	・繁忙期の物量が思った以上に増えなかったことにより、収益が伸びていない。
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・通常の来客数は減っていないが、単価の高いギフトの売上は減少している。また、総会などがなくなり、春の祭礼も中止となってしまい、まとまった注文が入らず、売上は50%前後に落ちてしまっている。
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で予測が立たない。
		不動産業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響により、ホテルの稼働率が極端に低下している（東京都）。
		税理士	それ以外	・毎日健康のために夜歩いているが、やはり新型コロナウイルスの影響でほとんどの店が閉まっている。24時間営業していた小売業なども皆22時で閉めており、営業している飲食店もあるが、客が入っていない（東京都）。
		その他サービ ス業〔警備〕（経 営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、大手ゼネコンの現場及び公営競技の警備が止まっている。民間の現場も落ち着きを見せ始めている。
		その他サービ ス業〔ビルメンテ ナンス〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で、事務所の清掃業務を実施しない会社が出てきており、売上が減少している（東京都）。
		食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・酒造メーカーなので、飲み屋がほとんど営業していない状況では、業績は悲惨である（東京都）。
		出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスが収束するまでは、受注量や販売量の動きは鈍い（東京都）。
		出版・印刷・同 関連産業（所 長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でテレワークに移行している。全てにおいて動きが停止している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	出版・印刷・同 関連産業（営業 担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で、前年2～3月の売上 累計と比べて40%ダウンしている。クライアントの委 員会やセミナー、講演会が中止になり、配布予定の資 料や要旨集の印刷もキャンセルが止まらない。4月以 降の売上の前年比ダウンも必至で、この状況がいつま で続くか全く予想できない（東京都）。
	×	化学工業（総務 担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響は避け難く、4月から一 気に受注が減少している。
	×	プラスチック製 品製造業（経営 者）	取引先の様子	・緊急事態宣言の出されている今、動いているのは医 療関係のみで、その他は全て壊滅的な状態である。良 いわけがない。
	×	プラスチック製 品製造業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で、医療品容器の受注は 増加傾向にあるが、化粧品容器の受注や新製品の立ち 上げに関しては、取引先担当者のテレワーク等で連携 に支障を来しており、停滞、先送りの状況が多くみら れるようになっている。
	×	金属製品製造業 （経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で営業活動ができず、仕 事が止まっている状態である。
	×	金属製品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響により経済が動いていな いため、受注量も少なくなっている。
	×	一般機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・どこの客も、来月もひどいと話している。
	×	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・前月から受注量が徐々に減少に転じ、今月に入って からの売上は例年の半分になっている。国内、海外共 に営業活動が不活発となり、4月下旬は受注がほぼゼ ロになっている（東京都）。
	×	精密機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・当社は米中貿易戦争によって取引先1社が前年度か ら日本国内へ生産移管を行っていた特需と、令和元年 台風19号で被災したもう1社の取引先の特需により、 4月までは前年以上の売上有る。
	×	その他製造業 〔鞆〕（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・当社はハンドバッグの加工を担当しているが、店を 閉めると同時に生産もストップしており、今は注文が 一切ない。
	×	その他製造業 〔化粧品〕（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・美容室は自粛若しくは開いていても客が来ないた め、前年比2～3割減となっている（東京都）。
	×	建設業（経営 者）	それ以外	・家賃が全く入ってこない。物も全く売れない。
	×	建設業（経営 者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・計画していた案件が全て中止になり、市の学校改修 工事の案件も中止になってしまっている。今現在、動 いている現場はゼロである。
	×	輸送業（経営 者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの拡散が止まらない状況下、取 引先より休車要請があり、一部ではあるが稼働に影響 が出始めている（東京都）。
	×	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・食料品関係は堅調で、通常より多いくらいの物量で ある。その他はゼネコンの一時休業あたりから動きが 鈍くなってきている（東京都）。
	×	輸送業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・請負契約で、客の受注低下により契約解除が続出し ている（東京都）。
	×	輸送業（経理担 当）	それ以外	・荷主より運賃の値下げ交渉がある。新型コロナウイ ルスの影響があるなか、とても苦しい状況である。
	×	通信業（経営 者）	それ以外	・新型コロナウイルスへの対応に疑問を感じる。
	×	通信業（広報担 当）	受注量や販売量 の動き	・今年に入ってから前年度割れが続いていたが、特に 4月は大幅な減少となっている（東京都）。
	×	金融業（統括）	取引先の様子	・売上の立たない状況で、当然ながら収入が落ち込ん でしまい、今は先行きの資金繰りに困って走り回っ ている人が増えている。
	×	金融業（支店 長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響はすさまじく、飲食業で は売上が8～9割減になっている。これまでは現金商 売で、比較的資金繰りは楽であったが、一気に厳しく なっている。
	×	金融業（総務担 当）	取引先の様子	・取引先の中小企業の様子だが、新型コロナウイ ルスの影響がかなり出ている。スーパー等の食品関係、日 用品関係は売上が増加しているが、それ以外の飲食業 やサービス業、その他全般で自粛の影響があり、軒並 み売上ダウンとなっている。緊急融資も進んでい るが、先行き不安との話もある（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	金融業（役員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、取引先、特に飲食店における店舗休業、来客数の大幅減少による売上減少が続いている。一部の商店街ではデパート施設の休業に伴う来客数増加により、売上増加傾向にあるものの、地域全体としては落ち込みが激しい。
	×	金融業（営業担当）	取引先の様子	・多くの取引先で売上が大幅に減少しており、なかなか先が見えない。
	×	不動産業（経営者）	競争相手の様子	・今年になって新型コロナウイルスが報じられ心配していたが、緊急事態宣言が発令され、ステイホーム週間の発表があり、すっかり静かになっている。当社が営業しているビルも、8割以上が閉店し、当社も早めの閉店時間で協力中である（東京都）。
	×	不動産業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、飲食系テナントの売上が軒並み前年同月比で30～50%ダウンしている。駅前のテナントでこの状態である。ドラッグストアだけは善戦しているが、売上は落ちている（東京都）。
	×	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、イベントが中止になっている。
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により受注が大幅に落ち込んでいる。
	×	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・クライアントに多くのエンターテインメント関連会社があり、コンサートの中止に伴うグッズ販売のキャンセルや映画公開、CD販売等の延期もあり、宣伝費がキャンセルになっている。また、一般企業においても売上減となり、予算の大幅削減があり、激しい（東京都）。
	×	社会保険労務士	取引先の様子	・緊急事態宣言以降、店舗の廃止等を考えている取引先も見受けられる（東京都）。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言、それに伴う自粛の影響によって、事業活動に影響が出ている。
	×	税理士	取引先の様子	・いまだ経験したことのない緊急事態に陥っている。飲食店でテイクアウト、デリバリーに対応できない店の売上はゼロになり、東京都の営業自粛協力金50万円では家賃の補充にしかない。今がいざという時のためと腹をくくり、耐えるしかない。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・世界的な新型コロナウイルスの感染対策のための輸出入の大幅減少や、従業員の休業などにより、中小製造業は大変なダメージを受けている。ただし、人工肺などに関わる部品の製造をしている金属加工業では、単価は安いが高需要で大変忙しくなっている（東京都）。
	×	その他サービス業【ディスプレイ】（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がある（東京都）。
	×	その他サービス業【廃棄物処理】（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先工場等の稼働率が極端に下がってきており、受注量が前月に比べて3～4割減っている。
	×	その他サービス業【映像制作】（経営者）	受注量や販売量の動き	・4月中旬から臨時休業したためほとんど売上がない。33年間の社歴の中で最低である（東京都）。
	×	その他サービス業【ソフト開発】（経営者）	取引先の様子	・現状は前期の予算のままで来ているが、いつ打切りや中止があるか分からない（東京都）。
	×	その他サービス業【情報サービス】（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により販売が落ち込んでいる。
雇用関連 (南関東)		-	-	-
		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・就業している派遣スタッフの新型コロナウイルス感染における雇用調整助成金対応の業務を行っている関係上、一時的な繁忙となっている（東京都）。
		-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・業務請負先、派遣先である取引先で、新型コロナウイルス感染対応によるポスト数の削減、従業員の自宅待機などによる委託料の減額要請、派遣の打ち切りなどが進んでいる。取引先の理解もあり、現在はほぼ元の契約どおり支払ってもらえているが、既に来月からの減額要請の相談も多くなっている。従業員への休業、自宅待機の給与については通常どおりとしているが、雇用調整助成金申請も膨大な作業量で見通しがつかない。今後の経営状況に不安を抱えている（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響に伴い、当初予定していたオーダーがキャンセルになったり、取引中の派遣で継続予定のものが終了となるなど、人材ニーズが減少傾向となっている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数が前年比で40%程度に落ち込んでいる（東京都）。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響から休業する企業が求人の取消しを行うなど、採用活動を控える動きがある。また、倒産、縮小の動きもみられる（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・景気後退局面にあり、短期的な回復は期待できない（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で、休業する企業や派遣契約を更新できない企業が増えている。特に、製造業でそのような企業が多い。
	×	人材派遣会社（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスのまん延で経済活動が著しく減退している（東京都）。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響が大きく、求人数は3か月前比で70%ダウン、前年比70%強ダウンと非常に厳しい状況となっている（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルスの影響で自宅待機やシフト勤務になっているが、出勤していない日は最低補償額しか請求できないところもあったり、契約終了になっているところもある（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・確実に新型コロナウイルスの影響を受け、製造業の稼働が低下している。また、営業活動も低下している（東京都）。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言をきっかけに求人数の伸びがなくなっている。また、中途解約事案等の相談も増加傾向にある。
	×	求人情報製作会社（営業）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、大手、中小企業共に採用活動自粛の動きが出ている。特に、製造業や衣料品販売業、警備業などが軒並み掲載をストップしている。その中でも、建設や土木、医療関係の業界は通常どおり動いている（東京都）。
	×	求人情報製作会社（営業）	求人数の動き	・先行きの不透明な状況から、求人を出せる企業が少なくなっている。緊急事態宣言を含め、状況を見ながらになっている。
	×	求人情報誌製作会社（広報担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業活動がままならなくなっている。特に、イベントのような人との接触があるような商品は全て延期となり、開催できるめどが立っていない（東京都）。
	×	求人情報誌製作会社（所長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響がある。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により悪くなっている。
	×	民間職業紹介機関（経営者）	それ以外	・新卒採用関連のビジネスはすべて停止している。大学の講義は当然、就職イベントでの講演も延期となっている。学生は個別の説明会に参加しているが、広くたくさんの企業を知る機会が失われており、就職活動は大きく停滞している（東京都）。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒学生の採用数を絞る企業が散見される。内定取消しの事例を聞くようになった（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (甲信越)		スーパー(副店長)	販売量の動き	・今月の売上は、景気という意味とは違っており、新型コロナウイルスの影響による内食需要と、まとめ買いの傾向がみられたことから、売上増となっている。	
		その他サービス[葬祭業](経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が、まだそれほど出ていなかった4月初めは、寺葬がいくつも入り、とても忙しかった。	
		コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響による営業時間短縮などが原因かと思うが、全体的に買上点数が増加している。深夜の来客数は減っているものの、全体の売上はプラスマイナスゼロといった感じである。	
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・車検、一般整備は、新型コロナウイルスの影響は余り受けずに、目標に達している。一方、新車を含む車両販売は、この先の見通しが立たないため、客が買い控える状況が続いている。	
		商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの関係で、ほとんどの客は商店街に出て来なくなっている。幸いにも当店は学校販売を中心にしており、今よりも少し規制が緩やかだった4月の初めの入学時期に販売も終わったので、大変助かった。もう少し時期がずれていたら、販売が延期になったり、大変だったと思うところである。	
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・今は、新型コロナウイルスで、夜の人の動きがない。	
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、かなり売上が悪くなってきている。現状、家族で来店する客が多く、購入する商材を、一気に集中的に買うような状態で、波が激しい。全体的に、客は少なくなっている。	
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・最近の客の動向は、必要な品以外は購入しない状況である。	
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、スポーツを始め全ての催事、イベントが中止のため、テレビ番組の魅力がなくなっている。不況、不安で節約志向が高まり、解約や保留が増加している。	
		通信会社(社員)	販売量の動き	・訪問営業の自粛で、新規契約の絶対数が減っている。会社はテレワーク、学校はオンラインでの講義などが始まり、インターネットの問合せ件数は増えているが、問合せ分だけでは、訪問での獲得減少分をカバーしきれない。	
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・新規の依頼がほとんどない。	
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言後は、別荘への来場客が減少している。	
		×	商店街(代表者)	来客数の動き	・中心街の集客の核である百貨店も閉まり、街は正にゴーストタウンとなっている。不要品を売っているとは思わないが、店を開けることが悪いことのように受け取られるのは、たまらない。
		×	商店街(代表者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は想定を超えている。緊急事態宣言後は駅前立地の商店街の人通りは激減している。ゴールデンウィークを迎えるこの時期に、周辺企業の80%が休業か時短営業となっている。当店の売上も前年比80%減で、お先真っ暗である。
		×	一般小売店[家電](経営者)	お客様の様子	・全ての動きが止まりつつあり、消費者の欲しい物はマスクと除菌に関する物である。食品や日用品のストックも、通販やインターネットに走っている。一番必要としている所に必要な物が届かず、いろいろなバランスも崩れており、新型コロナウイルス感染者の多い地域、少ない地域に関係なく、影響が出ている。
	×	一般小売店[家電](経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルス騒動で、客の動きが悪く、客への営業活動も自粛せざるを得ない。客の来店も悪く、購入意欲もないようである。	
	×	一般小売店[薬](経営者)	来客数の動き	・来店客が減少している。	
	×	百貨店(営業担当)	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で、現在、食料品売場を除き、全館で休業中のため、売上がない。	
	×	百貨店(店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3月は前年比70%で、4月は後半臨時休業したため、前半のみだが同比40%となっている。今までにない経験である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は微増なものの買上点数が増加しており、売上は2けた増加となっている。土日の混雑が問題で、クレームが多数来ている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・スーパーなので当社の経営状況は良いが、周りのほぼ全ての業種で停滞、悪化している。
	×	スーパー（経営者）	それ以外	・売上は1週間前までは前年比5%増だったが、同19%減となっている。前年はイベントが3件ほどあったが、今年は全くない。来客数も1週間前は前年比5%減だったが、25日時点で、高校生、短大生が休校のため、同23%減となっている。ライブハウス経営者と話したが、2週間仕事をしていないので今後も不安ということだった。何とか継続してもらいたい。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、客の購買意欲が低下している。少し深刻な状況になっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で商店街は閑散としており、客が来ない。ゴーストタウンのようである。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・消費税増税、令和元年台風19号、新型コロナウイルスと3つの苦難で、商店街には人っ子1人いない。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言以降、来店客が激減し、比例して新車販売も大きく落ち込んでいる。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・車両販売は3月初めから全くひどい状態で、来客数が極端に落ちている。
	×	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出の自粛が増え、日々来店客数が減ってきている。
	×	その他専門店【貴金属】（営業）	お客様の様子	・「外出しない、消費しない、旅行も行けない」状態なので、観光に関連する当社は大打撃である。
	×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大防止で、外出や3密によるクラスターを防ぐための自粛要請、緊急事態宣言を受け、営業自粛となってしまう、売上は通常の90%ダウンである。この先の状態も見通せない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスショックで、悪くなっている。
	×	スナック（経営者）	それ以外	・良いも悪いもない。11日から営業自粛しており売上がない。どうにもならない。
	×	スナック（経営者）	お客様の様子	・令和元年台風19号や新型コロナウイルスで、とてもじゃないが客を入れることができない。本当に困っている。
	×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により営業できなくなっている。当県独自に旅館やホテルに営業自粛要請があった。1日1組など、中途半端に客があつて、むしろ赤字を膨らませていたので、これを口実にキャンセルの依頼ができて少し助かっている。その後も予約がないため、5月一杯の休業を決めている。6月になっても、ほぼ営業できないのではないかと考えている。
	×	都市型ホテル（支配人）	それ以外	・全てが新型コロナウイルス一色で、緊急事態宣言以降、街から人が消えた。ホテルの新規予約は皆無に等しく、せっかく頂いた以前の予約もキャンセルばかりが続く。館内のレストランは営業を自粛し、全体の半数以上の従業員を休業させている。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・1週間ごとに過去にない状況で落ち込んでいる。新型コロナウイルスによる落ち込みにプラスして、緊急事態宣言以降の自粛要請等で、企業存続が危ぶまれる状況ならまだ良い方で、既に危険ラインで、終息しないことには難しい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が3月よりもひどく、客足が落ちている。売上で前年比85%の減少となりそうである。
	×	旅行代理店（副支店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる旅行自粛と取消しが増加し、3か月前と比べて90%減少である。現状は、国内、海外共に出張もほとんどなく、個人客も団体、募集旅行が壊滅状態である。店舗も現在休業しており、社員の80%は在宅勤務となっている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・20日頃までは前年比50%ぐらいだったが、現在は48%である。今月は45%ぐらいで落ち着くのではないかと。
	×	観光名所（職員）	それ以外	・観光客の集中を避けるため、運輸、施設共に、全てが休業中である。それに伴い近隣のホテル旅館でもほとんどが休止し、中には廃業した宿もある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・近隣で、クラスターの恐れがある新型コロナウイルス感染が発生して以降、集客が一気に約60%減となっている。資金繰りに問題が発生し始め、事業の持続可能性が見えなくなり参っている。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、来場者が激減している。緊急事態宣言が全国に拡大し休業要請が出されたことにより、4月20日～5月6日の予定で臨時休業に入っている。このような事態は初めてであり、今後の資金繰りなどが心配である。
	×	その他サービス [貸切バス]（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、仕事量が90%以上減少している。
企業 動向 関連 (甲信越)		-	-	-
		食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスに対応した「内食」増加の影響か、販売額は微増である。アルコール、マスク等の必要資材の供給が滞りつつあり、全体では相殺される状況ではないか。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、資材の入荷も納入日程も不明で、発注者側も工事発注を自粛しているようである。
	×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・日に日に販売点数が落ち、例年同期と比べて4割ほど落ちている。
	×	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言により、人の動きが全くなり、今まで経験したことのない最悪の状態に陥っている。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、主要店舗が休業しており、製品受注がなくなっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている。取引先からの引上げ、予定資材の未入荷、販売量の減少等、周囲の流通が著しく悪化している。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言で、デパートを始めほとんどの宝飾店はゴールデンウィークが終わるまで休業している。小規模な催事もほとんど中止で、わずかに開いている路面店も集客が見込めず、商品の問合せもほとんどない。今月の売上は前年比70%減である。
	×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、全産業で景況感が悪化している。特に、外出自粛による観光関連産業への影響は深刻であり、資金繰りの悪化を懸念する宿泊業、飲食業、旅客業が増加している。
	×	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全国に緊急事態宣言が出され、特に観光業のウエイトが高い当エリアは、影響が大きい。インバウンドはもとより、国内の人の移動も大きく制限されており、打開策が見つからない状況である。
	×	新聞販売店 [広告]（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量の動きや取引先で新型コロナウイルス関連での倒産が出ていることから、悪くなっている。
雇用 関連 (甲信越)		-	-	-
		-	-	-
		-	-	-
		職業安定所（職員）	それ以外	・休業に関する相談が多くなっている。
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・求人減のなか、新型コロナウイルスが市内で発生したことが追い打ちをかけ、更に購買意欲がなくなっている。
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、多くの業種で売上は大幅に減少している。特に、4月に入ってから、求人誌に募集広告を掲載する企業が激減している。この先、収束の見通しが立たないなか、更に求人は減少する。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・サービス業を中心に、休業にかかる雇用調整助成金の問合せや相談、手続き等が増えている。体力のない企業は、従業員の解雇や雇止めを踏み出している。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金の申請や売上減少などの話から、悪くなっている。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		スーパー（ブ ロック長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発出されて以来、来客数は伸び、特に客単価、買上点数は異常値となっている。給食がなくなり夜の夕食もなくなって、3食共に内食に向かっている。
		その他専門店 〔書籍〕（店 員）	単価の動き	・新型コロナウイルス対策で外出自粛をしているため、本屋は来客数、単価共に伸びている。今月は4時間ほど営業時間を短縮しているが、前年より20%近く売上が増加している。スーパーと同様に密になるほど来客数は多く、レジでのビニールカーテンやかこの消毒等の対策をしているが、従業員は恐怖と闘いながら営業している。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出により来客数は増え、外出自粛によるまとめ買いで売上が増加している。
		スーパー（商品 開発担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、食品の売上は前年と比較しても約110%と伸長はしているが、売れている商品はカップ麺、米飯やレンジ商材とほぼ決まっている。これらの売上が伸長しているのは明らかに新型コロナウイルス需要によるもので、決して景気が良いわけではない。
		コンビニ（店 員）	販売量の動き	・スーパーの代わりに身近なコンビニで買物を済ませる客が増えた。冷凍食品や日用品など、売上点数が増えている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・インターネットの機能向上のための受注増加があった。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・売上は客単価が上がっているため増えているが、来客数は明らかに減っている。
		スーパー（販売 担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク明けまで営業時間短縮、チラシ広告なしであるが、売上は予算を達成している。
		スーパー（営業 企画）	お客様の様子	・新型コロナウイルス対策による巣籠り需要により、食品の買上点数、客単価は大幅に伸びており、売上も前年比130%以上となっているが、景気上昇による需要ではないので、実際の景気状況は分からない。
		スーパー（販売 担当）	それ以外	・新装店舗改装中のため客の動向は分からないが、客は開店を待っていると期待する。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・世の中が良くなっているとは考えにくいですが、外出自粛のなか、来客数は増え売上が伸びている。テレワークや授業のオンライン化でパソコン本体や周辺機器の売上が急激に伸びている。白物も普通に売れている。
		乗用車販売店 （従業員）	来客数の動き	・客からの問合せは多く、それに伴って成約も悪くはない。これまでと変わらず良くも悪くもない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響ではあるが、ここまで人出が少ないのは、今まで見たことがない。
		通信会社（企画 担当）	販売量の動き	・4月は引っ越しに伴う転入が増えることから、新規契約者が大幅に増加する。3月の転出増と併せて考えると、変わらないが若干のプラスである。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数はかなり落ちている。イベントや食事会もなく、ギフト用の花も買いに来ない。
		スーパー（店 員）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発令されて巣籠り需要の影響か、米やカップ麺などの大量買いが多くみられた。売上の一部である飲食店の買い出しが、営業自粛により全くなかったのが痛手である。
		スーパー（販売 担当）	販売量の動き	・食品や日用品は好調でも、商品供給不足による販売機会の損失が出てきている。また、衣料品は気候不順や外出制限等もあり大変厳しい状況である。
		乗用車販売店 （経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる外出規制のため、来客数は減少した。ゴールデンウィークの休みを長くとする業者や部品の配達便の減少などもあり、いろいろ部分で弊害はある。車検に関しては必要な外出と考える人が多いが、臨時整備はほぼない。
	乗用車販売店 （経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が出てきている。業種によって差はあるものの、この1か月で環境は変わった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出されてから、来客数は前年比7割ほどになり、販売台数もそれに比例して落ち込んでいる。サービス工場への入庫は、車検や修理など必要最低限の理由が多いが、全体的に入庫数が落ち込んでいる。5月の連休中は自宅にいる客が多いはずだが、点検などの予約数は皆無に近い。世の中の雰囲気として外出は悪、という流れがあるように感じる。
		乗用車販売店 (販売担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で新規の来客数が減少しており、ほぼない状態である。
		その他小売 [ショッピング センター](経 理担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの関係で、テナントの業種ごとに販売量はばらつきがある。食料品、日用品や医薬品は前年比で余り変わらないが、アパレルやアミューズメントなどは激減である。
		通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・受注していた案件のほとんどがキャンセル、延期になった。ただし、インバウンドでの回線受注は若干増えている。
		テーマパーク職 員(総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルス対策のため、臨時休園措置がとられている。そのため収入がない。
		その他レジャー 施設[鉄道会 社](職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスに加えアクシデントもあり、減少している。
		その他サービス [介護サービ ス](職員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、介護リフォームの工事案件は客の検討時間が長くなり、成約しにくい状況である。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動を自粛している。
		その他住宅[住 宅管理](経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、逆に店の休みに壁紙の張り替え、外壁の塗装、リフォームの仕事が入ってきたが、どの仕事も価格的には低調であった。
		その他住宅[不 動産賃貸及び 売買](営業)	販売量の動き	・当業界も新型コロナウイルスの影響で、この繁忙期に見込んでいた引っ越しの借り控えが起きている。それに加えて法人客の入退去も少なくなってしまったので、かなり悪くなった。
	×	商店街(代表 者)	販売量の動き	・休業や時短営業に伴い売上は下がり続けている。売上ゼロの日も多い。
	×	商店街(代表 者)	お客様の様子	・取引先のホテルが、新型コロナウイルスの影響で稼働率が1割を下回り、今月で営業を中止せざるを得ない状況である。飲食店もひどい状態である。
	×	商店街(代表 者)	それ以外	・主要取引先の各店舗がほぼ閉鎖で、前年同月比80%減である。
	×	商店街(代表 者)	来客数の動き	・来客数が極端に少ない。4月に強い外出自粛の要請があって以降、目に見えて少なくなった。
	×	商店街(代表 者)	お客様の様子	・昨今の情勢により、商品への購買意欲が見受けられない。
	×	商店街(代表 者)	お客様の様子	・会社が倒産するという話をいろいろな人から聞く。
	×	一般小売店[高 級精肉](常勤 監査役)	販売量の動き	・先の見通しが立たない。
	×	一般小売店[結 納品](経営 者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、人出も売上も最低である。
	×	一般小売店[土 産](経営者)	来客数の動き	・全国的な新型コロナウイルス対策で経済活動は閉塞感が著しい。緊急事態宣言が解除されない限り、この状態から脱することは不可能である。
	×	一般小売店[酒 類](経営者)	それ以外	・飲食店の自粛、休業に伴い、4月の売上が前年比で9割強減少した。
	×	一般小売店[贈 答品](経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で4月中旬より閉店している。ギフト業界も売上、来客数も減少しており、外商もテレワークにより外出できず3か月前とは全く違う売上状況である。
	×	一般小売店[文 房具](店員)	それ以外	・現在休業中である。
	×	一般小売店[書 店](営業担 当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客先訪問もできず、営業活動にかなり影響が出ている。
	×	百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・4月に入り来客数は減ったが来店はある。売場の滞在時間は5分以上だが下見のような雰囲気で購入する客は少なく、売上は厳しい状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（総務担当）	それ以外	・食料品売場のみ営業している状況で、大半の収益が失われており大変厳しい状況である。
	×	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの対応で、食品以外のフロアは、来客数の激減及び販売員の安全確保のため休業せざるを得ない状況である。食料品についても、平日夕方若くは一部のニーズはあるもののスーパーマーケットのような利用はみられず、営業辞退を申し出て休業する取引先が増えている。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・物販、飲食共に悪化している。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの全世界的な拡大によって需要が消失し、販売量、売上がほとんどない状態が続いている。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による営業自粛の要請を受けて、食品売場以外は臨時休業している。
	×	百貨店（販売促進担当）	それ以外	・百貨店は閉店しており、売上は食品フロアとネット通販のみとなって、売上が激減している。
	×	百貨店（販売担当）	それ以外	・現在休業中である。
	×	百貨店（計画担当）	来客数の動き	・店舗の営業ができない。
	×	百貨店（業績管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で県要請による臨時休業により売上が激減し、かつてないほど業績が悪化している。
	×	百貨店（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、時短営業から臨時休業となった。
	×	スーパー（経営者）	販売量の動き	・最悪の状態である。来客数、販売量共に最低である。
	×	スーパー（支店長）	それ以外	・3月より店舗休業中のため、売上が激減した。この先の見通しも全く分からず不安しかない状況である。自力で生き抜く力をつけなくてはいけない。
	×	コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年に対しほぼ半減している。それに比例し売上も落ち込んでいる状況である。インバウンドの影響を受けている店舗に至っては、前年比80%減の状態である。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・売上は前年比マイナス5%であるが、来客数は前年比でマイナス10%という状況である。新型コロナウイルスの影響で、在宅勤務を含め不要不急で出掛けることができない状況だが、客単価が高くなり何とか前年並みの売上をキープしている。この厳しい状況のなかでも、店内ちゅう房の弁当、おにぎりや調理パン等並びに、日配品、酒、加工食品やインスタント食品は好調に推移している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・1日平均の来客数は、前年比で100人以上減っている。観光地、駅やオフィス街の立地では半分になっている店舗もある。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による外出自粛が続き、客が店の前にいない。そのため店舗の時間短縮営業や一時閉店があらゆる地域で多発し、売上、利益共に壊滅的な打撃を受けている状況である。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、3月まではそれほどなかったが、4月に入ってから徐々に始まり、16日の緊急事態宣言の対象拡大により急激に売上が減少した。夜の来客数が減少したことが大きな要因である。
	×	コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上、来客数共に前年比5～6割減少している。新型コロナウイルスの終息がみえなければ、この状況は続く。
	×	コンビニ（商品企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛要請により、直近はビジネスや旅行目的の移動が大幅に減少した。店舗の休業を余儀なくされ、営業店舗をかなり絞ったり、一部で営業時間を短縮して営業しており、通常の売上には程遠い。
	×	コンビニ（本部管理担当）	来客数の動き	・4月の売上は前年比約85%で推移している。当初は新型コロナウイルスの巣籠り需要で特需もあったが、県の緊急事態宣言以降は売上の根幹となる来客数が激減し、現状は過去最低の売上である。休業する店舗も発生している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・客層が年配で外出を控えていることが分かるため、アプローチのしようがない。新型コロナウイルスが終息しない限りこの状態が続く。春物商材は店出しすることなく終わった物もある。
	×	衣料品専門店 (売場担当)	お客様の様子	・外商について、個人客の購入が大幅に減少した。また、新型コロナウイルス感染防止のため、自宅への訪問を嫌がる客が増えており、商談にも至っていない。
	×	家電量販店(店員)	来客数の動き	・3か月前に比べ来客数が20%減少しており、景気の後退が起きている。売上も必要最小限の購入が多く、単価も下落している。このような状況が続くと経営にも影響が出て、この先厳しい状況に陥る。
	×	家電量販店(フランチャイズ経営者)	販売量の動き	・意外なことに前年に比べて来客数は多い。テレワークと巣籠り消費でパソコンとテレビは売れている。しかし、洗濯機や冷蔵庫の白物が売れない。主婦層の生活防衛心理とシングル層の新生活需要がほとんどないのが原因と考える。全体としては売上は前年比7割である。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、整備に来る客は余り変わらないが、新車の購入に来る客は明らかに少ない。先行き不安で購入の延期が起きている。
	×	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・海外で生産している部品の供給がストップし、4月10日からメーカーの生産もストップしている。先がみえない状況下では購入意欲も生まれにくく、新規客はほとんどない。その代わり中古車の需要が多くなっている。
	×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で車が売れないことと、客から倒産という言葉聞くようになり、生きるか死ぬかという状態である。
	×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出され、客も不要不急の外出を自粛するため来店誘致もできず、電話中心の営業活動ではなかなか成果が得られない。客の気分も落ち込み気味で、車など考えられる状況ではないと向き合ってもらえない。
	×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売台数は大幅に落ち込んでおり、サポカー補助金もあるが全くかすんでいる。努力で済むわけでもなく、正直手の打ちようがない。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・修理、点検入庫数は減っていないが、新車と中古車の販売は積極的に活動していないため、受注台数が激減している。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・3月はそれほど影響が出なかったが、緊急事態宣言後の4月は新規客がぱったりとなくなった。業界的に元々4月はマイナス予算を組んでいるが大きく下回り、かつてないほどの低水準となった。
	×	住関連販売店 (経営者)	お客様の様子	・営業活動が一切できず、客先の経営状態が急速に悪くなっている。
	×	住関連専門店 (営業担当)	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業ができない。受注の状況はキャンセル及び延期となっており、特に商業施設の飲食店が厳しい状態である。リフォーム工事も客からは敬遠されている。
	×	その他専門店 [貴金属](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令され、外出自粛が広く認知された。路面小売店舗では来客数、売上の激減が日常化している。現状では、回復の見込みはない。
	×	その他専門店 [雑貨](店員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言による外出自粛で、景気が悪くなっている。
	×	高級レストラン (経営企画)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの拡大防止に対応し、営業時間の短縮、一部店舗の休業を余儀なくされている。緊急事態宣言後、更に来客数が減少した。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの対応で4月12日から休業している。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は飲食業界を直撃している。景気の良い悪い以前の問題である。
	×	一般レストラン (従業員)	それ以外	・休業要請があり4月25日～5月6日まで休業中である。
	×	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で団体客はゼロ、一般の客は前年の1割程度である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他飲食〔仕出し〕(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響のひとつである。
	×	その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の営業自粛により、売上が全くなくなってしまった部門がある。自粛解除後も元のようにはない。
	×	観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による不要不急の外出自粛のため、昼食夕食の来客がゼロの状況であり、業務、仕事がない状況である。
	×	観光型ホテル(支配人)	来客数の動き	・前月、いまだかつて経験したことのない前年比90%減という数値を見たばかりなのに、今月はついに前年比が1けたになってしまった。一般宴会はゼロになり、宿泊者数は20%を下回っている。レストランは1店舗のみ営業し売店も閉めた。周りのホテルや旅館が休業した現在、営業しているのは当ホテルのみである。地域の責任と使命感で続けてはいるが、いつ我が身になるかわからない。
	×	都市型ホテル(経営者)	販売量の動き	・予約の電話がほとんどない。
	×	都市型ホテル(営業担当)	お客様の様子	・2月下旬から新型コロナウイルスの影響を徐々に受けているが、現状は宴会利用の客はゼロと、全て日程変更若しくはキャンセルになっている。
	×	都市型ホテル(総支配人)	販売量の動き	・緊急事態宣言を受け、宴会は6月中旬まで全てキャンセルとなった。4月第4週よりホテルは一時休業中である。緊急事態宣言のゴールデンウィーク明けの動向により、再開日は検討する。
	×	旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・現在、売上はゼロである。休業要請を受入れ休業中である。
	×	旅行代理店(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、旅行関連の仕事はほぼゼロである。兼業として空き家管理の仕事をしているが、そちらの方は影響がほとんどない。
	×	旅行代理店(経営者)	それ以外	・緊急事態宣言による外出自粛が行き渡るにつれて、営業店舗は皆無に近く、経済活動は止まっているに等しい。この影響は、現時点よりも今後の収入の減少と倒産に多く現れてくる。
	×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・前月からの取消しがゴールデンウィークから6月発にまで及び、全取消し状態である。緊急事態宣言に伴い休業状態となり、新型コロナウイルスのワクチンが開発されない限り、先の見通しは悪い。
	×	旅行代理店(営業担当)	それ以外	・景気の目安となる全ての項目において、過去経験のない悪化である。新型コロナウイルスの影響で、観光、旅行業界は深刻な事態である。4月の旅行取扱件数は、純粋な旅行案件はゼロ、送迎や日帰りの昼食会も4月前半にあったのみで、後は全て取消しである。緊急事態宣言の発令で急所を一撃された感じで、来客数がゼロになった。
	×	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・団体旅行や集会の自粛、海外旅行のパッケージ商品の販売中止で、6月までの受注分がほぼ全て取消し・催行中止になった。このような事情だけに取消し料も収受できず、売上もほぼない状況である。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・4月10日に当地域でも緊急事態宣言が発令され外出自粛となり、病院に行く客も減った。夜の飲食店も閉店しているところが多く、夜9時頃を過ぎると無線を流しても客がいない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・客が全くいなくなった。
	×	テーマパーク(職員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で施設自体が閉館となっている。
	×	テーマパーク(総支配人)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、18日間の臨時休業を実施している。感染予防対策を行い一時営業を再開したが、例年の来客数に比べ大きく減少している。宿泊施設は営業を継続したが、隣接施設が休業のため低調だった。
	×	観光名所(案内係)	来客数の動き	・不要不急の外出自粛により街中の人通りが少ない。新型コロナウイルスが終息することを待つだけである。
	×	ゴルフ場(支配人)	来客数の動き	・3月末頃から来客数はかなり減ってきている。外出自粛の要請によりかなり減った。コンペのパーティーや団体での食事会は取りやめているため、売上は激減である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・販売量や単価が悪化している。
	×	理美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でゴールデンウィークは休業し、客が来ない。
	×	美顔美容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で4月22日～5月6日まで休業要請が出たため、営業をストップしている。化粧品購入は、電話での注文がたまにあるだけである。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で客が来ず、暇である。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きく、客が来ない状況が続く。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・今、一番の問題は新型コロナウイルスである。
	×	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・とにかく仕事がない。
	×	設計事務所（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、景気そのものが計算できない状態になっている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても新型コロナウイルスの影響で客が動かない。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響以外の理由はない。来場者数制限もあり、新規客は見込めない状況にある。
	×	住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・元々計画をしていた外壁の塗装工事や水道工事など急を要する工事の受注はあるものの、新規のリフォームや新築の受注はなくなった。
企業 動向 関連 (東海)		-	-	-
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の在庫積み増しや消毒液関係の需要が増えており、容器出荷量は増量している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客の業種によりばらつきはあるがトータルの売上は変わらず、横ばいが続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・通信機器の販売では、新型コロナウイルスの影響はここまでのところほぼない。客からも現時点では注文品の納期の変更などを求められていない。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルスで世界は一変してしまった。現代人のほとんどが経験のないウイルス禍は、戦争のような特需もなく経済活動をひたすら抑えるストレスフルなものでもあり、取引の停滞、先行き不透明感で心理的にも暗い影を落としている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる受注量の減少で臨時休業する客が出始めた。納期の先送り依頼もあり、受注量は減少している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少している。
		金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・元々仕事量が谷間の時期とみていたところに新型コロナウイルスの影響もあり、仕事量はまだそれなりであるが、協力会社からは崖を落ちるように仕事なくなったという声を聞く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で減っている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの問題で、工場の稼働、部材の調達や製品の輸送などで綱渡りの状況が続いている。製品の中には需要が増した物があるが、全体として売上は減少傾向にある。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で休業になり、休業補償は出るが収入は減る。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・4月に入り客からの引き合いは減ってきている。5月になれば、更に悪くなる。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・企業客の動きは鈍い。個人客が宅配便の利用を増やしているが、新型コロナウイルスが終息するまでの間である。
		行政書士	それ以外	・土地を購入し倉庫を建てる計画であったが、土地だけ購入し倉庫を建てることを延期した。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・取引先に良いところはない。何もかも落ち込んでいて全て良くない。
	×	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が甚大で、客も軒並み休業や閉店の状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で4月に入り客が休業、時間短縮して売上が激減しており、景気は大変悪い。
	×	出版・印刷・関連産業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で周り全てに影響が出ている状況である。このままでは景気がどんどん悪くなる。
	×	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注は前年比で20%以上落ち込んでいる。製造業の大手企業の工場休止が始まり、これからますます製造業にかかわる仕事は落ち込んでいく。
	×	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米の自動車関連先がほとんど自宅待機や製造中止になっている。欧州でも操業しているところがない。既に受注していたプロジェクトも凍結となって、再開のめどは立っていない。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先業界が新型コロナウイルスの規制対象となり、休業状態のため設備投資がほとんどなく、売上もない状態である。
	×	輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスにより生産、収入が減少している。
	×	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーの製造ラインがストップしている関係で、製造現場の3割程度は休業している状態である。
	×	建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによってマンションのモデルルームを一時休館していることもあり、来場者は激減している。ホームページなどからの資料請求も激減しているため、先々の客も枯渇している。
	×	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費財については、国内物量、輸入物量共に消費者の買いため特需や不足資材の大量輸入のため、前年同期並みの物量を確保している。しかし、国内の製造業の調達物流や販売物量は2割程度減少し、工場の追加休業も始まっている。
	×	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前の荷物取扱量と比べると約10%減少している。前年同月でみると更に悪い結果が出ている。前年の荷物取扱量と比べると約20%減少しており、景気は明らかに悪くなっている。
	×	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、一部を除いて物流も停滞している。
	×	通信業（法人営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが終息せず、外出規制の効果が感じられないことに焦燥感が募り、疲弊していく。会社には出勤できず、客先訪問も控えるよう社内通達があった。新しい提案など、世論を考えると非常識という雰囲気である。今こそココロを元気にできる提案をどんどんやっていくべきだと、個人的には考える。
	×	通信業（法人営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響は、先日発表された完全失業率、有効求人倍率よりもはるかに悪化が進んでいる。飲食店を始め企業活動が止まってしまった。社員、パート派遣社員等は働かなくても仕事がない現状は、死活問題である。手持ちの現金がなくなり大変な状況の人がいる。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・全て新型コロナウイルスの影響である。終息すれば景気は良くなる。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスが多業種に影響しており、収入がゼロ又は減給されて生活が厳しくなっている人がいる。
	×	金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客の売上は急減している。危機的な状況の客も散見され、融資の相談が急増している。人が動かず、宿泊、レジャーや飲食等の業界は特に非常に厳しい状況である。
	×	不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨天の日が多いことや新型コロナウイルスの影響が続き、高校休校や自宅勤務者の増加から電車利用者が大きく減少していることもあり、売上は前年同期を大きく下回っている。
	×	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの拡大により消費マインドは下降し、全てにおいて自粛傾向にあるなかで、水面下で売却案件の情報が流れ始めている。
	×	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により、客からの広告受注量は減少し続けている。
	×	公認会計士	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、経済活動が急停止している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	会計事務所（職員）	取引先の様子	・雇用調整助成金を申請する顧問先が増えている。
	×	会計事務所（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響による売上の急激な減少で資金繰りが悪化したり、休業する客が出てきている。銀行等からの融資は比較的受けやすいという話は聞くが、先のみえない経営状況に不安を抱いている経営者が多い。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・3月末で派遣先が終了したが、4月以降のスタッフの行き先が決定していない。新型コロナウイルスの影響で営業担当が訪問できず、客も出勤していない状態が続いている。
雇用 関連	-	-	-	-
(東海)	-	-	-	-
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響もあり、引き合いが減少している。
		職業安定所（次長）	求人数の動き	・産業別の新規求人の状況を前年同月と比較すると、ほとんどの産業で減少している。事業所からは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、即面接の予定だったが事前に書類選考をしたい、面接時期を先送りしたい等の声が聞かれ、先行き不安や採用意欲の低下がうかがわれる。
	×	人材派遣業（営業担当）	雇用形態の様子	・製造業は操業停止、建設業においても工事休止等、あらゆる業界で新型コロナウイルスの影響が出始めており、先行きも全くみえない状況である。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・同一労働同一賃金の施行により派遣賃金がアップしたに加え、新型コロナウイルスの影響で需要減少となっている。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルス拡大に伴う客の営業自粛に伴い、売上はほぼないに等しい。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が更に深刻な状況になり、求人をストップしている企業が大幅に増加している。
	×	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・自動車メーカーの一部部署から、以前から話がある全社的な経費削減と新型コロナウイルスの影響による減益で、全ての委託先の年間予算を10%削減したいと要請があり、景気は悪くなっている。
	×	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ほぼ全ての業界で景気が悪くなっている。
	×	人材派遣会社（企画統括）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人取下げや求人活動凍結の動きが広がっている。
	×	アウトソーシング企業（エリア担当）	周辺企業の様子	・新年度を迎え、本来であれば四半期の自動車生産関連の生産目標が出ているが、今年は世界的な新型コロナウイルスの影響で先行きが不透明となり、先の目標が定まっていない状況が続く。実際、大手自動車メーカーにおいても生産調整を行っている。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・求人広告に限らず、ほとんど広告出稿の動きがない。当分、回復の見込みはなく新聞の広告スペースを埋めるのに一苦労している。
	×	職業安定所（所長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染防止対策により休業を余儀なくされる企業から、雇用調整助成金についての問合せや計画届の申請が増加している。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金の相談、申請が増えている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、新規求人数が大幅に減少している。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・医療・福祉関係を除き、ほぼ全ての産業で新規求人数が減少している。また、雇用調整助成金の問合せが、内容の確認から申請に変わってきた。
	×	職業安定所（次長）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金に関する問合せが増えている。
	×	職業安定所（次長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により休業等が増えている。その関係で雇用調整助成金の手続きや説明を受ける事業者が多くなっている。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により事業の見通しが立たない状態のなか、新規採用を控えざるを得ない状況である。
	×	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・求人数は減少している。先行き不安で一旦ストップという会社もある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
----	---------	-------	-------	----------------

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)		-	-	-
		スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス対策の外出自粛のため、スーパーに客が集中している。また、一度の買上点数が多く、客単価が大きく伸びているため、来客数の伸び以上に売上が大きく伸びている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数は減っているものの買上点数が増えている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため営業時間を短縮しているが、必要な品を購入しておきたい客が多く来店している。
		*	*	*
		家電量販店（本部）	単価の動き	・地域的に新型コロナウイルスの影響は大きいと考えるが、生活必需品となる家電では来客数への影響は少なく、悪いなりに持ちこたえている。
		乗用車販売店（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、営業活動が思うようにはできず、厳しい状況が続いている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・不要不急の外出禁止で当然入店は極端に減少している。商店街の多くは休業要請の対象外業種のため頑張って営業している店が多いが、閑古鳥が鳴いている。この状況で警察は駐車禁止の取締りを強化している。対面販売の店がほとんどで、テレワークは不可能である。これも時代の流れか、にっちもさっちもいかない現状である。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・大型デパートが休業し、新型コロナウイルスの感染拡大による不安が広がっている。市内の病院関係クラスターはとどまる様子がなく、疲れ気味である。当面は我慢比べであるが、商店街は体力的に弱く、長引けば営業を終了する店も出てくると考える。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・3月の3連休以降は人通りが激減している。4月7日の緊急事態宣言を受けて店頭販売を休業している。新型コロナウイルスの影響で、年間を通じて一番の稼ぎどきであった花見からゴールデンウィークを休業せざるを得ない状況になったことは、経営にとって致命的な出来事であると考えている。
	×	一般小売店〔精肉〕（店長）	販売量の動き	・今月中旬から食品フロア以外はクローズになったことで、来客数が減っている。
	×	一般小売店〔事務用品〕（店員）	来客数の動き	・外出自粛要請の影響により来客数が大幅減となっている。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でいまだかつてない落ち込みになっている。昭和天皇の崩御のときや東日本大震災を完全に超えている。
	×	一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・来客数も販売量も全て悪い。
	×	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、中旬以降は地域の利便性を確保するため、食品売場のみ営業している。連日開店直後の1時間は、レジ待ちの行列が発生するなど混雑が目立つ。しかし、食品売場が好調に推移しても、館全体の売上をカバーできる額ではない。食品売場のみの営業では赤字である。
×	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・委託している売場やショップの運営が継続不可能になったり、取引先からの販売員や商品の供給が困難になったり、売場運営そのものが形にならなくなってきている。	
×	百貨店（販売担当）	それ以外	・食品売場以外は新型コロナウイルスの影響により休業中である。現時点では5月6日までだが、延長の気配があり、今後も苦戦が予想される。食品は、休業当初70%強の実績があったが、下旬には前年比で50～60%にダウンした。来客数は前年比で15～20%と大幅にダウンしている。食品以外の販売は基本的に中止しているが、売場を変えて販売している手作りマスクや除菌商品は好調に推移している。	
×	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大をめぐり、県の外出自粛要請や一部業種への休業要請で、雇用及び収入の先行きが見通せない状況である。消費は必要最低限に抑えられている様子である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で近くの学校が休校になり、来客数が激減している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で日を追うごとに来客数が減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛で来客数が大きく減少している。客単価は上昇しているが、来客数の減少が上回っている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で週末の売上、次いで20時以降の夜の売上が激減している。コンビニは影響が少ないのではないかと外部からよく聞かれるが、売上単価や利益率の高い商品は週末や夜の時間帯に多く売れるため、今は必要最小限の商品のみが売れている状況である。売上は2割減、利益は4割減程度になっている。売上もさることながら、利益の減少が致命的である。
	×	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・大雪や洪水の災害時と比較しても、来客数は激減している。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、人が街に出られない状況になっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの店が閉店しており、売上はゼロである。このような経験は今までしたことがない。
	×	衣料品専門店（総括）	それ以外	・外出の自粛で路面店、ショッピングセンター内の店舗共に客が全く来ない。
	×	衣料品専門店（店舗運営）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時間短縮による営業やショッピングセンターの休館により、来客数が大幅に減少している。
	×	家電量販店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響で客が求めている商品の欠品が多い。来客数に対して売上が伴っておらず、販売ロスが多い。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・月初より新型コロナウイルスの感染者数が県から発表されており、数が増加するにつれ、来場者数が少なくなっている。訪問面談も困難になり、販売は大変難しい状況が続いている。客もこの時期に車の購入はしないとの返事が多く、売上は大変悪くなっている。
	×	自動車備品販売店（役員）	来客数の動き	・来客数は例年より減少していたが、県の緊急事態宣言が出てからは更に減少している。先週末は閉店している店舗が多くなり、行き場を失った客が集中したため混み合う時間帯があったが、極力出費を抑えたいのか、購入点数は減少している。
	×	その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・とにかく人が来ない。業務用の納入先でも店内に入って食べる人は少なく、元々持ち帰りをやっていたことから、今は重点的に持ち帰りに対応している。結局酒類卸店には何の売上もないということである。
	×	その他小売【ショッピングセンター】（統括）	それ以外	・県内での新型コロナウイルス感染者の発生により、客の商業施設への警戒感が強まり、来客数が大きく減少した。その後、全国への緊急事態宣言の発令に伴い、食料品と一部専門店を除き休業している。
	×	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により4月初旬から営業を自粛しているため、売上は例年の10%に満たない状況である。
	×	一般レストラン（店長）	それ以外	・4月17日より店舗は休業しており、テイクアウトや配達のための営業になっている。
	×	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・4月7日に大都市圏での緊急事態宣言発令後、外出自粛ムードが高まり、外食産業はますます客が来店しない状況となった。また、その後北陸の新型コロナウイルスの感染者率が高いことから、県で緊急事態宣言が出て、18日の週末からは特定の施設だけでなく、ほぼ全ての施設が休業となっている。飲食店は20時までの営業時間制限が設けられ、消費者はふだんの買物以外に外出することがなくなっている。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で20日くらいまでは3～4時間短縮して閉店していたが、週に1～2人といった来客数では家賃分も出ない。見通しが立たず、不安だけが募る状態である。前月の売上は2～3割である。
	×	観光型旅館（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、4月の営業日数は9日間である。前年比で96%の売上減である。4月12日～5月15日までの1か月以上を休館にしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上は42%、宿泊人数は45%、宿泊単価は94%である。新型コロナウイルスによるキャンセルの影響が大きい。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・外出自粛の要請により、宿泊、宴会、レストランを休業したため売上がなくなっている。
	×	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・団体、個人旅行共に6月くらいまで皆無に等しい状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、駅では電車から降りてくる客が少なく、昼間は外出を避けていることから利用客がなく、夜の繁華街に至っては全く人出がない。タクシーの仕事はなく、売上は3か月前と比べて4分の1に激減している。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上が3分の1以下に減少している。夜は全く人がおらず、仕事が1回できれば良いといった感じである。
	×	通信会社（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が拡大している。
	×	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売に制限が掛かり、販売店としての利益確保が難しくなっている。
	×	通信会社（店舗統括）	販売量の動き	・来客数はそれなりに多いが、端末の販売数は下降している。
	×	通信会社（役員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受け、営業を自粛しており、契約数が例年の半分である。
	×	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため休業している。3か月前に比べて全く営業収入がない状況になっており、悪化している。
	×	パチンコ店（経理）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による休業要請があり、休業している。
	×	その他レジャー施設 [スポーツクラブ]（総支配人）	お客様の様子	・会員の半数以上が、4月から3か月以上の期間で休会届を出しており、第1四半期の売上は50%ダウンしている。公共施設の受託業務や行政からの健康教室も全て最低3か月間のキャンセルが決定しており、全く売上が見込めない状態である。
	×	美容室（経営者）	それ以外	・美容室を経営しているが、4月は従業員が新型コロナウイルスに感染することを恐れて、半分程度しか店を開けていない。資金繰りは一挙に厳しくなっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・今月は2～3か月前から商談していた客との契約が進み、目標を達成することができたが、現在は新規で打合せをする客はほぼゼロの状態である。イベントもできないので新たな営業活動を模索している。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でテレワークとなっている。人に会えず、営業は全く仕事にならない。訪問するどころか外出もできず、見通しが立たない。
	×	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、人や物が動かない。
	×	住宅販売会社（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に対する緊急事態宣言により、完全に客足が止まっている。消費マインドが冷え切っている。
企業 動向 関連	-	-	-	-
(北陸)		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況については変わらず推移している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスのまん延による消費の落ち込みや買い控えなど、心理面のみならず実態面でも大きな影響を招いており、受注量も大幅な減少傾向にある。
		司法書士	取引先の様子	・官庁や金融機関でも勤務者を減らしており、案件の完了に時間が掛かっている。仕事としては融資を受けるために必要な定款や議事録などの作成依頼が多い。
	×	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言に伴う外出自粛要請の影響により、小売用チャネルの受注が好調である一方、業務用チャネルの受注は激減しており、全社トータルでは大幅な前年割れで推移している。
	×	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で状況が一変している。生産状況については、大手のアパレルメーカーでキャンセルが出ており、用途を問わず減産という状況になっている。
	×	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、欧米や国内での受注が止まっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・海外各国での移動制限などの影響があり、輸出を中心に需要が減退するとともに、各自動車メーカーの生産停止の影響もあり、受注が大きく減少してきている。
	×	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・月後半に影響が出だした前月に比べ、4月は月初より新型コロナウイルスの対応による閉店率が上昇している。そのため、客によりばらつきは大きいものの、店頭での販売数はかなり落ちている状況である。
	×	建設業（経営者）	競争相手の様子	・建設工事については何とか手持ち工事を消化しているが、3か月前に比べて新規の発注がみえておらず、相当暇な状況である。
	×	建設業（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きい。
	×	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・2～3月で受注した案件の工事完了により、当月の売上高は前年同月比で70%を確保したが、新型コロナウイルスの感染拡大で営業活動は自粛状態である。新たな見込み案件は皆無である。
	×	金融業（融資担当）	取引先の様子	・融資の相談件数は増加傾向である。緊急事態宣言による休業要請が拡大してからは、新規融資に加えて、条件変更の相談が増加している。各経営者も先行きが不透明であるとの見解を示しており、融資を受けたことがない事業者からも融資相談が続いている。
	×	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現在は個人客も法人客も、情報や問合せが止まっている状況である。
	×	税理士（所長）	取引先の様子	・観光業、バス事業、観光に関連する小売業等は壊滅と言っているくらい、過去に例のない業績が続いており、非常に大変な状況である。また、建設業でも工事が延びたり中止になったりし、製造業も先行きの見通しが悪くなりつつある。建設業も製造業も全体的に2～3割減で、非常に厳しい状態である。
雇用 関連		-	-	-
(北陸)		人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・依然として派遣スタッフの登録者数が減少している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・雇用の募集は継続して発生しているものの、求職者の不安が払拭できず、応募者や登録者の数が半分以下に減少している。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・生産調整に入った機械製造メーカーが一時帰休を打ち出したことで、この先の失業につながらないかと危惧している。
	×	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・掲載する会社数の落ち込みが激しい。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が大きすぎる。活動を止めているなか、良くなる兆しが無い。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・市井レベル、行政レベル共に先行きが全くみえない。現状は時間に任せるしかないというのが共通認識ではないかと考える。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響により、多くの企業が休業を実施したり計画したりしている。
	×	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・3月の有効求人倍率は1.66倍で、前年同月比で0.45ポイントの大幅な減少となっている。産業別の前年同月比は、情報通信業で31.3%増、教育、学習支援業で68.3%増だが、製造業で40.7%減、卸売業、小売業で27.1%減、宿泊業、飲食業で52.0%減となっている。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の採用活動がほぼ止まっている。

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)		スーパー（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が全国に発令され、家庭内での飲食機会が増えているため、どの店舗でも需要が一気に増えている。総菜などの出来合いの物は落ち込んでいるが、自分で調理するための食材や、家庭でこれまでできなかった、調理に手間の掛かる食材など、時間を掛けた家庭での食事に関する買物が非常に増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	お客様の様子	・当店の景気は良いが、あくまでも特需によるものでしかない。外食や行楽に行けない分、自宅で楽しむための買物が増えていると感じる。また、食事をする人数も増えているため、買上単価も上昇するなど、通常の好調な動きとは異なる。
		スーパー（店員）	来客数の動き	・来客数は毎日多い。特に、土日は家族連れの客がたくさん来店してくる。野菜や果物などは、出せば出すほど売れている。
		住関連専門店（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による外出の自粛で、家の片付けなどをする人が増え、家具の購入が増えている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、家具などの大型消費財の需要は不振であるが、日用品や園芸用品の需要は伸びており、トータルでは変わらない。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言以降は、営業の制約はあるが、外出の自粛による中食需要の増加で、売上は伸びている。ただし、一過性の部分が大きく、食品のまとめ買いによる影響や、節約志向の高まりにより、売上は徐々に減少する。
		スーパー（管理担当）	販売量の動き	・いわゆる新型コロナウイルス特需であるため、喜べないのが実情である。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発令に伴い、在宅ワークや学校などでのリモート授業が増えているため、販売量の落ち込みはそれほどみられない。一方、本来は転入居の増える季節で、消費者向けの営業が伸びる時期であるが、そちらの方は全く伸びていない。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・ファッション関連などでは、営業の自粛によって来客数が激減しており、特に年配客の来店が減っている。食品についても、生鮮3品の売上は好調であるため、買上単価は下がっていないが、営業の自粛による店頭売上の減少が続いている。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が一番大きい。
		スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・2月以降のまとめ買い需要により、目先の売上は前年比で約1割伸びているが、今後は景況感が悪化することは確実であるため、徐々に買い控えにシフトすると予想される。今は販売が伸びている商品も、乾物などの巣籠り需要が中心であり、特に総菜や衣料品などは売上の落ち込みがみられる。景況感としては、こちらの売上ダウンの方が実態を表していると感じる。
		スーパー（社員）	お客様の様子	・当社は食品スーパーを運営しており、大半の店舗で、売上や来客数が前年よりも大きく伸びている。新型コロナウイルスの影響で、家庭での食事の機会が確実に増えている。ただし、駅前の店舗など、流動客の減少している店舗はやや不振である。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・緊急事態宣言によって外出の自粛が求められ、来客数が減少している。
		家電量販店（経営者）	お客様の様子	・先行きのみえない新型コロナウイルスの影響で、客は消費を抑制している。また、取引先の休業による需要の減少も、全体の売上を押し下げている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の来店する時間帯が従来よりも遅くなっている。その一方、閉店時間が2時間早くなっていることから、商談時間が十分に取れていない。
		家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・世の中が自粛ムードとなっている。
		その他専門店 【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・社会全体での営業や外出の自粛などで、買物もままならない。さらに、ドラッグストアでは売りたい商品の納品数が少なく、マスクやガーゼ、消毒薬、ハンドソープ、ラーメンなどの食品は、陳列すれば即完売の状態である。
		その他専門店 【ドラッグストア】（店員）	来客数の動き	・ドラッグストアには、マスクや消毒液といった客の求める物が多いが、今欲しい商品は品切れでほとんどない。ハンドソープなどの需要が追い付かなくなるなど、全く想像もできなかった。ただし、客が家で過ごす時間が増えた分、身の回り品へのお金は惜しまず、高級シャンプーなども売れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	販売量の動き	・依然としてマスクや消毒液、予防衣、パルスオキシメーターなど、新型コロナウイルス対策商品の問合せは多いが、売上につながらない。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、全館で休業している。街中も全て同じ状態である。
		住宅販売会社（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの流行に伴い、住宅展示場の運営は自粛となり、客の動きも悪いため、確実に数か月間は落ち込む。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・全店が休業中で、売上がゼロとなっている。
	×	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・政府の緊急事態宣言が発令されてから、人の動きが止まったと感じる。それまでは若干の来客や動きがみられたが、今は世界が止まったような感覚である。営業するにしても難しいところであるが、自粛要請のリストにも入っていない個人店舗としては、売上の補償もあてにできず、休むという判断は非常に難しい。ステイホームで人が動かないため、客がほとんど来ないのは仕方がないが、経営が成り立たないことも事実であり、本当に厳しい1か月となっている。
	×	一般小売店〔花〕（経営者）	販売量の動き	・今までに経験のない状況となっている。取引先の休業で販売量が激減している一方、休業していない取引先もあるため、当社が完全に休業するわけにもいかず、時短で営業しているが、売上は最悪である。母の日のプレゼントも、今のところはほとんど注文がない。多少は期待していただけに、先行きへの不安が募る。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・ショッピングモールの店舗は全て休業中で、商店街の1店舗は時短営業となっているため、売上は前年比で15%に落ち込んでいる。
	×	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	それ以外	・緊急事態宣言に伴い、パチンコ店の休業のほか、飲食店の時間短縮や休業により、業務用の卸売が激減している。
	×	一般小売店〔菓子〕（経営企画担当）	販売量の動き	・4月と1月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は4月が24.2%で、1月が99.4%、関東は4月が29.0%で、1月が95.3%、中部は4月が53.1%で、1月が102.1%、中国は4月が49.9%で、1月が86.2%となり、各地区合計の平均は4月が33.9%で、1月が96.9%となっている。新型コロナウイルスによる影響で壊滅的な状況であるが、これがいつまで続くのかも分からない。元に戻るのか、果たして持ちこたえることができるのかも不透明である。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響をもちに受けており、売上が前月比で40%、前年比で70%ダウンしている。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	お客様の様子	・販売量、来客数共に激減している。特に、緊急事態宣言後は営業を自粛しているため、収入は全くない。
	×	一般小売店〔花〕（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による、外出自粛の影響が出ている。
	×	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・個人営業の飲食店は壊滅的な状態である。ゴルフ場も休業要請は出ていないが、客が減り、レストランの使用も減っているため、厳しい。
	×	一般小売店〔呉服〕（店員）	それ以外	・今月は新型コロナウイルスの影響で悪い。17日までは営業できたが、18日からは休業しているため、更に悪い。
	×	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による売上低迷がどこまで進むのか、底がみえない。
	×	百貨店（売場主任）	それ以外	・今月は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、店が休業となり、非常に厳しい状況である。インターネット通販の売上は伸びているものの、全く店頭の上減を補うまでには至っていない。2月はインバウンド需要の減少、3月は国内需要の減少、4月は休業と、月を追うごとに売上が減少している。
	×	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・緊急事態宣言後、食料品売場のみの営業になっているが、食料品売場単体でも前年の50%の水準である。和洋菓子を中心に休業するメーカーも多く、客を動員する施策も全て休止しているのでやむを得ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（売場主任）	それ以外	・新型コロナウイルス対策による緊急事態宣言で、食料品売場のみの営業となっている。29日までの売上は、店全体で前年比55.4%減、入店客数は53.4%減と、非常に苦しい状態が続いている。感染の状況が改善し、緊急事態宣言が解除されなければ、今の状態が続くと懸念している。
	×	百貨店（企画担当）	それ以外	・他社も同じはずであるが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言で営業を休止しており、先の見通しが全く立たない。
	×	百貨店（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言以降、店舗の営業を休業している。
	×	百貨店（営業推進担当）	それ以外	・経済活動ができていない状態で、営業再開のめども立っておらず、中小企業だけでなく、大企業も存続できるかどうかの瀬戸際に立っている。多くの企業が活動できていない状況で、世界的にも多くの国の経済が停滞している以上、景気は悪い。
	×	百貨店（外商担当）	それ以外	・新型コロナウイルスによる外出の自粛で、経済活動の休止につながっている。
	×	百貨店（マネージャー）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業中であり、営業再開のめどが立たない。
	×	百貨店（サービス担当）	それ以外	・前月に続き、新型コロナウイルスによる営業の自粛で、食品売場だけが営業している。売上は前年比で80%減と非常に苦しい状況である。
	×	百貨店（販促担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響に尽きる。営業体制は大幅に縮小し、来客はもちろん、街への人出が極端に減少しているため、前年との比較すら無意味な状況である。さらに、都心店であるため、食品の需要も限定的となっている。
	×	百貨店（服飾品担当）	それ以外	・4月7日から、食料品売場を除いて全店で休業する形になり、厳しい状況が続いている。売上は前年比で30%を下回り、オープンしている食料品売場も、郊外店舗で80%、都心店舗で約30%と、外出自粛の影響が出ている。一方、化粧品のインターネット売上は前年比で300%を超えるなど、来店できない客のニーズにこたえている。
	×	百貨店（商品担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大するなか、当初は営業時間の短縮で拡大の防止を図っていたが、緊急事態宣言の段階的な拡大を受け、各店舗が一部の売場を除いて臨時休業を実施した。その結果、売上は当初の目標や前年との比較が意味をなさないほど減少している。その一方、営業中の食品部門では和洋菓子や酒といったし好品は低調で、生鮮品や総菜などの必需品は、比較的好調に推移している。
	×	百貨店（販売推進担当）	それ以外	・緊急事態宣言により、食品を除いた売場が休業となっており、売上は前年の2割程度となりそうである。企業としては業績も大事であるが、従業員や客の安全を守る方が大事であるという考えにシフトしている。
	×	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・4月8日から食料品売場を除き、臨時休業が続いている。いつ再開するか全くめどが立たず、客離れにつながることが懸念される。
	×	百貨店（売場マネージャー）	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令で、4月18日以降は、食品売場だけの時短営業となっている。会社全体でも同様の営業体制となっており、経営へのダメージは非常に大きい。また当店の周辺でも、商業施設や飲食店を中心に、臨時休業などの対応が増えている。安全や安心といった自己防衛意識が非常に高まっている反面、消費マインドは大きく下がっている。
	×	百貨店（宣伝担当）	それ以外	・緊急事態宣言による休業が続いており、見通しが全く立たない。食料品フロアのみ営業しているが、駅ターミナル周辺施設が全て休業していることもあり、都市型店舗については日に日に客が少なくなっている。
	×	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響により、経済活動や客の動きが完全に止まっている。
	×	百貨店（特選品担当）	それ以外	・外出の自粛要請もあり、緊急事態宣言以降、4月8日から臨時休業中である。店舗が開いていた4月の1週間も、入店客数はほとんどなく、危機的な状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	スーパー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で観光業が悪く、そこで働く人の収入も減り、消費が落ち込んでいる。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、今後は倒産や退店するテナントが出てくると予想される。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令により、外出を自粛する人が多く、経済が回っていない。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・外出の自粛により、食品以外は購買する目的が見当たらず、先行きは不透明である。食品は一時の買い控えがなくなり、売上も落ち着いてきている。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、食品と除菌関連以外の商材、例えば衣類やレジャー関連の売上が相当落ち込んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく出ている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響でテレワークが増え、4月初めから26日までの来客数は、前年比で53%減少している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣の会社員による来店は、在宅勤務が多いせいか、激減している。近隣の予備校や専門学校も休校状態が続いているため、来客数は前年比で50%以上減少している。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大により、全てにおいてマイナスとなっている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響については、昼間の売行きには変化がないものの、単身赴任の会社員などによる、20時以降の来客数が激減している。深夜帯に至っては、街が静かで人が見当たらない。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、特に土日の売上が悪くなっている。
	×	コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、売上、来客数共に前年比で深刻な落ち込みとなっている。3月頃から少しずつ減り始め、今月は激減している。店側も商品の廃棄を恐れて、発注を少なめにしているが、それでも売れ残ってしまう。周囲の会社がまだ動いているため、昼は少し忙しいが、それ以外は来客数が以前とは全く比べものにならない。勤務のシフトも減らされそうである。
	×	コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が激減している。
	×	コンビニ（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数がかなり減少している。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスへの対策として、外出しないようにすることも大事であるが、感染よりも、会社が倒産したり、経済活動の崩壊で命を守れなくなる方が圧倒的に多くなるように感じる。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・来客数は、前年比で5%に落ち込んでいる。食料品以外で売れているのは、マスクと消毒液くらいであり、当店の前にある店舗ではマスクを3900円で販売しているが、堅調に売れている。一方、近隣のドラッグストアは休業中で、商店街で営業を続けている店は3分の1程度にとどまる。しかも時短営業である。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3月も非常に悪い状況が続いていたが、4月に入って緊急事態宣言が発令され、来客数や街の人出が激減している。
	×	衣料品専門店（営業・販売担当）	来客数の動き	・来客数がほぼなくなっている。
	×	家電量販店（店員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、来客数は前年比60%と厳しい状況である。店舗スタッフも家庭の事情で出勤が困難であり、感染の終息まで厳しい状況が続くそうである。
	×	家電量販店（店員）	単価の動き	・来客数は増えているが、玩具やパソコン関連、携帯電話コーナーにしか客はおらず、その他の商品は全く売れない。
	×	家電量販店（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による来客数の減少が顕著であり、インターネットでの販売も限定的である。ただし、テレワークの増加で情報関連商品は販売が増えているほか、外出自粛の影響で、ゲーム関連は伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	家電量販店（人事担当）	それ以外	・緊急事態宣言の発令に伴い、商業施設内の店舗は一時閉店となり、それ以外の店舗も営業時間を短縮しての営業となっている。一方、テレワークに関連するパソコンのほか、Webカメラ、ヘッドセットなどの関連品、空気清浄機などはメーカーからの供給が滞り、品薄となる商品もあるなど、販売は伸びていない。
	×	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・今月に入って、新型コロナウイルスの感染拡大による営業自粛や休業で、費用の支払に苦心する客が増えている。
	×	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来客数、販売台数共に減少している。一方、まだまだ感染終息のめどは立っていない。
	×	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	乗用車販売店（営業企画）	お客様の様子	・企業からの、求人広告の掲載依頼件数が激減しており、回復の兆しが無い。自動車の販売に関しては、今のところ影響は小さいが、楽観視できない。
	×	乗用車販売店（販売担当）	それ以外	・これだけ世の中が動かなければ当然である。
	×	住関連専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言が出てからは、新規の客からの問合せが急に止まっている。
	×	その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で全ての経済活動が止まっている。株価も低迷し、世界経済が最悪の状態に推移している。
	×	その他専門店【医薬品】（販売担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、営業担当は自宅待機で、小売店の営業も自粛となっている。
	×	その他専門店【宝飾品】（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、予定していた展示会やイベントはほとんど中止である。販売機会が減り、外出の自粛で来客数も減っているため、売上は激減している。
	×	その他専門店【ガソリンスタンド】（経理担当）	販売量の動き	・外出の自粛により、ガソリンの販売量が前年比で20%減っている。
	×	その他小売【インターネット通販】（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる外出の自粛や休業で、集客が減少している。開店日数の減少が売上の減少につながっており、非常に厳しい状況である。
	×	その他小売【インターネット通販】（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で営業を自粛しているが、感染の終息時期は全く見通せず、非常に厳しい状況となっている。
	×	高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・日を追うごとに状況は悪化している。緊急事態宣言後は、店側も予約件数を調整した結果、売上は前年の1割以下にまで落ち込んでいる。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる政府の緊急事態宣言後、自粛要請などで街から人が消えた。特に要請はなくても、感染者数の減少のために、飲食店は休業や閉鎖を余儀なくされている。特別融資や雇用調整助成金などはあるものの、窓口の対応は追い付いておらず、申請してもいつ受け取れるのか分からない。今後も自粛が続くようであれば、閉鎖に追い込まれる事業者は確実に増加する。
	×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・休業要請に伴い、臨時休業中である。商店街全体でも、既に18時の時点で人通りがみられない。
	×	一般レストラン（企画）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、売上の前年比は65%減と落ち込んでいる。感染終息のめどは立っていないものの、5月はやや落ち込みが回復すると予想しているが、非常に厳しい状況が、少なくとも6月までは続きそうである。
	×	その他飲食【自動販売機（飲料）】（管理担当）	それ以外	・歯車が狂うと、たちまち経営が成り立たなくなる。今は給料の保証があっても、一寸先は分からない。目に見えない物との闘いは、不安しかない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	観光型ホテル (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でほぼ予約がキャンセルになったため、4月6日からは休業している。それに伴い、4月の販売量はほぼゼロに等しく、従業員を休業させて、雇用調整助成金を受け取った方が赤字を縮小できる。
	×	観光型旅館(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で休業しており、予約も入っていない。
	×	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・2月下旬以降は段階的に宴会のキャンセルが続き、今月や来月は収入がほぼゼロである。今月中旬以降は、食堂と宴会場が来月15日まで休業となり、関連部門の従業員は自宅待機となった。宿泊も前年比で売上が8割減である。京阪神のグループホテル6件のうち、4件が全面休業となった。緊急事態宣言も継続の見込みであるため、休業の解除は難しそうである。
	×	都市型ホテル (フロント)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、グループホテルの8割が休業している。営業しているホテルでも、客室のみの営業で、レストランや宴会は5月末まで休業となっている。一方、客室稼働のほとんどはテレワークなどでの利用で、あとは若干の出張者の利用となっている。観光目的での利用は皆無である。
	×	都市型ホテル (管理担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、客室、宴会、レストラン共にキャンセルが相次ぎ、新規予約も入らない状態が続いている。ホテル館内は閑散としており、来客数、売上が激減し、客の人数よりも従業員の方が何倍も多い状況が続いている。現状を考慮し、感染のリスクを避けるため、4月下旬から5月末まで休館することになっている。
	×	都市型ホテル (総務担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令以降、宿泊は稼働率が10%を切る日が増えている。また、宴会もほとんどキャンセルとなり、前年で90%以上の減収となっている。また、レストランも下旬からは1店舗だけが営業している状態である。
	×	都市型ホテル (客室担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、利用客が減少している。緊急事態宣言後は、感染拡大防止に向けた取組として、臨時休業している。
	×	都市型ホテル (管理担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が延長されるかどうか、新型コロナウイルスの感染者がいつ減少していくか、現状は不透明な部分が多く、先行きが見通せない。
	×	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・観光産業で収入が増えるまでには、まだまだ道のりは遠い。
	×	旅行代理店(役員)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で4月は売上がゼロとなった。国内旅行、海外旅行共に、今は旅行という状況ではないため、緊急事態宣言期間中は臨時休業としている。
	×	旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・現状は健康と安全の確保が最優先であり、仕方のないところであるが、海外旅行、国内旅行共に全く動きがない。事業の継続に赤信号がともる、かつてない事態である。当たり前であるが、客からの連絡は予約のキャンセルのみである。
	×	旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・5月末まで、旅館、ホテルがほぼ休業している状況であり、営業再開までは手の打ちようがない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・夜間の人出の減少で、市内のタクシーも大幅に減っている。当社では5月から計画休車でタクシーが半分に減るが、他社も同様の動きがみられるため、利用率が少し上がりそうである。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・外出の自粛要請により、客の乗車機会は3月に比べて急激に減少し、昼間、夜間共に、営業収入は5割以上の減少となっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・緊急事態宣言以降、急激に人の出入りが少なくなっている。街の人通りもかなり減っており、駅での待ち時間も非常に長くなっている。
	×	通信会社(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、受注が減っている。
	×	通信会社(社員)	それ以外	・通信会社から、受付業務の制限や営業時間短縮の要請があったため、積極的な販売を控えている。
	×	通信会社(企画担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、店舗は1か月の休業となっている。テレワークは進んだが、営業案件が保留になるケースが多い。株価も下がり、景気がこれまでに悪化していると感じる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	通信会社（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、アミューズメント施設が全店閉店となっている。
	×	テーマパーク（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い、営業を自粛している。
	×	観光名所（経理担当）	来客数の動き	・全ての原因は、新型コロナウイルスへの国の対応の甘さに尽きる。
	×	観光名所（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で閉館中のため、収入は全くない状態である。
	×	遊園地（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で休業しており、売上がないため、前年とは比較できない。
	×	競輪場（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための休業で、車券が販売できず、売上がない状況である。
	×	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	販売量の動き	・イベント業界はかつてない厳しい状況となっている。政府には早期の新型コロナウイルスの感染終息に向け、最大限の努力をお願いしたい。
	×	その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響については、終息の兆しが見えない。
	×	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	販売量の動き	・観光事業は営業自体ができていないため、悪いとしかいえない。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、客は怖がって店に全く来ない。
	×	美容室（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で店を休業しており、非常に厳しい状況となっている。
	×	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	お客様の様子	・休業要請による休校が響き、休会や退会する生徒が出てきている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・ビルのテナントや貸家の借入人から、賃料の減額や支払延期などの依頼がきている。
	×	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・完全な自粛ムードで、人が動かなくなっている。
	×	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・分譲マンションの販売センターは、緊急事態宣言の発令後は全て閉じており、販売活動が止まった状態である。また、収益物件の売買でも、売主、買主、仲介業者共にテレワークで動きが止まっているため、契約済物件の決済作業だけが行われている。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介]（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	その他住宅 [展示場]（従業員）	来客数の動き	・緊急事態宣言以降は、住宅展示場のセンターハウスを閉め、来客の受付を行っていない。各出展企業も予約客の対応だけで、来場者数は激減している。
	×	その他住宅 [情報誌]（編集者）	お客様の様子	・住宅販売においては、新型コロナウイルスの影響で営業を自粛したり、大幅に縮小しており、不動産各社への悪影響が大きくなっている。特に、高価格帯の購入希望者の減少が大きい。
	×	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、点検訪問を拒否する客が激増している。仕事がなく、作業員数名を休ませる状況が続いている。また、マスクや消毒液の購入費用で、100万円以上の費用が発生している。
企業 動向 関連 (近畿)		-	-	-
		*	*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で世の中は大変になっている。当社の状況は以前と変わらないが、今後はいろいろな影響が出てくる。
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・紫外線とオゾンを活用した製品を製造している。テレワークはほとんど不可能で、もし新型コロナウイルスの感染者が発生すると、操業は不可能になる。その一方、紫外線とオゾンガスは新型コロナウイルスに有効であるため、問合せは活発となっている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今のところは新型コロナウイルスの影響を受けていないが、今後はどうなるか分からない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・当社は食品を扱っており、家庭用、業務用の比率が半々ぐらいである。現状、家庭用は伸びているが、業務用は営業自粛の影響で出荷量が激減している。全体の製造量は、前年を少し下回る程度で推移している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状の仕事量はそれなりにボリュームがあるものの、受注残を3か月前と比べると減少している。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でキャンセルが出ており、新規引き合いも減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注残はあるが、取引先が新たな案件を先延ばしし始めており、来月の受注がみえない。また、客との接点も減っているため、新規案件の受注が苦戦している。
		建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスによる外出自粛で、取引先でも閉店や売上の激減といった動きが多くみられる。どこに行っても、悲観的な声しか聞こえてこない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で売上が落ちている。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・緊急事態宣言に伴う外出の自粛で、飲食店といったサービス業からの融資条件変更の申出が多発している。
	×	食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、得意先の飲食店や観光ホテルの売上が激減している。
	×	繊維工業（総務担当）	それ以外	・全国に出されている緊急事態宣言により、取引先の催事や訪問販売が中止になっている。受注分のみ販売を行っている状況で、今後の売上の予定が立たない。
	×	繊維工業（団体職員）	受注量や販売量の動き	・生産量は前年比で約10%程度の減少であるが、出荷量は更に減少している。また、企業ごとの差も大きくなっている。
	×	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・部品の不足や販売の減少を見越して、取引先が生産計画を変更するケースが増えている。
	×	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	受注量や販売量の動き	・客からの発注の見直しや延期により、受注量が激減している。
	×	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先によっては、売上が既に例年の4～6割減となっている。
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染予防で、自動車メーカーの工場が閉鎖されているため、自動車関連部品の受注が激減している。
	×	金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車メーカーの生産休止による影響が大きい。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・石油需要の激減により、油田などの新規開発が停滞している。当社は、石油製造関連の鋼管の品質管理に使う測定器を製造しているが、引き合いがゼロに近い。
	×	電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・空気清浄機は前年を上回る実売となっているが、配送や設置作業を伴うエアコンや冷蔵庫といった大型商品は、前年比で大きく落ち込んでいる。これには、家電量販店の営業自粛のほか、商品の製造自体の遅れによる品不足の影響もある。
	×	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・先行きが全く見通せない。悪いというよりも、活動が停止しており、情報収集さえままならない。
	×	輸送用機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年の20分の1に減少している。取引先による設備更新の保留や中止で、ストップする案件が増えている。
	×	建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、業種にもよるが、客の様子が激変している。年度末の工事も一段落し、職人不足も解消されつつあるが、工事がストップするケースもある。
	×	建設業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染を予防しながら、事業を継続しているが、対策の費用が膨れ上がっている。感染対策を行っても売上にはつながらないため、収益率の悪化が懸念される。
	×	金融業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、取引先の多くは売上が減少傾向となっている。トンネルの出口がみえない状況であり、今後どうなるのか、不安を隠せない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	金融業〔投資運用業〕(代表)	それ以外	・外出の自粛は仕方がないとしても、政府の給付金の配布が遅過ぎる。政府がよほどのウルトラCを披露してくれない限り、今後の景気はますます悪くなる。
	×	不動産業(営業担当)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、休業する店舗が増えているが、休業も難しくなり、解約する店舗が出てきている。
	×	新聞販売店〔広告〕(店主)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染防止のため、スーパー全体が折込広告を自粛したり、パチンコも営業を自粛しているため、定番の折込広告の動きが止まっている。また、全体的に営業を停止している店が多く、折込広告全体が激減している。
	×	広告代理店(管理担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、各種施設が閉鎖されている。
	×	広告代理店(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、広告はストップし、イベントは中止になっている。かなり厳しい状態が3月末頃から続いており、先が読めない。
	×	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言を受けて、今はあらゆる所が最悪の状況である。
	×	その他サービス〔自動車修理〕(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が出ている。
	×	その他サービス業〔店舗開発〕(従業員)	それ以外	・緊急事態宣言の発令後、休業要請の対象業種ではなくても、自主的に休業や営業時間短縮に踏み切る店舗が、駅構内でも約7割となっている。特に、新幹線の停車駅は壊滅状態であり、全店が休業となっている。
	×	その他非製造業〔機械器具卸〕(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、物品がほとんど動かなくなっているため、売上が少なくなっている。
	×	その他非製造業〔衣服卸〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・チェーンストアにタオルを納品しているが、店舗への客の入込が日を追うごとに減り、販売不振が進んでいる。特に子供服や玩具など、取扱品目に特徴のあるチェーンは深刻な不振となっている。
	×	その他非製造業〔商社〕(営業担当)	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で、出張などの営業活動もままならない。今後は海外OEM先からの、製品の入荷遅延も増えそうである。
	×	その他非製造業〔電気業〕(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で経済活動がほとんど行われていないため、需給バランスが崩れ、大変な状態になっている。
雇用関連		-	-	-
(近畿)		人材派遣会社(経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で市場が小さくなっており、人員の見直しの動きが出てきている。派遣社員をうまく使っている企業は、まず派遣社員の利用から見直し、今の状況を何とか乗り切ろうとしている。今後しばらくは、こういった状況が続くと予想される。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・直近の近畿の有効求人倍率は3か月連続で低下した。有効求人数、求職者数共に減少したが、求人の減少が上回った。新規求人数も前年比で3か月連続の減少となり、特に製造業は13か月連続で減少した。一方、新規求職者数は2か月連続で減少し、会社都合の離職者は横ばい、無業者は減少となっている。
		民間職業紹介機関(営業担当)	周辺企業の様子	・学生の就職活動が厳しくなってきたと感じる。
		学校〔大学〕(就職担当)	採用者数の動き	・新型コロナウイルス対策で、約半数の企業の採用活動がストップしている。今後の採用活動も未定であるため、今年度の求人自体を取りやめる企業が続出するおそれもある。
	×	人材派遣会社(役員)	求人数の動き	・在宅勤務の増加や商談の減少により、オーダー数が激減している。
	×	人材派遣会社(営業担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、休業や時短、契約終了の動きが多発している。今後は更に多くの企業で、これらの動きが出ると予想される。
	×	人材派遣会社(営業担当)	求職者数の動き	・求職者が増加しており、仕事が欲しいという、必死の状況が強く伝わってくる。ただし、企業が採用活動を停止しており、動きがない。
	×	人材派遣会社(支店長)	求人数の動き	・例年、この時期は一時的に求人数が減るが、今年は新型コロナウイルスの影響で激減している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・緊急事態宣言後も保育園は開園しているが、子供の数が減っているほか、感染の予防のため、在宅ワークになる日もある。給食業務の在宅ワークといっても、何もできることはない。給料が減ると生活ができないため、何かほかに良い仕事があればと感じる。
	×	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・面接そのものが避けられている。
	×	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・緊急事態宣言の発令による外出の自粛、在宅勤務の要請で、消費を含めて経済は冷え切っている。求人数も物流や介護、医療関係などを除いて解雇が増加しており、明らかに悪くなっている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が直接的に数字となって表れている。関西の地元企業からの新聞広告への出稿もほとんどなく、今月はゼロという業種もある。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年比は、令和元年10月から6か月連続で減少している。3月に関しては新型コロナウイルスの影響により、求人を出し直したり、取り消す事業所が出てきた。住宅関連を中心に、製造関連の部品が中国から入ってこないため、完成品として商品を出荷できていない。飲食店では売上が激減しており、先行きも不透明なため、求人を控える事業所が多くなっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、新規求人数が前年比でほぼ半減となっている。
	×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・直近の求人数は、前年比で約3割に減少している。
	×	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、建設業を中心とした求人が止まっている。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・3月までは、新型コロナウイルスの感染対策をしっかりと行った上で、面接を実施するという企業が多かったが、大阪や兵庫での緊急事態宣言の発令以降は、採用活動が延期となるケースが多い。また、中小企業を中心に採用活動を見送る動きも増えている。リーマンショック時もあり採用が抑制されたが、そのとき以上に悪い印象がある。
	×	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で求人数が激減している。求職者は若干増えている様子もあるが、マッチングが難しい。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・時差勤務をしており、3府県をまたいで通勤しているが、往復とも通勤客や高齢者の乗客が激減し、空席が目立っている。現状、感染防止策については一定の効果がみられるが、在宅勤務やテレワークによる経済への影響は目に見えず、これらが景気の悪化につながっている恐れもある。

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛による家庭内での食事の増加や保存食の買いだめで、1人当たり買上点数が増加している。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で販売量や客単価の増加が著しい。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・販売量も客単価も以前より上昇している。
		家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で行き先がなくなり開いている店に来ている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需で売上が前年比110%と増加しているが、来客数は変わらない。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響でテレワークや在宅学習を利用するため固定通信回線の新規申込みが多くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数、客の来店頻度のいずれも減少している。商店街の通りもいつも以上に人が歩いていない。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客が少ない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・販売量や客単価に変化はないが、客の中に世帯主の仕事の状況が悪くなっている客もいるため、景気はやや悪くなっている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・市内で新型コロナウイルス感染症が発生したため、市外への購買流出がみられ、他とは違い来客数が激減している。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で自宅での食事が増加したことにより、野菜を始めとする食品の価格が高値でとどまっている。また、ストック食材が多く出ているため客単価は伸びているが、一段落したときの反動が怖い。
		スーパー（営業システム担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で外出を控えるための買いだめや家庭内での飲食が増加したため、客単価が上昇している。
		スーパー（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの特需で1人当たりの買上点数が伸び、売上は増加しているものの、来客数は伸びていない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で展示会の来客数が非常に少なくなっている。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大幅に減少している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は前年比90%と全体的に落ち込んでいるが、落ち込みは予想より小さい。パソコンや周辺機器については、テレワーク需要等があり、売上が好調である。家電品は生活必需品であり、業界としては新型コロナウイルスの影響が少ない方である。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・4月になって、日ごとに来客数が減少している。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなっている。
		通信会社（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響でサービスの新規加入や追加を見合わせている客がいる。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・営業活動やイベント開催の自粛で客と接する機会が大幅に減少しており、ネット等で営業補完できる範囲ではない。また、年度切替え時の各種キャンペーンの効果の是非を論じる以前に、新サービス等の訴求効果がない状態である。客の関心は自身のライフラインにある。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・客の問合せや来客数の減少で成約率が低下している。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか不透明な状況で、客は住宅の設計を進めようといった気持ちにもならない様子で、設計者としては見通しが立たない。
	×	商店街（理事）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客の購買意欲が低下している。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・県の休業要請を受け、店を閉めているため、売上がない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、街に人が通ってない。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で商店街に人が全くいないため、客も来ず、売上がない。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少し、景気は悪くなっている。
	×	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・今月に入り、極端に売上が減少している。納入先の旅館、ホテル、土産物センターは軒並み休業、ギフト販売店も極端に売上が落ちており、当社も雇用調整助成金を申請することを決めている。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で食料品以外の店はほぼ営業できない状態である。
	×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響で人通りが少なく、客の動きがほとんどない。
	×	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で閉店しているショップが多数あり、売上が激減している。人々が外出を自粛しているので来客数も少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で時短営業や一部営業休止を行っており、過去に例のないほど売上や来客数が減少している。食料品などの生活必需品以外は購買機会や購買意欲が著しく減退している。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの終息が見えず先行きが不透明である。店自体の営業はしているものの、来客数は約6割減少し、取引先も状況が厳しく、店内でも休業するショップが増加してきている。市内では新型コロナウイルスの発生者が少なく感染経路も特定されているが、県境ということもあり、駅周辺は閑散としている。
	×	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・月初から来客数や販売量が減少しているが、集客もできず、22日からは食料品以外のフロアを全て閉めている状態である。また、食料品についても、一部の取引先が休業に入っている。
	×	百貨店（販売計画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により来客数が減少し、景気が悪くなっている。
	×	百貨店（売場担当）	それ以外	・緊急事態宣言が全国対象になって以降、来客数や売上が半減する状況が続いている。ゴールデンウィーク中のみ閉鎖する店舗も続出しており、百貨店の体を全くなしていない。
	×	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる自粛で来客数が極端に減少している。
	×	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・月の中旬以降臨時休業しているため、販売量が減少している。
	×	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上のいずれも大幅に落ち込んでいる。計画されていた展示会も中止や店内実施に切り替えているが厳しい状況である。外販で訪問しても客の購買意欲は非常に低く商品を案内できる状況ではない。
	×	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスにより、来店促進等の販促はできず、取引先によっては休業願も多く、営業していても休業する売場が多くなってきている、今後も予定していた新規のレストランやピヤガーデンの営業が未定となっている。
	×	スーパー（店長）	お客様の様子	・現状では食料品の動きは横ばいだが、衣料品等が前年を大幅に下回る状況である。客の購買意欲が生活必需品以外には全く見られない。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されテナント等が休業中のため、来客数は前年比80%、売上は前年比90%となっている。
	×	スーパー（販売担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言以降、近隣の百貨店やショッピングモールが自主休業したため、郊外の路面店として独立している当店が客の受皿となっていた感があり、ここまでは比較的好調に売上が推移している。しかし、日ごとに自粛ムードは強くなっており、陰りが見えてきている。売上は前年比105%、来客数は前年比140%となっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス感染者が公表されて以降、来客数が大幅に減少している。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は上がっているが、それ以上に来客数が減少している。
	×	コンビニ（支店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大幅に減少しており、回復の兆しもない。
	×	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で自粛モードが続き、来客数が大幅に減少している。出口の見えないトンネルに入っている。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で飲食業が大打撃を受けている。政府の対策も効果的とはいえない。
	×	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・緊急事態宣言が出されてから、来客数が激減している。外出自粛のため、おしゃれをして出掛ける機会もないので、購入の必要もない。
	×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減少している。
	×	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の半分以下となっていることで売上も減少している。
	×	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減し、営業活動もままならないことから販売量が落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・4月の販売量は前年比83%と大変厳しい状況となっている。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・新規の来客もほとんどなく、来客数が激減している。
	×	乗用車販売店 (店長)	それ以外	・店の営業時間を短縮していることもあり、客の動きが全くない。特に緊急事態宣言後、店に来る客がほとんどいなくなっている。
	×	乗用車販売店 (店長)	お客様の様子	・営業時間短縮の影響もあるが、新車、中古車整備等全ての面で実績が悪化している。来店を敬遠する客も増加し、用件を新型コロナウイルスが落ち着くまで延期する客が多くなっている。
	×	自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の自粛が続き、前年の消費税の引上げによる落ち込みに輪を掛けて大幅な落ち込みとなっている。
	×	自動車備品販売 店(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言以降、来客数が激減している。
	×	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・どの業界も同じであるが、新型コロナウイルスの影響で客が外出を控えている。
	×	その他専門店 [布地](経営 者)	来客数の動き	・街には完全に人がなくなっており、店を開けていても1人も客が来ないため、当分の間店を閉める。
	×	その他専門店 [土産物](経 営者)	それ以外	・緊急事態宣言が出されてから来客数が激減し、売上も半減している。施設内のレストランでは売上が8割減少し、従業員の雇用を継続することが難しくなっている。
	×	その他専門店 [時計](経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスで商店街の来客数は激減し、当店も来客数が減少している。
	×	その他専門店 [和菓子](経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が絶大である。
	×	その他小売 [ショッピング センター](支 配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が日増しに強くなり、緊急事態宣言発令に伴い、食料品等生活必需を販売する一部店舗を除き休業体制に入っている。さらに、客の自粛度も強まり、営業数値としては、かなり厳しい状況となり、先が読めない。
	×	その他小売 [ショッピング センター](管 理担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で一部テナントを除き施設のテナント自体が休業していることもあり、売上がほぼ立っていない。HPなどで告知していることもあり、客がほとんど来館しない状況であり、新型コロナウイルスが落ち着くまで来客数、売上のいずれも先が見えない状況である。
	×	高級レストラン (事業戦略担 当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で4月下旬からホテルが臨時休業に入るため、状況は厳しくなっている。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの拡大とそれに伴う緊急事態宣言で来客数の減少が続いており、売上も前年から80%減少している。4月27日から5月6日まで休業するため、売上は更に激減する。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上に陰りが見えていたが、特に緊急事態宣言後は、来客数が激減し、持ち帰り需要にターゲットを切替え販売しているが、前年の売上に全く届いていない。恐怖を感じるほどの落ち込みのため、ひたすら感染防止対策を講じ続けている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言で、人の動きが完全に止まってしまい、来客数がほぼ0人に近い状態になっている。
	×	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は非常に大きく、売上、来客数のいずれも前年比で約8割減少している。例年ならばインバウンドが非常に多い時期だが、今年は全ての予約がキャンセルとなっている。企業の団体予約もなく、常連客も外出を自粛したり、テレワークに切り替えたりしているため、来客数が激減している。
	×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・これほどの悪化は、過去にも経験したことがなく、4月17日から5月6日までの休業が致し方ない状況になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他飲食 [サービスエリア内レストラン] (店長)	それ以外	・新型コロナウイルスのため、休業や営業時間短縮を行っている。
	×	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が全国に発令されてからキャンセルの電話しか入ってこなくなっている。
	×	都市型ホテル (企画担当)	お客様の様子	・緊急事態宣言の発令を受けて、館内に客がほとんどいないという未曾有の事態に陥っている。収入も見ることのないような数値が連日続いており、従業員も出勤を控えるなどして対応している。
	×	都市型ホテル (企画担当)	それ以外	・2月頃から始まった新型コロナウイルスの影響によるキャンセルや自粛などで、宿泊、宴会、レストランの売上は壊滅的状況にあり、全体では売上が9割近く減少している。さらに、外出自粛の要請により、外来客も全くなり、館内のレストランは営業を縮小している。
	×	都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言で客のキャンセルや予約の延期が急増している。
	×	旅行代理店 (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で5月6日までカウンターを閉めるため、現在は業務を行っていない。
	×	旅行代理店 (支店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は大幅に減少し、4月は前年の10%となっており、来月以降も6月までは同じような状況が続く。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客が半分程度まで減少し、売上もかなり落ち込んでいる。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・人の動きがないため景気が悪くなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で乗車率が悪く、売上が落ち込んでいる。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で客が全くいない。
	×	通信会社 (広報担当)	来客数の動き	・インフラを担う業界として、現在は新型コロナウイルスの特需を受け、需要が拡大しているが、これが終われば一気に需要が冷え込む。
	×	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・収入が安定している客がインターネットサービスの高速プランや放送サービスのCS系専門チャンネルが多数見れるプランへの変更をしている一方で、休止や解約の申出をする客も増加しており、全体では悪化傾向にある。
	×	放送通信サービス (総務経理担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で消費が動く業種は限られている。対面を要する業務は客に敬遠される傾向があり、ニーズの有無でなく、市場がクローズされている感がある。
	×	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・全国での行動自粛で、公園は4月18日から全エリアが閉園となっている。
	×	テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園となっており、ゴールデンウィークに掛けての年間で一番入園者数が多い時期に集客できない状況が続いている。
	×	ゴルフ場 (営業担当)	それ以外	・4月は営業できているが、来客数は前年の5割程度で、特に休日の落ち込みが大きいので、売上は例年の4割程度である。
	×	競艇場 (企画営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスにより無観客レースを実施し、インターネット販売でしか売上がないため、悪くなっている。
	×	その他レジャー施設 [温泉センター] (担当者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなっている。
	×	美容室 (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きく、景気は悪くなっている。
	×	美容室 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に対する不安から予約をキャンセルする客が出てきており、店側も予約を詰めないようにしているので、悪くなっている。
	×	美容室 (経営者)	来客数の動き	・これまで経験したことがないほど売上が減少しており、前年の半分程度まで落ち込んでいる。
	×	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客からの引き合いが全くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で展示場の来客数の激減、打合せの延期、自営業の客の解約など営業活動や通常業務に支障が出ている。
	×	住宅販売会社 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛により来客数が減少している。
企業 動向 関連 (中国)	-	-	-	-
	-	-	-	-
		建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で一部資材の納期等が心配されたが、現時点では大きな影響は出ていない。工事現場等で感染者が発生し、プロジェクトが停止した場合の影響が懸念される。
		輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・宅配業界はインフラとして事業を継続している。緊急事態宣言後、ゴルフ場、空港、結婚式場等からの荷物が減少しているが、通販関係がかなり伸び、減少を補っている。また、在宅勤務等で客の不在率が低下しているため、生産性も向上している。
		食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で生産量が減少している。
		非鉄金属製造業(業務担当)	それ以外	・一部製品の納入先が新型コロナウイルスの影響で工場休止になったことから、当社の工場も一定期間の休止を決定している。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上がかなり減少している。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止で、休業、イベント等の中止や延期が相次ぎ、受注量が減少している。
	×	農林水産業(従業員)	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、ほぼ量販店のみの対応になっており、物量、価格のいずれもかなり悪くなっている。
	×	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・土産品については、受注量が70～80%減少、量販店については、賞味期限の短い商品の受注量が20～30%減少しており、物流についても、航空便等で支障が出ている。
	×	繊維工業(監査担当)	受注量や販売量の動き	・店頭売上が大幅に減少している。ほぼ対面販売の業界であるため、人の動きが止まると売上が上がらない。
	×	木材木製品製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で国内外のいずれも景気が悪く、先が読めない状況である。
	×	化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・中国の新型コロナウイルス対策による休業等の影響が自動車関連部品メーカーからの受注量に影響を及ぼしており、受注量は前年比で22%、前月比で7%の減少となっている。
	×	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先の生産が減少しているため、当社の生産も大幅に減少している。
	×	金属製品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は持ち工数を下回っており、雇用調整助成金を活用しての教育訓練を週1回実施している。
	×	一般機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限されており、売上は前年を下回っている。
	×	一般機械器具製造業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で経済活動が停止している。
	×	一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスへの対応が迷走しているため、景況感の低迷に一層拍車が掛かっている。
	×	電気機械器具製造業(総務担当)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響による営業活動の制限やテレワーク対応で通常の事業活動が行えない。納入品の納期延期やキャンセル、部品が通常どおり調達できないことによる納期遅延等で遅延損害金が発生する可能性もある。
×	輸送用機械器具製造業(財務担当)	取引先の様子	・世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で、海外からの船員の移動や確保ができず船の引渡しができないという状況も発生しており、一層の与信管理が必要となる。	
×	輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・当社に限ったことではないが、受注量が激減している。工場の稼働時間も含め、約80%の減少となっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客からの受注が大幅に減少している。国内の一般消費財、食品関係は堅調に推移しているが、海外向けの需要はこれからますます悪化する見通しである。
	×	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で取引先の受注量が減少している。
	×	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の設備更改、新規の設備投資や購入などが控えられ、受注件数や受注量も例年例月の3割程度にとどまっている。また、営業も感染への影響から訪問営業活動を社会機能維持の客に限定するなど控えるよう指示しており、来月以降の受注実績が例月の1割程度と伸びていない。
	×	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、消費の動きが止まり、多くの取引先で売上が減少し、資金繰りに苦しんでいる。
	×	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で地元完成車メーカーの世界販売が激減しているため、系列の地元部品メーカーの受注は前年比で50～70%も減少し、稼働率が大幅に低下している。また、雇用調整助成金の申請を準備する会社も多い。
	×	不動産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月と比べ、来客数が約35%、成約件数が50%減少している。
	×	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先のうち、飲食業、建設業、サービス業の売上減少が目立ち、資金状況も悪化している。また、行政機関からの自粛要請を受けて休業したところも出ている。自社においてもコンサルティング系業務や経営研修受託業務が減少し、アウトソーシング受託業務についても、基幹系以外の非定型業務の受注が減少している。
雇用 関連		-	-	-
(中国)		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、求人数が例年と比べ減少しているわけではない。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・自動車メーカーやその系列会社、百貨店や小売、イベント会社等で売上が落ち込み、先行きが不透明となっている。こうした状況に伴い、今年度の新卒や中途採用の中止を早々と決定した企業もあり、今年度予定されていた就職サイトやそれに関係した制作物の契約中止、商品紹介パンフレットの制作中止などが始まっている。
	×	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・前年に比べ、求人数が減少、新型コロナウイルスの影響で採用の見送りや中止が増加している。依頼元の先行きが不安定かつ未確定なことで依頼の取消しも増加している。
	×	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・2月の後半から新型コロナウイルスの影響で求人数が激減している。特に、飲食業、サービス業、旅館業等で求人数が大幅に減少している。
	×	求人情報誌製作会社（営業担当）	周辺企業の様子	・レジャー・娯楽関連業や観光業で来春2021年卒の新卒採用活動を早々に切上げたり中止したりする企業がみられる。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、雇用どころではない状態に陥っている。
	×	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は4月に入ってから前年同月比で激減しており、宿泊・飲食サービス業を始め多くの業種で活発な雇用調整の動きが見られ、労働市場が急速に縮小している。
	×	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・求人の取下げが増加している。
	×	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で求人企業は減少し、人員削減などに動いている企業も多くなっている。
	×	学校〔大学〕（就職支援担当）	それ以外	・新型コロナウイルスに伴い経済が停滞している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他雇用の動向を把握できる者	周辺企業の様子	・3月末の求人倍率は1倍を超えているが、雇用調整助成金の問合せは増加している。

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)		スーパー（財務担当）	単価の動き	・乗客数は前年並みだが、新型コロナウイルスの影響で総菜以外の部門は需要が好調である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・政府の緊急事態宣言以降、冷凍食品や生鮮食品などの家庭内食材の売上が伸びている。
		スーパー（企画担当）	販売量の動き	・乗客数は前年比で微増傾向にある。売上高は当店全体ではかなりの伸びを示しているが、総菜については売上が鈍かった。例年、弁当類や寿司類が伸びる季節であったが需要が出なかった。販売形態をばら売りからパック売りに変更したことが影響している。
		その他飲食 [ファーストフード]（経営者）	来客数の動き	・ファーストフード店はテイクアウト需要やデリバリー需要が伸びている反面、レストランの売上が半減し、ショッピングセンターに立地している店舗では休業となっているので、トータルでは前年並みである。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンは売れているが、他部門は落ち込みが顕著である。
		通信会社（営業部長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの対策で営業時間を短縮し、かつ不要不急のオーダーをお断りしている。ただし、通信利用は継続して行われている。
	×	商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量が前年比10%程度に落ち込んでいて、商店街は人通りもなく大変苦戦している状況である。
	×	商店街（事務局長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに効果のあるワクチンが完成するか、国民の相当数に対してPCR検査が終了しない限りは、自粛要請が解除されないと考えられるため、しばらくは消費どころではない。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響は想像をはるかに超えてきた。それと同時に、皮肉にも過剰な車社会により人々の行動範囲はますます拡大していること、グローバルな経済環境という新たな時代への対応が不可欠となるため、感染がある程度鎮圧されても元の状態には戻れない。
	×	商店街（代表者）	それ以外	・緊急事態宣言が全国に拡大されてから、商店街は人がさっぱりで、休業している店も増えた。商店街はガラガラの状況が続いており、景気以前の問題である。
	×	一般小売店[生花]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大対策による外出自粛で街に人通りがなくなり、車の通りもまばらで、来客はなくなった。市場への商品の入荷が少なくなって、希望の種類がそろわないケースも出てきた。
	×	一般小売店[書籍]（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による百貨店の休業で、テナントの大型書店も休業しているので、そこを利用していた客が当店に流れてくると予想したが、期待したほどの売上増加はなかった。コンサートの前売券は、中止や延期の続出で、売上はほとんどなかった。
	×	一般小売店[酒]（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で外出や外食の自粛があり、飲食店への納入が減少した上、今月中旬以降は緊急事態宣言で飲食店が休業し始め、店頭売りがほとんどない当店では売上が激減している。
	×	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言後、来客数が約3割まで低下している。
	×	百貨店（販売促進）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で臨時休業等の対応をしている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数の激減で大変な状態にある。どの時間帯も減少しているが、特に出勤前の早朝や夕方～夜間に掛けて激減している。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は減少しているが、一度に購入する量は増えており、売上は前年比92%となっている。
	×	コンビニ（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客足が鈍化しており、特に中食は厳しくなっている。
×	コンビニ（総務）	来客数の動き	・緊急事態宣言が発令され不要不急の外出が制限されるなかで、来客数が大幅に減少した。	
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で営業時間を短縮していることもあり、来客がない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・4～5月の連休一杯までは、上半期で最も大事な時期であったが、新型コロナウイルスの影響により、いろいろと大きく制約された。3月までの減り方とは大きく異なり、4月は早々に大きく販売が下落し、一時は半分程度、現在は6～7割減という状態である。
	×	衣料品専門店 (営業責任者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客、売上共に70%以上減少している。この状況が続けば会社の継続が非常に厳しくなる。
	×	家電量販店(副 店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大につれ、目的がある客の来店のみとなってきた。
	×	乗用車販売業 (営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で売上は前年比80%程度になっている。
	×	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月の新車受注状況は前年比85%程度で推移しているが、今後の減少幅を予想することは難しい。
	×	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で会社は長期休暇になり、客も来店を敬遠している。
	×	乗用車販売店 (役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きく出始めている。
	×	その他小売 [ショッピング センター](副 支配人)	来客数の動き	・4月下旬から営業自粛で閉店している。また、不要不急の外出の自粛要請が浸透し、街中は人通りが極端に減っている。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・休業要請を受けて休業している。
	×	一般レストラン (経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの影響でほとんどの店舗が営業を自粛している。年間でも数少ない書き入れ時にこの状態は非常に辛い。
	×	観光型旅館(経 営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる行動規制の影響は甚大である。
	×	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・とにかく厳しい。先が見えない状態になっているので、いつ抜け出せるか分からない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前から今月に掛けて客足が悪い。8時間走っても売上にすると2000～3000円、客数は2～3人程度である。緊急事態宣言が全都道府県に拡大されたことに伴い、当県でも飲食や量販店等への自粛要請が出されたため、人出は10%程度という状況である。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客は激減している。春のお遍路はほぼキャンセルとなり、街も人が歩いていない。また、仕事の人や観光客もいないので、ひどい状況である。祝祭日や日曜日さえ1回も乗せないこともあり、これはどうしようもない。
	×	通信会社社員	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響に伴い、プッシュ営業を取りやめた。
	×	通信会社(営業 担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が大きく減少している。
	×	競輪競馬(マ ネージャー)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言の発令や営業自粛の要請などにより、国民1人1人に危機感が強まりつつある。事業者の営業自粛が進んでいるが、終息の気配は見えず、根強い粘りが必要とされているため、売上は大きく減少する。
	×	美容室(経営 者)	お客様の様子	・男性客の来店はまだあるが女性客が全くない状況である。いろいろな業種のオーナーに話を聞いたところ、店を閉めるギリギリだと言っている。
	×	美容室(経営 者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数が激減している。
	×	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・商談のための来客がほとんどなくなった。
企業 動向 関連 (四国)		*	*	*
		-	-	-
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・公共工事や民間工事共に、新型コロナウイルスの影響の度合いが分からない。
		化学工業(所 長)	受注量や販売量 の動き	・家庭用食品(冷凍食品等)や衛生材料向けの受注は増加しているが、一方で観光業(ホテルや土産店)や自動車関連は受注が激減している。
		鉄鋼業(総務部 長)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響で受注が減少傾向にある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスへの対応のため、自らの判断や発注者からの協力要請もあって、営業活動や事業活動が制約を受け始めている。また、業界や関連学会、団体の諸活動も中止や書面開催となり、行動が大きく縮小されていることが景気の後退感を助長している。
	×	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売価格は、花き、果物を中心に業務用の使用比率が高い野菜品目等で非常に厳しい状況となっている。また、例年なら大型連休中の仕入れで野菜全般に引き合いが強まるところ、今年は低調推移している。特に、花きは採算が合わず産地廃棄している品目もある。そのほかにも、販売先に製品の納入を断られた漬物業者が原料供給元である当農協に販売支援を依頼してきたり、工場を閉鎖した加工業者もある。納品先が飲食業と量販店で明暗が分かれている。当組合の取引でも前年に対し9割減になるなど、厳しい販売環境となっている。
	×	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により経済活動は休止状態にある。
	×	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・4月初めに緊急事態宣言が発令された段階では、関東地区の小売店だけが休業に入ったが、その後、対象が拡大され、地方の小売店も休業が増えている。当社は全国の小売店、旅館、アパレル、インテリアショップなど100店舗以上と取引があるが、地方の老舗旅館の倒産や小売店の廃業が続いている。また、月末の支払について、休業や資金繰りが厳しいことを理由に、発注済みの商品の取消しや仕入れ数の削減、1～2か月の支払猶予を依頼してくる取引先が増えてきた。
	×	木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・大手住宅メーカーの受注が減少している。この傾向は今後も改善の見込みがなく、新型コロナウイルスの影響が大きく出ている。
	×	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外工場の一時的閉鎖や受注の一部に延期等の動きがある。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で県外に行けないので仕事がない。発電事業のお陰で月々の電気料金が入ってくるので、何とかやっているという状況である。
	×	輸送業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が甚大である。
	×	輸送業（営業）	取引先の様子	・4月の取扱物量は前年比2けた台の落ち込みとなっている。度重なる交渉の末に年度替わりの運賃値上げで合意していた荷主が値上げの白紙撤回や値上げ幅の大幅な緩和を求めてくる事例も見受けられ、新型コロナウイルスの感染拡大による消費の低迷が予想以上に大きく作用している。荷主の事情は理解できるが、運賃値上げの先延ばしは難しい。しかし、荷主側の要求を拒否した場合は安価な運賃で妥協する同業他社に流れてしまうため、失注による経営へのダメージは避けきれない状況にある。
	×	輸送業（経理）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う移動自粛に起因する経済や物流動向の低迷が明らかに大きく影響している。
	×	通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス対策によるテレワークや能動的な営業活動の自粛等の影響が出ている。
	×	金融業（副支店長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響を受け、飲食や宿泊を始めとした接客業の売上が激減している。
	×	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言以降はイベントや販促広告の中止が更に多くなった。店舗の休業等もあり、特に新聞のチラシ広告への影響は大きく、半減する見込みである。
	×	税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響により売上が顕著に低下している顧問先が増えている。それに加えて融資や補助金の申請を行う顧問先も増えてきている。
雇用 関連		-	-	-
		-	-	-
		-	-	-
(四国)		-	-	-
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で全ての産業が止まっている。派遣切りをする企業もあり、雇用環境は非常に悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、周辺企業及び公共施設はほぼ営業を自粛し、閉館状態にある。よって、稼働している職員も8割は休業処置による自宅待機か、環境を整えられる企業についてはテレワークが主流となってきている。全般的に金が流通してないため景気はほぼ再下落の現状である。
	×	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・契約途中の派遣スタッフの稼働が減らされたり、派遣の依頼が急に止まったりしている。
	×	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・4月の緊急事態宣言以降、観光や飲食、サービスに係る業種では、軒並み売上、利益共に落ち込み、つなぎ融資や従業員の解雇でやり過ぎしているところが増加している。周辺企業へのヒアリングから、閉店や倒産もかなりの件数が出てくると考えている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、広告代理業に欠かせないイベント関連の売上がほぼなくなったことが大きい。
	×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・雇用調整助成金の相談件数が急増している。地方は中小企業が多く深刻な状況である。
	×	職業安定所（求人開発）	周辺企業の様子	・3月の有効求人倍率は1.48倍で、3か月前と比較して減少しており、前年比でも減少となっている。新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、事業所の閉鎖や事業縮小等による人員整理を実施する事業所が増えてきていることから、総合的に考えて悪くなっている。
	×	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・県庁所在地でも新型コロナウイルスの影響で静まり返っている。駅前も通行する人がほとんどおらず、また、バスターミナルもバスが1台もないという異常な様子である。ホテルのレストランも朝食、夕食を問わず、客が食事をしておらず、異常事態といっても過言ではない。
	×	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染防止のための緊急事態宣言を受けて、地元の多くの店舗が臨時休業している。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (九州)		スーパー（統括者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客のライフラインとなり、今までにない好調な売上で推移している。その要因としては、売出しやポイント増加等を中止したこと、客数が分散し、1回の買物点数が増加したことにある。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・在宅勤務の増加により、モバイル通信サービスのニーズが増え、販売量が上向いた。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスで騒がれている状況であるが、花を自宅に飾ったり、開店祝いのお花であったりなど予想外の注文があり、数か月前よりとても良い状態になっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・来店客数は、チラシを入れない状態で前年比95%で推移している。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、まとめ買いが増えており、客単価は100円上がっている。また、買上点数も1.2個分上がり前年比102%で推移している。競合店もあるが、平均110%で推移している。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・地域経済全体では、決して景気は良くないが、自社のローカルスーパーマーケットだけで捉えると、新型コロナウイルスの影響で巣籠り需要が発生し、ほぼ前年比120%の売上で推移している。また、客単価は前年比110%、客数は前年比103%となっており、客単価アップに支えられ、売上増加となっている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による内食の増加で、スーパーマーケットの需要が大きく拡大している。景気状況と企業業績が一致していない。
		観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が激減している。僅かに予約の問合せが入るが休業にしている。景気はこれまでで最悪の状態である。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響は、民間の客では顕著であるが、官公庁では、むしろ緊急性の高い予算を検討されているところが多い。先行き不透明感はあるが、まだ激減という印象は受けにくい。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔青果〕(店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスがかなり影響している。当店は5年ほど前から、野菜の小売だけでなく納品に力を入れており、取引先がピザ屋や保育園が中心となっている。ピザ屋の販売は1.5～2倍に増加、また、保育園は現在休業していないため、小売のマイナスを納品により、ほぼ維持している状態である。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・市内中心部の店の客単価は、前年比より増加しているが、客数は大幅に減少しているため、売上は大きく下がっている。また、住宅街の店は、客単価は上がっているが、客数は中心部ほどではないが、小幅にダウンしており、売上は若干下がっている。商品では、総菜や弁当、インスタント麺類が上がっているが、飲料関係は落ちている。雑貨、文房具関係は、衛生関係を除いて、売上が減少している。
		コンビニ(エリア担当・店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が、コンビニエンストアにも表れている。客単価や買物点数は、昼間は前年比と変わらないが、19時になると、客足がぼったり止まる毎日が続いている。1日を通しては、客数が伸び悩んでいる。
		家電量販店(広報・IR担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、来店客の減少や時短営業の実施、販売促進策の自粛等で売上に影響が出ている。テレワーク、巣籠り消費を受けて、パソコンやテレビ、調理器具、健康器具、空気清浄機等は好調である。一方、冷蔵庫や洗濯機、エアコンディショナーは不振になっている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、生産、来客、販売も見通しがつかない。
		その他専門店〔コーヒー豆〕(経営者)	来客数の動き	・前年比では、売上や客単価が30～40%減少している。既存の客の来店がない状況になっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(統括)	販売量の動き	・燃料油の小売価格は、下げの傾向である。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により、不要不急の外出自粛要請がなされ、来店者が急に減少し、販売量は前年と比較しても減少の見込みである。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕(管理担当)	来客数の動き	・例年、3～5月に病院からの退院増加に伴い、客が増加傾向となるが、今年は新型コロナウイルスの影響で退院がずれ込み、客からのサービス辞退やキャンセルが相次ぎ、前年実績を下回る結果となっている。
		設計事務所(代表)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて、新規集客のイベント開催ができない状況である。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・緊急事態のため、外出自粛が影響し、来客数が激減している。
	×	商店街(代表者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、街に出掛ける人が減少しており、来店客は少なく売上は最低である。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客数が激減し、4月25日から休業している。街全体でも飲食店を中心に3分の1ほど休業している。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・前年の暮れから日韓関係が悪くなり、韓国ツアー客が来店しなくなったが、それに追い打ちを掛けて、新型コロナウイルスの発生により、商店街で3密を避けるため、外出自粛により3分の1に減少し、売上が伸びていない。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街では、平日で3～4割減少し、土日になると5割の減少になっている。
	×	商店街(代表者)	お客様の様子	・過去最悪の状態となっている。高齢者に特化した店では、緊急事態宣言が発令されてから来客が激減している。近隣では、外出を控える消費者が、早朝にスーパーマーケットへ生鮮食品だけ購入するケースが多い。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令以降、地方の小売店や飲食店への影響は、都会以上である。
	×	商店街(代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、3月よりも更に悪化の状況である。このままでは、商店街の中で、廃業や倒産をする店が多くなると予想される。来店客数が非常に落ち込み、当然売上も大きく減少している。これまで経験したことのない厳しい状況が続いている。
	×	商店街(代表者)	それ以外	・新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、悪化している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	販売量の動き	・個人客向けの販売量は増えているが、飲食店向けの販売量が激減している。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・客の話では、居酒屋関係では、企業の休み等により注文が全くないという。スーパーマーケットは、来店客が多いが、小売店にはなかなか来店がない。当店はスーパーマーケットを運営していないため、厳しい状態である。
	×	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の自粛で、短縮時間で営業している。だが、来店客数はかなり減少している。外販での事務所用の配達もしているが、ほとんどの会社が営業しておらず、在宅勤務に切り替えており、注文は全くない。年間を通しての売上は、過去最悪の状態である。
	×	百貨店（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスで経験したことがない閉塞感を抱き、自主休業がいつ開店できるのか、見えない状況である。
	×	百貨店（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令により、外出自粛要請が出され、感染拡大防止対策として、食品フロアを除き臨時休業を実施しており、その影響で、来店客は減少している。消費者の外出自粛が一段と強まり、街の活気が失われている。しかしながら、臨時休業後の食品フロアは、来店客数は減少しているものの、目的買いの来店により客単価は増加し、商品単価はやや減少に止まっている。また、店頭での物販催事を通販へ切替え、受注強化に努めている。
	×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客が減少している。
	×	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響による不要不急の外出自粛により、営業も自粛になり、売上が減少している。
	×	百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・全店の3か月前の売上は、前年比96%であったが、当月の売上は、ほとんどの店舗で売上が50%減少している。全店で、4月中旬から食品以外のフロアは休業状態である。
	×	百貨店（経営企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、来店客数の減少傾向が加速し、営業時間短縮等の対応措置を取っていたが、緊急事態宣言後、店の臨時休業を行ったことにより業績は大幅に悪化している。
	×	百貨店（プロモーション担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が発令され、休業であるため、売上が一切ない状態である。
	×	百貨店（売場担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、外出自粛となっているため、来店客数や売上は激減している。現在は時短営業であるが、店内のショップやテナントも休業が多くなっている。今後、休業期間もあり、更に入店客数や売上共に厳しい状況となると予想される。
	×	スーパー（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、衣料品をはじめ、生活必需品以外の動きが全くない。
	×	スーパー（店長）	来客数の動き	・売上は、食料品が110%台に対して、非食品、特に衣料品は50%を切っている。来店客の動きは、必要最低限の買物に止まり、全体の売上は辛うじて維持できているが、内容は非常に厳しいと思わざるを得ない。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、外出自粛やテレワーク、休校等行動パターンに変化があり、客数や売上等全てがマイナスに向かっている。コンビニエンスストアは立地に影響されるが、商圈内に事業所や飲食店、専門学校が多く、住宅は少ない当店の今月前年比は、売上80%、客数65%に落ち込んでいる。
	×	コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、客数が大幅に減少している。一部まとめ買いが多く、全体の売上は、横ばいである。また、客単価は、アップしているが、来店しても滞在時間は、以前と比較するとかなり短くなっている。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの発生が確認されると、来店客は極端に減少している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・企業の在宅勤務が増加し、各種業態での営業時間の短縮や休業等で極端に人の動きが減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・中旬から帰休しており、生産性がゼロである。
	×	コンビニ（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響で、悪くなっている。
	×	コンビニ（店長）	来客数の動き	・終わりが見えないパンデミックが、心理的に暗い状態にしている。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・当市では、新型コロナウイルスの感染者は今のところないが、政府による緊急事態宣言の影響もあり、商店街から人の姿が消えてしまっている。特に、買い回り品店及び飲食店のみで構成されている商店街では、来街客や来店客が全くいない。
	×	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・小さな婦人服店では、ここ2～3週間ほとんど来店客がいない。自粛していると考えられる。
	×	衣料品専門店（店員）	それ以外	・当館は臨時休業になっている。休業以前も非常に厳しく、今月の売上は、ほぼゼロである。
	×	衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・春節の頃の水際対策から、その後の経済対策全てに対応ができていない。物販は家賃補助の対象外で、人通りはなく、店はほとんど休業している状態で、先行き不安である。
	×	衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言の後、急速に来街者や来店客が急減しており、従来では考えられない状況である。
	×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が、より濃くなっている。緊急事態宣言の全国拡大を受けて、臨時休業になる前日までの売上は83.7%と上がっているものの、来店客数は前年比81.6%と大きく減少している。
	×	家電量販店（店員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客数や客単価が減少し、家電全体にわたり、数字が取れていない。
	×	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言から日増しに来店客数や売上が減少し、前年を大きく下回っている。今後も全く期待できない。
	×	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・工場の稼働率が非常に悪く、納期でトラブルになることを考えると、商談を進めにくい状況である。来場客数がかかり減少している。
	×	乗用車販売店（代表）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
	×	乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が出て以来、来店客がいない。訪問営業もままならない状況で、販売台数が激減している。
	×	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、都心部のメーカーとのイベントが中止になり、加えて外出自粛もあり、売上はかなり落ちている。しかし、通信販売部門は堅調である。
	×	住関連専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言に伴い、店は休業しており、売上は悪くなっている。
	×	住関連専門店（従業員）	来客数の動き	・明らかに来店数が減少している。また、購入価格も単価の低いものばかりである。在店時間も短くなっているため、単価の高いものを勧めようがない。
	×	その他専門店 [ドラッグストア]（企画担当）	お客様の様子	・インバウンド客の減少や外出を控える客数の減少で、景気は悪い。
	×	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（支配人）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、過去に事例がないほどの打撃を受けている。当県では、前月まで全国の中でもマイナス影響は少なく推移していたが、近隣の県での感染拡大や全国への緊急事態宣言拡大で、厳しい状況に追い込まれている。特に、体力のないテナント事業者はギリギリの状態であり、早急な支援策が望まれる。当施設でも感染拡大防止とテナント支援という状況で、日々対応に追われている。
	×	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（統括者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で休業をしており、先行き不明である。かつて経験したことがない状態である。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・4月は、新型コロナウイルスの影響で、来店客がない。店の関係者が、応援のために数組来店があっただけである。緊急事態宣言の発令以降、営業自粛している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・歩いている人を見掛けず、客の様子が分からない。この状態では、売上を上げる対策も分からない。メニューに弁当を考えているが、このような状態は、今まで経験がない。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、地元やインバウンド対象店では、4月中旬から徐々に休業になっている。前年より80%も売上や集客が減り、スタッフ勤務も含め、今後の対応に大変苦慮している。
	×	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来店客は激減しているが、僅かながら来店客がいることに、逆に驚いている。
	×	スナック（経営者）	それ以外	・休業要請に従い、現在営業を中止している。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、緊急事態宣言や外出自粛要請により、人と金の動きが止まっている。外食産業への酒類等売上は3月には2割の減少であったが、4月には8割の減少となっており、業況が急激に悪化している。この状態が続けば、客の飲食店を含め、業界全体が共倒れするほどの危機と感じている。強制力を持った、特定業種以外の人の外出、県を超えての移動制限を設け、その間に法人は、事業資金支援、個人の生活保障を徹底して実施することが必要である。
	×	観光旅館組合（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言を受け、旅館ホテル等が営業自粛をし、客足がほぼゼロになっている。
	×	観光型ホテル（総務）	来客数の動き	・宿泊客室の稼働率は、1けた台に落ち込んでおり、宴会場の利用は、ほぼない。館内のレストランも時短営業や臨時休業しており、来客といえば、一握りのなじみ客以外は、テイクアウト商品の受取に来館される程度である。
	×	都市型ホテル（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言発令以降、日増しに悪くなっている。稼働率も約10%台に激減している。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの影響で、全面休館となっている。地方の事業所も軒並み休館している状況であるが、休館前も開店休業状態が続いていた。今後、再開しても年内は非常に厳しい状況が続く。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で景気が悪化している。
	×	旅行代理店（従業員）	それ以外	・航空会社の運休や観光施設、旅行会社の休業、加えて外務省の危険情報レベル2以上の発出により、新規予約も受付していない。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・運転手は4～5月末まで自宅待機になり、1割程度が交代で稼働しているが、通勤時間帯に多少利用がある程度で、仕事になっていない。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で県外からの客が来ない。加えて、外出自粛のため、客が昼夜ほとんどいない状況である。
	×	通信会社（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言を受け、居住地周辺の店がほとんど休業に入り、活気がなくなっている。
	×	観光名所（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、ゴールデンウィーク期間に全ての事業所を休業とし、他県からの人の流通を極力なくすようにしている。非常に痛い状況である。
	×	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・日韓関係悪化の影響で来場者が減り、客単価も下がり厳しい状況だったところに、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく響いている。今後の見通しもつかない状況である。
	×	競馬場（職員）	来客数の動き	・営業休止により、売上がないため、苦しい状況である。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により客が来店せず、目に見えて売上が悪くなっている。先行きが分からず、ますます景気が悪化していく状態を、どう対処していけばよいか見当が付かない。接客でも、今後を懸念した会話が多数。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・何の保障もないため、店は開けているが、新型コロナウイルスの影響で来客がない。
	×	美容室（店長）	お客様の様子	・外出を控えている人が多いため、今までにない客数の減少になっている。新型コロナウイルスの終息が不透明で不安である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、貸会議室の利用が激減しており、食事や宴会等の利用も予約もない。また、発注者の発注は控えた状態で、計画見直し等により受注量が減り、操業量の確保が難しい状況が続いている。
	×	その他サービスの動向を把握できる者〔フィットネスクラブ〕（営業）	それ以外	・新型コロナウイルス感染予防対策により、利用者が減少している。
	×	設計事務所（所長）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、来訪者数が激減し、宿泊や飲食関係が非常に悪化している。建築では、衛生設備の受注停止や納期未定、納期かい離等入手困難が発生している。
	×	住宅販売会社（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、イベント開催等は全て中止になっている。商談中の客も状況見合せになり危惧している。
	×	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・客は、新型コロナウイルスの感染拡大防止による外出自粛により、販売センターに来場できないため、営業ができず販売量が落ちている。外注している販売も中止しており、影響は非常に大きい。
企業動向関連	-	-	-	-
(九州)		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注状況に変わりがない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・製造業では製品カテゴリーにより、両極端な受注状況になっている。新型コロナウイルスの影響で在宅勤務が多くなり、化粧品の受注は急下降である。一方、健康食品は好調で、特に、免疫系サプリや野菜不足による青汁が好調である。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・動きが見られない。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月までは順調な流れであったが、3月後半～4月に掛け、非常に厳しい状態になり、3～4割の納品となっている。全体の売上が、計画の70%を維持できるか危惧している。このような状態はリーマンショック時にもなく、大変困惑している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により、全体的に販売量が減少している。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・事前に契約が確定している使用料以外の単発契約の受注量が、激減している。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が、大幅に減少している。取引先は米中貿易問題や新型コロナウイルスの影響による材料の輸入不足等で非常に動きが悪いのが現状である。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、海外からの輸入及び輸出が減少しており、国内工場での生産も減少傾向である。現在、一部のメーカーは、堅調な推移ではあるが、いずれはほとんどの荷主の荷動きが減少する。
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村の当初予算に基づく、調査や計画・設計の委託業務は、4月末までに幾つか発注されるが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で4月の発注件数が少なく、入札が郵便入札に切り替えられたりしている。全体的に発注が延期されているのではないかと推測される。
	×	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・だいこん、白菜の高騰は一過性に過ぎず、今年の冬の稼ぎ時に安値だったことで相殺されている。一番茶の単価は年々下がっており、今年は、特に低くなり、苦しい状況となっている。
	×	食料品製造業（経営者）	取引先の様子	・旅館や飲食店の需要が激減している。
	×	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・同業者は、取引先が休業している影響で、生産のキャンセル等が発生し、ひどい状況になっている。そのため、マスクを製造しているが、消費者もマスクを作り始め、深刻な状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる外出自粛で、家具やインテリア小物等の商材を購入する客はほとんどいない。家具小売は、前年比80%の落ち込みとなり、また、コントラクト向け家具やホテル向け家具は、受注済みの物件であっても、ホテル開業のめどが立っておらず、延期や保留となっている。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3月までは、どうにか受注関係はあったが、4月に入り受注がほとんどない状態である。売上も半分以下に落ち、残っている注文の消化がやっとである。産地全体で分業体制のため、5～6月に悪化を懸念している。
	×	金属製品製造業（事業統括）	取引先の様子	・緊急事態宣言後、客である建設業者は、工事中断を余儀なくされ、建築設備機器の製造メーカーである当社は、納期延期、計画中止が相次いでいる。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が大幅に減少している。自助努力の域を超えてしまっており、経営が成り立っていかない状況である。
	×	電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・計画では、上半期までは前年比を大きくマイナスの状態になる。新型コロナウイルスの影響による景気の底が不透明である。
	×	その他製造業 [産業廃棄物処理業]	受注量や販売量の動き	・どこの工場も一時閉鎖や生産低下で、物量が減っている。
	×	建設業（社員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で景気は悪くなる一方である。全国では、工事の中止が多くなっている。当地では、工事中止はないが、同業者も不安を隠せない。当社から新型コロナウイルスを出さないように、マスクや消毒剤等の支給も実施しており、工事を止まることに懸念している。
	×	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・衣料品や外食産業向け商品は、明らかに出荷が減少している。店舗自体が休業しているため、景気は必然的に悪くなっている。
	×	通信業（経理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が広がっている。
	×	金融業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルス感染症問題で、在宅勤務が大幅に増加し、旅行のキャンセルも相次いでいることから、関連する企業の売上が大幅に減少している。また、労働需給の引き締め感もあり、先行き不安感が増大している。
	×	金融業（調査担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が、あらゆる業種に波及している。休業や営業時間の短縮等で資金繰りに不安を抱える事業者が急増しており、また、テレワークや時短勤務の動きが広がり、企業活動も収縮している。
	×	金融業（営業）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響は、4月以降一段と厳しくなっている。様々な業種に毎日ヒアリングをしているが、住居を扱う不動産賃貸業と公共工事中心の建設業では影響がないと答えているが、ほぼ全ての業種に影響がある。
	×	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の中小企業事業者では、3～4月の売上が、新型コロナウイルスの影響で、週を追うごとに減少している。また、資金調達は、日増しに相談が増加しており、悪い状況である。
	×	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・ここ1か月取引先からの借入れが急増している状況である。特に飲食業や観光業関連からの申込みが多く、当面の運転資金の申込みもあり、かなり厳しい判断をしている。
	×	金融業（調査担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が顕在化し、手元資金を厚くしていく動きが、融資申込みを通じて寄せられている。大・中堅企業では、長期化の懸念からの備えが大半であるが、中小企業では、資金繰りを懸念した対応が多い。業種では、小規模・街中の飲食業や宿泊業、建設下請が目立っている。
	×	新聞社 [広告] (担当者)	取引先の様子	・イベント関係が全て中止となっている。特に、取引先では、観光業の状況が悪い。
	×	経営コンサルタント（社員）	取引先の様子	・業務用酒販店の売上は前年比50%減少している。飲食店の閉店やホテル客の減少、催事の中止、また、花見の自粛等が要因である。
	×	経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響から客の全ての業種では、厳しい状況が続いている。4月はこれまでで、最悪の状態である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、営業活動や生産活動が制限されており、先行き不透明感が強い。
雇用 関連 (九州)		-	-	-
		-	-	-
		-	-	-
		*	*	*
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、テレワークや休業が多くなり、求人が都市部では前年比30%、人手が必要な郊外エリアでも前年比50%と大きく落ち込んでいる。
	×	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年間を通して業界的に動きが鈍くなる期間である上に、新型コロナウイルスの影響が様々などところに出ている状況であり、景気が上向く要因が見当たらない。
	×	人材派遣会社（社員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、派遣先の休業等により派遣社員の稼働率が低下している。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣では、ホテル関係の宴会や披露宴がなくなり、4～5月はほぼキャンセルとなっている。また、テレビ番組のロケもなくなり、出演者の出番もない。派遣先が休業となり派遣スタッフの契約更新が危ぶまれる。
	×	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・スタッフが辞めることになっても、後任は不要との企業が多いため、注文数が減少している。また、サービス業では、新型コロナウイルス対策の影響で勤務日数が減っており、退職者が出て、残った人数で十分対応できる企業がほとんどである。
	×	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・5～6月末での派遣終了が増加している。新規の派遣依頼は、キャンセルも含め見直しも出ている。
	×	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・取扱求人数が激減している。ゴールデンウィーク期間中の自粛により、当地の大型イベントが中止になり、連休の需要拡大に向けた求人がみられない状況である。
	×	新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・多くの客がテレワークになっており、営業活動ができない状態である。求人広告では、客のテレワークに加え、外出自粛により面接ができず困っている。しかし、非正規雇用の雇用調整は、通常どおり行われている。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響で、より酷くなっており、中心市街地はもとより郊外の飲食店でも軒並み休業している。外出自粛要請もあり、入出が全くない。景気悪化が増している。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されても、人が多く集まるイベントは、当面開催できない。テレビ局や新聞社等多くのイベントを主催しているが、全く見通しが立たない。また、オンラインだけで業務するわけにもいかず、延期等のスケジュール調整が大変難しい。
×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・休業や閉店の相談等が多くなっている。	
×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3月までは前年並みの求人数を確保できていたが、4月に入り、宿泊業や小売業等に派遣していた人材派遣業からの求人が、軒並み取消しされている。	
×	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・3～4月は、売上が極端に減少している。従業員の給与と支払が困難で、休業を検討している相談が、急激に増加している。	
×	学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・新型コロナウイルスによる影響のため、一時中断や予定延期になり、採用選考活動を予定どおりに進められない企業が出ており、採用活動を実施しても、全ての面接をWebで行う等、採用選考方法変更を余儀なくされている。その結果、多くの学生が、今後の採用選考や採用人数に対し、不安感を抱えている状況である。	

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		スーパー（販売企画）	販売量の動き	・客数は前年より少し減っているが、新型コロナウイルス禍の影響により1人当たりの買上点数が増えているため、売上は前年を大きく上回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
(沖縄)	-	-	-	-
	-	-	-	-
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・観光客や地元客の来客数が減少しており、売上が伸びない。
		通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・営業時間を短縮している。来客数が減少し、売上が伸びない。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、この先が見通せないため投資案件や住宅建築を手控える客が出ている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・現在、新型コロナウイルスの件で客数も減少しており、また単価も落ちて、大変な危機的状況下にある。いつ終息するか分からず、商店街全体をみると、一部では既に閉めている店もあるようである。
	×	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・月前半は営業時間を短縮しながらも全館営業していたが、後半は全国を対象とした緊急事態宣言により、食品フロア以外は休業となっている。
	×	スーパー（企画担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染防止策による一部業態の営業自粛によって、経済活動が縮小している。
	×	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・県の新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の発令に伴い、人の動きを始めとして来客数の減少により売上ダウンにつながっている。
	×	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・今は営業を自粛しており、状況が悪くなっている。景気は最悪である。
	×	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・レンタカー会社からの新車受注がほぼ望めない状況になっている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が徐々に始まり、4月初めには売上前年比90%ダウンと急激な入客減少、県内の感染者の急増により、スタッフと客の感染拡大防止のため、4月上旬より臨時休業に入っている。
	×	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・全国への緊急事態宣言の発令や、県外からの来県自粛の要請でホテル自体を休館せざるを得ない状況になり、月中旬からホテルを閉めている。3か月前と比べるところではなく、ほぼ客室稼働率は0%に近い形となっている。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、休業を余儀なくされている。先行きも見えない状態である。
×	旅行代理店（マネージャー）	それ以外	・足が着くなら踏ん張れるが、どん底なんてレベルではなく底なし沼である。	
×	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言後に営業時間短縮、受付業務縮小を行い、各媒体で告知も行っているため、来店客数は目に見えて落ちている。販売数は前年比50%を割り厳しい状況である。	
企業動向関連	-	-	-	-
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の契約は止まったままだが、リフォームの引き合い、契約が増えている。	
(沖縄)	*	*	*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響で、工事予定が保留又は延期により公共工事、民間工事共に前年比減となっている。
	×	食料品製造業（総務）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で観光関連取引先、業務用取引先の売上高は過去に類のない落ち込み様である。スーパーへの売上は巣籠り消費の影響で家庭向け需要増により増加している。
×	輸送業（経営企画室）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により取扱物量が減少している。物流業は他業種と比較すると影響は少ないとみられるが、これまでの景気と比較するとかなり悪くなっている。	
雇用関連	-	-	-	-
	-	-	-	-
(沖縄)	-	-	-	-
	×	人材派遣会社（総務担当）	雇用形態の様子	・新型コロナウイルスの影響で、派遣先ではテレワーク、交互出勤、自宅待機等の勤務形態の変動や、派遣スタッフの契約終了がある。
	×	求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・4月の週平均求人件数は460件で、1月平均の832件と比較して372件、45%の減少となっている。
×	職業安定所（職員）	求人数の動き	・雇用調整助成金の相談件数が、日を追うごとに増加している。企業からの求人取下げも増加している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	学校 [専門学校] (就職担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新卒対象の会社説明会や選考試験が先延ばしになっている。いつ終息するか見通しが立たないまま採用スケジュールが後退、また後退の繰り返しである。大方の企業はリモート選考試験などに切り替えていっているが、情報が乏しい。
	×	学校 [大学] (就職支援担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響で、企業活動がかなり停滞せざるを得ない状況である。